

令和6年度全学共通科目履修案内の訂正

R6.4.3

【開講時期の訂正】

ページ	授業科目名	開講時期・曜日時限
96, 100	地域創生入門	(変更前) 後期・水曜5時限 → (変更後) 前期 ・水曜5時限

全学共通科目

履修案内

令和6年度
(2024年度)

鳥取大学

【鳥取大学教育グランドデザイン】

鳥取大学では、基本理念「知と実践の融合」のもと、学則で教育の目標を定め、これを「教育グランドデザイン」として以下のように具現化しています。

鳥取大学では、その時代に必要な現代的教養と人間力を根底におく教育により、地域社会の課題解決や国際社会の理解を志向し、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成に取り組みます。

本学が掲げる「現代的教養」とは以下のとおりです。

- (1) 文化、社会、自然に関する幅広い知識
- (2) 特定の専門分野に関する理解
- (3) 論理的な課題探求と解決力
- (4) 創造性に富む思考力

本学が掲げる「人間力」とは以下のとおりです。

- (1) 自律性にもとづく実行力
- (2) 多様な環境下での協働力
- (3) 高い倫理観と市民としての社会性

【鳥取大学の学士課程教育に関する三つの基本方針】

鳥取大学が定める「教育グランドデザイン」では、現代的教養と人間力を根底においた教育を展開することによって、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成を目指すことを宣言しています。

「教育グランドデザイン」で宣言する人材の育成を実現するため、学士課程における三つの基本方針、「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」を定めていますが、ここでは、これから鳥取大学の授業に臨む学生に本学の「教育課程編成・実施の方針」を示します。

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学は、学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、各学部・学科等において体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 教育課程・教育内容

- ・社会の中核となり得る教養豊かな人間育成のため、教養科目・外国語科目・健康スポーツ科目からなる全学的な共通科目と、特定分野の知識と技能を身につける専門科目との融合を図ります。
- ・課題解決能力や社会的実践力を形成するため、理論的探究と実践的探究を促し、これらを統合する科目を設け、知と実践を融合する教育課程を編成します。
- ・入学後の学修を主体的に行うことができ、かつ、学習動機を明確化できるよう、初年次教育を充実します。
- ・自律的な生涯学習力を育成するため、キャリア形成に関わる教育を推進します。

2. 教育方法

- ・健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働して実践する能力を形成するために、対話型・参加型教育の展開に努めます。

3. 学修成果の評価

- ・各学部の定める成績評価基準に基づき、試験、レポート等により、学修成果を厳格に評価します。
- ・学修成果の可視化に努め、教育課程を検証します。

令和6年度全学共通科目履修案内目次

I. 履修案内

1. はじめに

(1) 履修手続の流れ	1
(2) 学期と学年暦	2
(3) 授業時間と単位制度	3
(4) 科目ナンバリング制度	4
(5) シラバス	5

2. 全学共通科目の履修計画の立て方

- (1) 必修科目、選択必修科目、選択科目
- (2) 教育課程表、授業時間割表、開設一覧表

3. 全学共通科目の科目区分と履修方法

(1) 入門科目	6
(2) 教養科目	

A. 基幹科目（人文・社会分野、自然分野、実験演習分野）	7
B. 主題科目	11
C. キャリア科目	11
※ 鳥取地区の教養科目の抽選制度について	12

(3) 外国語科目

A. 英語	13
B. 英語以外の外国語（初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、 スペイン語、ロシア語））	15

(4) 健康スポーツ科目

A. 1年生枠	18
B. 全学生自由選択枠	18

(5) 日本語・日本事情に関する科目

4. 履修上の注意事項

- ①教養科目履修登録上限単位数
- ②授業クラスの指定
- ③二重履修の禁止
- ④同一名称の授業科目
- ⑤固有の履修条件を定めている授業科目
- ⑥掲示
- ⑦授業中のマナー

5. 授業の欠席

- ①授業欠席届
- ②長期欠席届
- ③感染症による出席停止
- ④教育実習履修に伴う欠席届

6. 試験

- ①定期試験
- ②追試験
- ③再試験
- ④不正行為

7. 成績

- ①成績の評価（成績評価基準）
- ②成績評価の疑義申立制度
- ③GPA制度
- ④学期の途中で休学した学生の履修歴

8. 既修得単位の認定

9. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

10. 教育職員免許状の取得

11. データサイエンス教育プログラム

12. グローバル教育プログラム

13. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と選択科目「地域創生推進科目」

II-1. 全学共通科目教育課程表・授業時間割表（鳥取地区）

1. 令和6年度全学共通科目教育課程表・授業時間割表（抄）

(1) 地域学部	30
(2) 医学部（生命科学科）	32
(3) 医学部（保健学科看護学専攻）	34
(4) 医学部（保健学科検査技術科学専攻）	36
(5) 工学部（機械物理系学科）	38

(6) 工学部 (電気情報系学科)	40
(7) 工学部 (化学バイオ系学科)	42
(8) 工学部 (社会システム土木系学科)	44
(9) 農学部 (生命環境農学科)	46
(10) 日本語・日本事情に関する科目	48
2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表	
(1) 入門科目	49
(2) 教養科目	50
① 基幹科目 (人文・社会分野)・主題科目・キャリア科目	52
② 基幹科目 (自然分野)	58
③ 基幹科目 (実験演習分野)	62
(3) 外国語科目	63
(4) 健康スポーツ科目	71
(5) 日本語・日本事情に関する科目	72
(6) 海外実践教育に関する科目	72
3. グローバル教育基礎科目群	73
4. 地域志向科目・地域創生推進科目	75
5. 全学共通科目ナンバリング一覧表 (鳥取地区)	76
II-2. 全学共通科目教育課程表・授業時間割表 (米子地区)	
1. 令和6年度全学共通科目教育課程表・授業時間割表(抄)	78
2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表	80
3. 科目ナンバリング一覧表 (米子地区)	82
4. 地域志向科目 (米子地区)	82
II-3. 農学部共同獣医学科	
1. 履修案内	83
2. 令和6年度一般教養科目教育課程表・授業時間割表(抄)	92
3. 令和6年度一般教養科目開設一覧表	94
III. 履修規則等	
1. 鳥取大学全学共通科目履修規則	101
2. 鳥取大学全学共通科目に関する細則	102
3. 鳥取大学単位認定規則	103
4. 鳥取大学における成績等の評価及びGPA制度に関する要項	104
5. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程	105
6. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程	106
7. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項	107
8. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱いについて	109
9. 試験における注意事項	110
10. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ	111
11. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり授業に出席できない場合の取扱いについて	112
IV. 付録	
1. キャンパス配置図	
鳥取地区	113
鳥取地区共通教育棟配置図	114
米子地区	120
2. 令和6年度学年暦七曜表	
鳥取地区	121
米子地区	122

I. 履修案内

1. はじめに	
(1) 履修手続の流れ	1
(2) 学期と学年暦	2
(3) 授業時間と単位制度	3
(4) 科目ナンバリング制度	4
(5) シラバス	5
2. 全学共通科目の履修計画の立て方	5
(1) 必修科目、選択必修科目、選択科目	
(2) 教育課程表、授業時間割表、開設一覧表	
3. 全学共通科目の科目区分と履修方法	6
(1) 入門科目	
(2) 教養科目	
A. 基幹科目(人文・社会分野、自然分野、実験演習分野)	7
B. 主題科目	11
C. キャリア科目	11
※ 鳥取地区の教養科目の抽選制度について	12
(3) 外国語科目	
A. 英語	13
B. 英語以外の外国語(初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、ロシア語))	15
(4) 健康スポーツ科目	
A. 1年生枠	18
B. 全学生自由選択枠	18
(5) 日本語・日本事情に関する科目	19
4. 履修上の注意事項	21
①教養科目履修登録上限単位数 ②授業クラスの指定 ③二重履修の禁止	
④同一名称の授業科目 ⑤固有の履修条件を定めている授業科目 ⑥掲示	
⑦授業中のマナー	
5. 授業の欠席	23
①授業欠席届 ②長期欠席届 ③感染症による出席停止 ④教育実習履修に伴う欠席届	
6. 試験	23
①定期試験 ②追試験 ③再試験 ④不正行為	
7. 成績	24
①成績の評価(成績評価基準) ②成績評価の疑義申立制度 ③GPA制度	
④学期の途中で休学した学生の履修歴	
8. 既修得単位の認定	25
9. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定	26
10. 教育職員免許状の取得	26
11. データサイエンス教育プログラム	26
12. グローバル教育プログラム	26
13. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と選択科目「地域創生推進科目」	27

全学共通科目の教育目標

全学共通科目では、鳥取大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を学生が修得できるように、以下の目標を定めています。

1. 人類の知の営みを体系化した人文科学・社会科学・自然科学の基礎を理解し、知識の幅を広げること。
2. 様々な課題を探究し解決するために、必要な知識・情報を吟味し、それらを手に入れる方法を身に付けること。
3. 事実に基づいて多角的な視点から論理的に考え、分かりやすく表現できること。
4. 人生を通じて地域・国際社会で学び続けるために、絶えず色々な事柄に興味・関心を持つこと。
5. 社会的なルールを身に付け、人とのコミュニケーションやチームワークを重視して行動できること。

これらの実現のために「入門」、「教養」、「外国語」、「健康スポーツ」という4つの科目区分を設けています。

1. はじめに

鳥取大学の教育課程は、所属する学部に関係なく全ての学生が履修する「全学共通科目」と、各学部固有の「専門科目」から成ります。このうち本冊子『令和6年度全学共通科目履修案内』は、全学共通科目の履修方法を説明したものです。本冊子は卒業まで使用しますので、紛失しないよう大切に扱ってください。

(1) 履修手続の流れ

全学共通科目の履修手続は以下のとおりです。鳥取地区と米子地区、また前期と後期でそれぞれ異なりますので、注意してください（抽選制度については p.12 を参照してください）。**日程は変更される可能性があります。詳細は、各期開始前に鳥取大学ホームページや学務支援システム掲示板で掲示します。**

なお「**集中講義**」の募集・履修手続の案内は、別途掲示にて行います。

○鳥取地区（前期）

教養科目 事前登録締切	4月4日（木） ※学務支援システムにログインして事前登録科目の登録を行ってください。
教養科目 事前登録結果発表	4月8日（月）12:00 各自、学務支援システムから確認します。「履修登録・登録状況照会」画面に表示された科目は、抽選の結果、当選した科目です。
教養科目 追加登録	4月8日（月）17:00～ 各自、学務支援システムから行います。受入人数に達していない科目について、先着順で登録可能です。抽選に外れた場合は、必ず追加登録を行ってください。
前期科目・第1クォーター科目 履修登録・取消期間	4月8日（月）13:00～4月23日（火） ※事前登録対象外の教養科目、自然分野（工学部学生対象）、実験演習分野、各学部の専門科目を、各自、学務支援システムから登録します。 履修する意思のない科目については必ず取消を行ってください。学務支援システムで取消できない全学共通科目は教育支援課④番窓口で取消を願い出てください。 取り消さない場合、GPA数値が下がります。
第2クォーター科目 履修登録・取消期間	6月4日（火）～6月24日（月） ※第2クォーター科目の履修登録・取消期間です。各自、学務支援システムから登録します。期間中は、一部の科目を除き、登録されている科目の取消を各自で行うことができます。 履修する意思のない科目については必ず取消を行ってください。

○鳥取地区（後期）

別途掲示します。

○米子地区（前期）

初修外国語事前登録	日時：4月5日（金） 場所：記念講堂 ※ 抽選結果は4月5日（金）学務支援システムおよび総合教育棟横の医学科掲示板に掲示します。
履修登録	4月5日（金）オリエンテーション後、説明 ※ 履修確認は各自が学務支援システムで4月7日（日）までに行ってください。

○米子地区（後期）

別途掲示します。

（2）学期と学年暦

1年は前期・後期の2期に分かれ、定期試験期間を含め各期16週から成ります。前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなります。ただし、一部の授業科目では前期・後期をそれぞれ2分した8週の授業時間（第1クォーターから第4クォーター）で実施するものもあります。詳細は毎年の学年暦で決められており、令和6年度は以下のとおりです。巻末（pp.121-122）に七曜表を掲載していますので、併せて確認してください。

令和6年度 学年暦（鳥取地区）

月 日	事 項
4月 1日（月）	学年開始（前期開始）
4月 1日（月）～ 4月 9日（火）	春季休業日
4月 1日（月）～ 4月 2日（火）	全学共通科目説明会
4月 6日（土）	入学式・全学新入生オリエンテーション
4月 8日（月）	各学部オリエンテーション
4月10日（水）	前期・第1クォーター授業開始
5月 1日（水）	月曜日の振替授業
5月 9日（木）	月曜日の振替授業
6月 1日（土）	鳥取大学記念日
5月25日（土）， 6月10日（月）	前期（第1クォーター）予備日
6月11日（火）	前期（第2クォーター）授業開始
7月16日（火）	月曜日の振替授業
7月27日（土）， 8月 7日（水）	前期（第2クォーター）予備日
8月 8日（木）～ 9月30日（月）	夏季休業日
9月30日（月）	前期終了
10月 1日（火）	後期開始
10月 1日（火）	後期・第3クォーター授業開始
10月15日（火）	月曜日の振替授業
11月 6日（水）	月曜日の振替授業
11月16日（土）， 11月28日（木）	後期（第3クォーター）予備日
11月29日（金）	後期（第4クォーター）授業開始
12月24日（火）	木曜日の振替授業
12月26日（木）～ 1月 5日（日）	冬季休業日
1月15日（水）	金曜日の振替授業
1月17日（金）	大学入学共通テスト試験準備による休講
1月25日（土）， 2月 6日（木）	後期（第4クォーター）予備日
3月18日（火）	卒業式
2月 7日（金）～ 3月31日（月）	春季休業日
3月31日（月）	学年終了（後期終了）

*休業日においても授業等を実施することがある。

令和6年度 学年暦（米子地区医学科1年次）

月 日	事 項
4月 1日（月）	学年開始（前期開始）
4月 5日（金）	米子地区新入生オリエンテーション
4月 6日（土）	入学式
4月 8日（月）	前期授業開始
4月30日（火）	月曜日の授業を振替実施
5月 2日（木）	第9木曜日の授業を実施
5月 8日（水）	月曜日の授業を振替実施
6月 1日（土）	鳥取大学記念日
8月 1日（木）	金曜日の授業を振替実施
8月 1日（木）	前期授業終了
7月29日（月）～ 8月 6日（火）， 9月13日（金）～ 9月30日（月）	前期定期試験
8月 7日（水）～ 9月12日（木）	夏季休業日
9月30日（月）	前期終了
10月 1日（火）	後期開始
10月 1日（火）	後期授業開始
10月15日（火）	月曜日の授業を振替実施
11月 6日（水）	月曜日の授業を振替実施
12月 6日（金）	午前のみ金曜日（午前の科目）授業
12月28日（土）～ 1月 5日（日）	冬季休業日
1月16日（木）	月曜日の授業を振替実施
1月17日（金）	午前のみ金曜日（午後の科目）授業 午後は、大学入学共通テスト試験準備による休講
1月31日（金）	後期授業終了
1月27日（月）～ 2月 7日（金）， 2月10日（月）～ 2月21日（金）	後期定期試験
3月 7日（金）	卒業式
2月22日（土）～ 3月31日（月）	春季休業日
3月31日（月）	学年終了（後期終了）

（3）授業時間と単位制度

① 授業時間

通常の授業科目は毎週1回×15週で実施されます。ただし、クォーター開講科目は毎週1回×8週、あるいは毎週2回×8週で実施されます。

また、「**集中講義**」は、週末や夏季・冬季休業日等を利用することによって、短期間内に集中的に実施されます。

授業は月曜日から金曜日まで行われます。1日の授業は1時限から5時限まで行われ、1時限は通常90分を基本とします。

（鳥取地区）

区 分	授 業 時 間
1 時 限	8：45～10：15
2 時 限	10：30～12：00
3 時 限	13：00～14：30
4 時 限	14：45～16：15
5 時 限	16：30～18：00

（米子地区）

区 分	授 業 時 間
1 時 限	8：40～10：10
2 時 限	10：30～12：00
3 時 限	13：00～14：30
4 時 限	14：50～16：20
5 時 限	16：40～18：10

② 単位制度

全ての授業科目には、授業形態と学習時間に応じて、単位数が設定されています。1単位の修得には45時間の「**学習時間**」が必要とされ、この学習時間には、大学での「**授業時間**」と、それ以外の「**自習時間**」（予習・復習等）が含まれます。

本学では、授業の形態に応じて、1単位当たりの授業時間を以下のように定めています。

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習及び全学共通科目の実技 | 30時間 |
| (3) 実験、実習及び実技（全学共通科目の実技を除く。） | 45時間 |

授業の形態と授業回数、学習時間、単位数の関係は、次のとおりです。

授業の形態	授業回数	学習時間			単位数
		授業時間	自習時間	合計	
講義	15回 (週1コマ)	30時間 (週2時間)	60時間 (週4時間)	90時間 (週6時間)	2単位
演習及び全学共通科目の実技 (例：外国語科目、健康スポーツ科目)	15回 (週1コマ)	30時間 (週2時間)	15時間 (週1時間)	45時間 (週3時間)	1単位
実験、実習及び実技 (全学共通科目の実技を除く)	15回 (週2コマ)	45時間 (週3時間)	0時間 (週0時間)	45時間 (週3時間)	1単位

* 1回90分の授業を、2時間の授業時間と見なします。

* クォーター開講科目のうち、毎週1回×8週のものについては、学習時間・単位数が上表の数値の半分となります。

(4) 科目ナンバリング制度

① 科目ナンバリングの目的

鳥取大学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。科目ナンバリングにより各科目の分野や対象学年（水準）等を整理し、教育課程をより体系的に理解することができます。履修科目を選択する際などに活用してください。

② 科目ナンバリングの見方

鳥取大学の科目ナンバリングは、原則、5文字のアルファベットと4桁の数字で構成されます。また、一部の科目では、ハイフン（-）以下に補足情報を付与する場合があります。

憲法学（LALAW1001-CG）を例に各アルファベット、数字等の意味を説明します。この場合、最初のLAは学科等を意味します<(1)参照>。次のLAWは学問分野を意味します<LAW：法学(2)参照>、最初の数字は、学年（水準）<1：入門、初級レベル。(3)参照>、次の数字は授業形態<0：講義(4)参照>、及び二桁の通し番号<(5)参照>となっています。ハイフン（-）以下が補足情報<CG(6)参照>です。

学科	分野	学年	授業形態	通し番号	-	補足情報
LA	LAW	1	0	01		CG

(1) 学科等（アルファベット2文字）：全学共通科目は、全てLAとなります。

(2) 分野（アルファベット3文字）：全学共通科目については以下のとおりです。

人文科学		社会科学		語学	
哲学	PHL	法学	LAW	英語	ENG
倫理学	ETH	政治学	POL	ドイツ語	GER
社会思想	THU	経済学	ECN	フランス語	FRA
教育学	EDU	経営学	MAN	中国語	CHN
心理学	PSY	自然科学		韓国語	KOR
芸術学	ART	数学	MAT	ロシア語	RUS
文学	LIT	物理学	PHY	スペイン語	SPA
歴史	HIS	化学	CHE	日本語	JPN
地理	GEG	生物学	BIG	その他の分野	
言語学	LIN	地学	EAR	健康スポーツ	HEA
社会学	SOC	情報科学	INF	その他	OTH

(3) 水準（数字1桁）

- 1：入門及び初級レベル/1年次相当
- 2：中級レベル(専門分野の基礎科目)/2年次相当
- 3：中級～上級（専門分野の応用科目）/3年次相当
- 4：上級～（専門分野の発展科目）/4年次相当

(4)授業形態（数字1桁）

0：講義 1：演習 2：実験 3：講義＋演習 4：講義＋実験

(5)通し番号（数字2桁）

(6)補足情報（ハイフン以下のアルファベット文字）

C：地域志向科目又は地域創生推進科目、 G：グローバル教育基礎科目群及び関連科目

CG：上記C及びG双方に指定されている科目

(7)その他

科目名が同じで連続する科目の場合、通し番号に続けてアルファベット1文字が付与される科目があります。

<例> 総合英語Ⅰ（LAENG2100A）

総合英語Ⅱ（LAENG2100B）

（5）シラバス

「シラバス」(syllabus)とは開設科目に関する授業計画のことで、担当教員の情報や、「授業科目の目的・概要」、「達成目標」、「授業のレベル」、「授業の形式」、「教科書・参考書」、「成績評価の方法・基準」といった基本事項、授業実施回数分の「授業内容」、「予習・復習内容」などを示したものです。履修科目を選択する時や、授業科目を受講する前に、必ず確認するようにしてください。また、授業開始後も、各回の授業内容や、予習・復習事項を確認するため、積極的に活用してください。

シラバスは「鳥取大学ホームページ」→「在学生の方へ」→「シラバス」→「シラバス検索画面へ」で確認できます。

2. 全学共通科目の履修計画の立て方

（1）必修科目、選択必修科目、選択科目

① 必修科目

必ず修得しなければならない科目です。

② 選択必修科目

該当する科目区分について、指定された科目群のなかから履修科目を選択し、必要単位を修得します。

③ 選択科目

該当する科目区分について、全ての開設科目のなかから履修科目を選択し、必要単位を修得します。

（2）教育課程表、授業時間割表、開設一覧表

次の手順で履修計画を立てます。

① 教育課程表

どの学年・学期にどの科目区分からどの授業科目を履修するか、また卒業までにどの科目区分から何単位を履修するかについては、「全学共通科目に関する細則」の「**全学共通科目教育課程表**」（pp.30-46, 78）によって確認します。学部・学科・入学年度によって異なりますので注意してください。

また、特定の学年・学期に履修するよう定められている科目をその通り履修しなかった場合、その後の履修計画に支障をきたし、所定の年限で卒業できなくなることもありますので注意してください。

② 授業時間割表

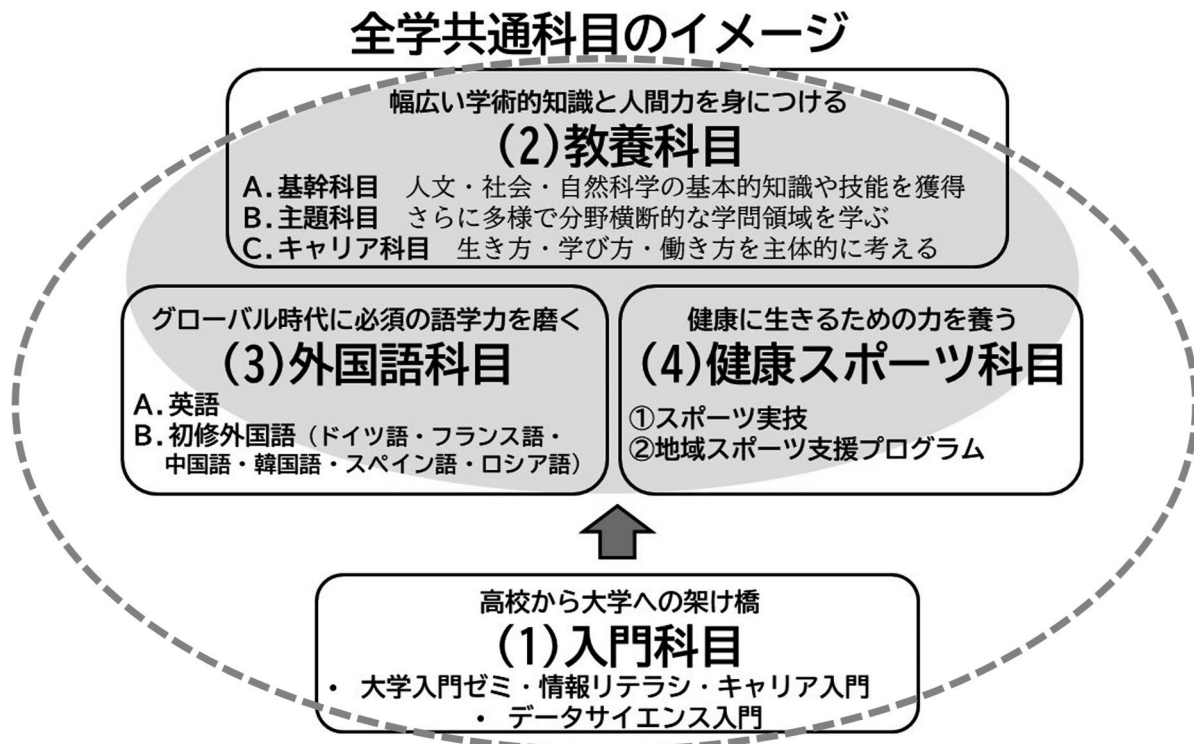
どの曜日・時限にどの科目区分の授業科目を履修するかについては、「**全学共通科目授業時間割表**」（pp.31-48, 79）によって確認します。学部・学科・入学年度によって異なりますので注意してください。

③ 開設一覧表

どの曜日・時限にどの授業科目を選択できるか、あるいはどの指定クラスで履修するかについては、「**全学共通科目開設一覧表**」（pp.49-72）によって確認します。なお、本冊子に掲載されているものは令和6年度のもので、年度によって開設科目の種類・担当教員が異なることがありますので注意してください。

3. 全学共通科目の科目区分と履修方法

全学共通科目は「入門科目」、「教養科目」、「外国語科目」、「健康スポーツ科目」の4つに区分されます。4つの科目区分の関係は、以下のイメージのとおりです。



※ 図中の数字・アルファベットは、以下の説明の見出しに対応しています。

(1) 入門科目

入門科目は、自ら課題を発見し、探求するという大学教育に必要な学習態度・能力を養うとともに、高校教育から大学教育への円滑な移行を促すことを目的としています。

入門科目は、「大学入門ゼミ」、「情報リテラシ」、「キャリア入門」、「データサイエンス入門」の4つに区分されます。「大学入門ゼミ」、「情報リテラシ」、「キャリア入門」は指定クラスで履修します(鳥取地区は p.49、米子地区は p.80 参照)。「データサイエンス入門」はオンデマンド方式で授業を行います(p.49)。

大学入門ゼミ

大学入門ゼミでは、課題の発見・探求に必要な基礎知識・技法を学ぶことによって、自主的・継続的な学習能力を養うとともに、教員と触れあい、学生が互いに学びあうことによって、大学生活を営む上で必要なコミュニケーション能力・チームワークを培います。

情報リテラシ

情報リテラシでは、情報通信ネットワークの発達した現代社会で必要となっている情報倫理・セキュリティを養いながら、パソコンの基本的な構造と機能、及びワープロ、電子メール、インターネット、表計算システム、データベース、プレゼンテーションなど基本ソフトの利用方法について、講義・テキストによって理論的な知識を学ぶと共に、ノート型パソコンを用いた演習によって実践的な技術を修得します。

キャリア入門

自律的・能動的な学生生活を送ることは、今後の人生 = 「キャリア」を形づくる基盤的な能力や態度を育み

ます。そこで、「キャリア」という概念を手がかりに、生きること・学ぶこと・働くことについて理解を深め、大学卒業後の進路選択（進学・就職）を視野に入れた、充実した学生生活への動機づけを行います。

データサイエンス入門

情報通信技術や計測技術の発展により多量かつ多様なデータが得られるようになりました。データは21世紀の石油とも呼ばれ新たな経済的な資源と考えられるようになり、データを処理・分析し、データから価値を引き出すことのできる人材が求められるようになりました。データの処理にはコンピュータの、また、その分析には統計学や機械学習の知識がそれぞれ必要となりますが、データサイエンスの応用分野は人や社会に関連する分野であることが多く、この意味においてデータサイエンスの素養は文系理系の区別を問わず必要とされます。本科目では、ビッグデータ時代を生きる全ての大学生が身につけておくべきリテラシーとしてのデータサイエンスへの入門を解説します。

(2) 教養科目

教養科目は、人間・社会・自然に関する基本的・学際的な学問領域について、広く深い学術的な知識・技能を修得するとともに、柔軟で総合的な理解力・判断力を養うことによって、特定の専門分野に偏らない豊かな教養と人間性を身につけた、現代社会の中核となりうる人材の育成を目的としています。

教養科目は、A「**基幹科目**」、B「**主題科目**」、C「**キャリア科目**」の3つに区分されます（開設一覧表は pp.52-62、医学科は p.80 参照）。

教養科目の履修登録は抽選制度によって決定します（p.12 参照）。また学年・学期あたり履修登録できる単位数には上限が設けられています（p.21 参照）。

なお教養科目には、週末や夏季・冬季休業日等を利用して、授業を短期間内に集中的に実施する「**集中講義**」として開設されるものがあります（開設一覧表は pp.54,57 参照）。集中講義の募集・履修手続の案内は別途掲示にて行います。また集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。

A 基幹科目

基幹科目では、人文・社会・自然科学に関する確立された基本的な学問領域について、体系的・基礎的な知識・技能を修得するとともに、論理的・科学的な発想方法・思考能力、及び芸術・文化に対する深い理解・感性を養うことによって、物事を幅広い視野から総合的・客観的に理解・判断する能力を育成します。

基幹科目は「**人文・社会分野**」、「**自然分野**」、「**実験演習分野**」に区分されます。

① 人文・社会分野

客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、人文・社会科学的な発想方法・思考能力を養います。

このうち、本学の学生であるなら所属学部に関係なく学んでおきたい基礎的な科目については**選択必修**（対象学部・学科：地域学部、医学部生命科学科・保健学科、工学部、農学部生命環境農学科）、それ以外の発展的な科目については**選択科目**となります。

人文・社会分野の学問領域と、選択必修の対象となる授業科目の関係は、次のとおりです。

	学問領域	授業科目名	単位数	備考
人文系	哲学・倫理学	哲学・倫理学	2	2科目4単位を修得
	心理学	心理学	2	
	芸術学	芸術入門	2	
	文学	文学	2	
社会系	法学	憲法学	2	2科目4単位を修得
	政治学	政治学	2	
	経済学	経済学	2	
	歴史学	歴史学	2	

*科目名称が類似していても上記以外の授業科目は選択必修ではないので注意してください。
（例：発達心理学、法律学、考古学など）

② 自然分野

客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、自然科学的な発想方法・思考能力を養います。
自然分野の履修方法は以下のとおりです。学部・学科によって異なりますので注意してください。

◎ **地域学部**の学生は、下記の授業科目から2単位以上（1科目以上）を概ね1年次から3年次までに修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 pp.60-61 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
		解析入門Ⅱ	
	後期	データ科学の基礎	
		線形代数入門	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	

◎ **医学部 生命科学科**の学生は、下記の授業科目から6単位以上（3科目以上）を1年次に修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 pp.60-61 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
数学	前期	解析学教程Ⅰ	後期「解析学教程Ⅱ」は前期「解析学教程Ⅰ」を履修した者を前提。
		解析学教程Ⅱ	
	後期	データ科学の基礎	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学ⅠA	
	後期	生物学ⅡA	

◎ **医学部 保健学科 看護学専攻**の学生は、下記の授業科目を1年次に履修することができます。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 pp.60-61 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
物理学	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	後期	化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。

◎ **医学部 保健学科 検査技術科学専攻**の学生は、下記の授業科目から4単位以上（2科目以上）を1年次に修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 pp.60-61 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
	後期	解析入門Ⅱ	
	前期	解析学教程Ⅰ	後期「解析学教程Ⅱ」は前期「解析学教程Ⅰ」を履修した者を前提。
	後期	解析学教程Ⅱ	
		データ科学の基礎	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	後期	化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	
	後期	生物学概論Ⅱ	

◎ **工学部 機械物理系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれます。 「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・地学）」から8単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
数学	前期	微分積分学Ⅰ	これらの授業科目は全て必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。 履修登録科目は教養科目登録上限単位数に含まれません。 履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。
		線形代数Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ	
		線形代数Ⅱ	
物理学	前期	基礎物理学Ⅰ	「数学」「物理学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれません。
	後期	基礎物理学Ⅱ	
実験演習分野	前期	物理学実験演習	
化学	前期	化学概論	この授業科目は選択科目で、教養科目履修登録上限単位数に含まれません。履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。「化学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれません。

◎ **工学部 電気情報系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
上記の「生物学」、「化学」、「地学」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれます。 「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・化学・地学）」から8単位以上を修得します。 ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。			
数学	前期	微分積分学Ⅰ及び演習	これらの授業科目は全て必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。 履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれません。 履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。
		線形代数学Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ及び演習	
		線形代数学Ⅱ	
物理学	前期	基礎物理学Ⅰ	「数学」「物理学」について、左記以外の授業科目は卒業に必要な単位には含まれません。
	後期	基礎物理学Ⅱ	
実験演習分野	後期	物理学実験演習	

◎ **工学部 化学バイオ系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれます。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・地学）」から12単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。			
数学	前期	基礎数学Ⅰ	これらの授業科目は選択科目で、1年次に指定クラスを履修します。（教養科目履修登録上限単位数に含まれません。）
	後期	基礎数学Ⅱ	
物理学	前期	基礎物理学	履修登録は各自が履修登録期間に手続を行います。
化学	前期	基礎化学Ⅰ	これらの授業科目は必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。（教養科目履修登録上限単位数に含まれません。）
	後期	基礎化学Ⅱ	
実験演習分野	前期	化学実験演習	履修登録は各自が履修登録期間に手続を行います。
	後期	物理学実験演習	
上記の「数学」「物理学」「化学」の授業科目から6単位以上を修得します。			
「数学」「物理学」「化学」について、上記以外の授業科目は卒業に必要な単位には含まれません。			

◎ **工学部 社会システム土木系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学」を履修した者が望ましい。 前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。 前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
	後期	化学Ⅱ	
		化学Ⅲ	
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	1年次に「地球科学（2単位）」を修得することが望ましい。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
上記の「生物学」「化学」「地学」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれます。			
数学	前期	微分積分学Ⅰ 線形代数	これらの授業科目は必修科目で、必ず1年次に履修します。 「数学」「物理学」については、左記以外の科目は卒業に必要な単位に含まれません。
	後期	微分積分学Ⅱ	
物理学	後期	力学基礎及び演習	
実験演習分野	前期	地球科学実験演習	この授業科目は選択科目で2年次に履修します。社会経営工学プログラムにおいては、左記の科目は卒業に必要な単位には含まれません。
上記の「数学」「物理学」「実験演習分野」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれません。 履修登録は各自が履修登録期間に手続を行います。			
「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・化学・地学）」から8単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。			

◎ **農学部 生命環境農学科**の学生は、下記の授業科目から4単位以上（2科目以上）を修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 pp. 60-61 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目名	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
		解析入門Ⅱ	
	後期	データ科学の基礎	
		線形代数入門	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学」を履修した者が望ましい。 前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
	後期	化学Ⅱ	
生物学	前期	生物学ⅠB	前期は2クラス開設します。 (生物学ⅠA、生物学ⅡAを履修可能ですが、同期に生物学ⅠAとⅠB、生物学ⅡAとⅡBを履修することはできません。)
	後期	生物学ⅡB	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	

③ **実験演習分野**

自然科学分野における基本的な実験操作及び実践的な知識・技能を修得するとともに、レポート作成を通じて実験の過程・結果に対する観察力・考察力を養います。

B 主題科目

主題科目では、人間・社会・自然の事象に関する個別的・具体的な学問領域、及び学問横断的な総合領域について、基幹科目よりもさらに先端的・発展的な知識・技能を修得するとともに、複眼的・学際的な発想方法・思考態度を身につけ、また人間社会や自然環境の多様なあり方に対する理解・知見を深めることによって、現代的・人類的な課題を主体的・批判的に発見・探求する能力を育成します。

主題科目は、「人間と文化」、「人間と科学」、「人間と環境」、「健康と生命」、「世界と地域」、「教養ゼミナール」に区分されます。

① 人間と文化

人間の存在それ自体と人間の創り出した文物及びその社会について、広く文化的・社会的・国際的な観点から学びます。

② 人間と科学

現代社会が享受している様々な科学技術の成果と今後の課題について、広く工学的・社会的・現代的な観点から学びます。

③ 人間と環境

現代社会が直面している地球・自然環境の危機と今後の課題について、広く農学的・人類的・国際的な観点から学びます。

④ 健康と生命

社会生活を営む人間の心身・健康と人類を含めた生命の不思議について、広く医学的・精神的・社会的な観点から学びます。

⑤ 世界と地域

現代社会が直面しているグローバル化の諸相や世界及び日本の地域的課題解決について、人文、社会、自然の視座から学際的に学びます。

⑥ 教養ゼミナール

さまざまな分野のテーマを、少人数のゼミナール（輪読）形式によって、教員と学生、学生同士が親密なコミュニケーションを取りながら学びます。また、自ら調べ、発表し、議論する参加型の授業を通じて、アクティブ・ラーニング（主体的学修）の習慣や大学生としての基本的教養を身につけます。なお、「教養ゼミナール（1）」から1科目を、「教養ゼミナール（2）」から1科目を、それぞれ履修登録上限単位数内で登録できます。

C キャリア科目

自らの人生について「どう生きるか」「どう学ぶか」「どう働くか」を生涯にわたって主体的・能動的に考え、かつそれらを具体化・実現化するための力を育成します。特に、卒業後の社会的・職業的自立に必要な能力のうち、専門科目だけでは十分な習得が難しい内容や領域を取り扱います。

※鳥取地区の教養科目の抽選制度について

教養科目の授業科目は定員として受入人数を設定しているため、受入人数を超過する履修希望があった場合、無作為の抽選によって受講者を決定します。ただし例外として、基幹科目のうち「工学部教育課程表自然分野の一部の授業科目」、「実験演習分野」、教養科目の一部の科目は、抽選制度が適用されません。

a. 手順

まず時間割表 (pp. 31-48) にしたがって、履修を希望する曜日・時限を選択してください。選択できる曜日・時限の数は登録上限単位数内 (p. 21) です。

次に開設一覧表 (pp. 49-72) にしたがって、選択した曜日・時限の開設科目一覧から、希望する授業科目を選択してください。最大で第3希望まで指定することができます。

b. 事前登録（抽選登録）方法

事前登録（抽選登録）は、各自が学務支援システムにログインして行います。（4月1日または2日に実施の全学共通科目説明会で配布するマニュアルを参照してください。）

抽選結果は4月8日（月）12：00に発表します。各自が学務支援システムにログインして確認します。

c. 追加登録

希望した科目が抽選で外れた場合、受入人数に達していない科目は、学務支援システムから先着順で登録可能です。追加登録開始日時は次のとおりです。

前期：4月8日（月）17：00～

後期：別途掲示で案内します。

*追加登録は、各期の履修登録期間中、行うことができます。

令和6年度前期教養科目抽選制度日程（p. 1 参照）

4月1日、2日 全学共通科目説明会で教養科目事前登録（抽選登録）方法を説明

4日 事前登録（抽選登録）締切

8日 12：00に教養科目事前登録（抽選登録）結果発表。各自、学務支援システムから確認します。「履修登録・登録状況照会」画面に表示された科目は、抽選の結果、当選した科目です。

※米子地区の教養科目について

教養科目の基幹科目中「人文・社会分野」と主題科目は抽選制度が適用されます。**履修登録上限単位数（p. 21）の範囲内**で履修します。詳細は前期開始前に掲示にて別途案内します。

(3) 外国語科目

今日のグローバル化社会に対応し、専門科目の学修や英語コミュニケーションに必要な英語力を習得するとともに、英語以外の新たな外国語を学ぶことによって視野を広げ、国際感覚豊かな人材となることを目的としています。

外国語科目には、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」、「スペイン語」、「ロシア語」が開設されています。各学部の指定する外国語の中から、それぞれ必要な単位を修得してください。詳細は「全学共通科目に関する細則」の別表「全学共通科目教育課程表」（学部・学科別）（pp.30-46, 78, 92）を参照してください。

A 英語

1. 本学の英語教育の特徴

今日のグローバル化社会において、「国際語としての英語」(English as an International Language)の重要性はますます高まるばかりです。大学の英語教育においても、英語力、とりわけ英語コミュニケーション能力を身につけることが強く求められています。このような状況を踏まえ、本学では以下の点を特徴とした英語教育を行っています。

- (1) 読む、書く、聞く、話す等の全般にわたる英語の実践的運用能力を養成し、外国人と英語による円滑なコミュニケーションが図れることを目指します。鳥取地区では1年次前期に「コミュニケーション英語」、後期には「実践英語」を設け、英語の技能の円滑な習得に配慮しています。2年次では、4技能を1つの授業で行う「総合英語」を開設しています。
- (2) 英語の学習を通して世界の人々の生活、文化、思考様式等を知り、異文化に対する理解を深めます。
- (3) 履修者の興味関心（知的興味、実践的興味）を満たしながら英語力を養成します。

2. 授業の種類と履修方法

鳥取地区

学年	学期	授業科目名	単位数	備考
1年次	前期	コミュニケーション英語A	1単位	
		コミュニケーション英語B	1単位	
	後期	実践英語A	1単位	
		実践英語B	1単位	
2年次	前期	総合英語Ⅰ（地・工・農学部）	1単位	
		総合英語Ⅲ（工学部）	1単位	
	後期	総合英語Ⅱ（地・工・農学部）	1単位	
		総合英語Ⅳ（工学部）	1単位	
3年次以上		英語上級A	1単位	卒業に必要な単位に含まれない。
		英語上級B	1単位	
		英語上級C	1単位	
		英語上級D	1単位	

鳥取地区で開設する外国語科目（英語）の授業の内容は次のとおりです。

① コミュニケーション英語A（1年次前期）

少人数クラスで、英会話を中心とし、英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指します。

② コミュニケーション英語B（1年次前期）

基礎的な英文読解力を養い、また読解の方法を学びます。この授業を通して自主的に英文を読める力を養成し、語彙力や読解力を高めます。国際コミュニケーションという観点から英語を用いる能力を高めることを目指します。

③ 実践英語A（1年次後期）

オーラル・コミュニケーションの技術の向上を目指すことを中心としたクラスです。オーラル・コミュニケーションをサポートするために、必要に応じてリスニング、リーディング等の活動も行います。

④ 実践英語B（1年次後期）

リーディングの力の養成に焦点を当て、リーディング教材を補うリスニング、ライティングの課題等をこなしながら英語力をつけていきます。現代的トピックを扱った英文を読みこなす力の養成を目指します。

⑤ 総合英語I・II・III・IV（2年次前期・後期）

1年次後期の実践英語A、実践英語Bにおいて学んだ英語の4技能を統合して「総合的な英語力」のトレーニングを行います。その際に、受講者の英語力に応じた教授法と適切な教材の使用によってトータルな英語力の養成を目指します。

総合英語のクラスは、学務支援システムによって指定クラスを確認し、受講してください。なお、TOEICのスコアが500点以上の学生は、更なる英語力の向上を目指して月曜日4限のクラスを受講することができます。各クラスは定員20名です。受講者を別途掲示にて募集しますが、希望者が多い場合は、TOEICの結果（得点）等にもとづいて受講生の調整を行います。指定したクラスが履修できない場合は、教育支援課教務企画係に相談してください。

【留意事項】

1年次及び2年次に開設する外国語科目（英語）では、履修するクラスを指定します。学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に、時間割コード、授業担当教員が記されていますので、授業時間割（pp.63-67）を確認のうえ、授業に出席してください。なお、再履修する場合は、教育支援課教務企画係で受講するクラスを決めてから受講します。

⑥ 英語上級A・B・C・D（3年次以上前期・後期）

3年以上の上級者が更なる英語力向上を目指す英語クラスで、各クラスとも定員は20名です。受講者を別途掲示にて募集しますが、希望者が多い場合は、TOEICの結果（得点）等にもとづいて受講者の調整を行います。

米子地区

学年	学期	授業科目名	単位数	備考
医学科1年次	前期	コミュニケーション英語A	1単位	
	後期	コミュニケーション英語B	1単位	

少人数クラスで、英会話を中心とし、コミュニケーションのための実践的運用能力を身につけます。

3. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学等における授業科目履修及び文部科学大臣が定める学修のうち、試験資格の成績等により、本学における授業科目の履修とみなして単位を認定する制度です。申請手続、試験資格等の成績等は、取扱要項（pp.107-108）を参照してください。

なお英語科目の単位として申請できる「試験資格」は、TOEFL、TOEIC、実用英語技能検定試験です。

単位認定申請は、資格証明書の原本を用意し、教育支援課教務企画係（米子地区は学務課教務係）で手続きしてください。

※ 申請期間は履修登録期間です。

B 英語以外の外国語科目（初修外国語）

1. 履修方法

<鳥取地区>

以下の各学部が指定する外国語の中から1言語を選択し、前期及び後期とも同じ言語を受講します。

- ・地域学部、工学部、農学部共同獣医学科の1年次：ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語
- ・農学部生命環境農学科の1年次：ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、ロシア語
- ・医学部生命科学科及び保健学科の1年次：ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語

選択にあたっては、教養科目の抽選と同様に各自が学務支援システムにログインして行います。

抽選結果発表日は4月8日（月）12：00です。学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に表示された科目が、抽選の結果、当選した科目です。また、同画面に時間割コード、授業担当教員が記されていますので、授業時間割（pp.68-70）を確認のうえ、授業に出席してください。

<米子地区>

医学部医学科の1年次は、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「ロシア語」の中から1言語を選択して前期及び後期とも同じ言語を受講します。授業時間割（p.81）を確認のうえ、授業に出席してください。

2. 授業の種類と履修方法

学年	授業の種類	主な授業内容
1年次	各言語の基礎Ⅰ・Ⅱ	初修外国語を学ぶ最初の授業科目です。導入から始まり、基礎的な文法、文章表現、会話表現を学びます。社会や文化、歴史にも触れます。
2年次	各言語の応用Ⅰ・Ⅱ	「基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生が受講する科目です。「基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法、文章表現、会話表現から次の段階へ学修を進め、理解を深めます。
3年次	各言語の応用Ⅲ・Ⅳ	「応用Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生が受講する科目です。「応用Ⅰ・Ⅱ」から更に進んだレベルの文法、文章表現、会話表現を学びます。検定試験に向けた準備も行います。

- ※1 各言語の基礎Ⅰ・Ⅱが不合格であっても各言語の応用Ⅰ・Ⅱを受講することができます。ただし、基礎Ⅰ・Ⅱを受講せずに、応用Ⅰ・Ⅱを受講することはできません。
- ※2 再履修する場合は、受講する言語、科目、必要単位数を間違えないよう注意してください。（前期の未修得単位は前期に、後期の未修得単位は後期でしか再履修できません。）
- ※3 履修にあたっては、母語を学ぶ授業科目を履修することはできません。また、入学以前にすでに基礎を習得した外国語を選択することもできません。

3. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学等における授業科目履修及び文部科学大臣が定める学修のうち、試験資格の成績等により、本学における授業科目の履修とみなして単位を認定する制度です。申請手続、試験資格等の成績等は、取扱要項（pp.107-108）を参照してください。

単位認定申請は、資格証明書の原本を用意し、教育支援課教務企画係（米子地区は学務課教務係）で手続きしてください。

※ 申請期間は履修登録期間です。

① ドイツ語

ドイツ語を学ぶ意義は、日本語や英語との違いを通して、ドイツ語がどのような言語であるかを知ることです。ドイツ語の単語や文を発音したり、ドイツ語会話の練習をしながら、ドイツ語圏（ドイツ、スイス、オーストリア）の日常生活を知り、また、ドイツ語の文章を読むことで、ドイツ語圏の歴史や文化に触れることは、日本や英語圏とは異なる生活習慣や文化を認識することになり、学習者の視野を広げることになるでしょう。EU(ヨーロッパ連合)内で最大の人口と国民総生産を擁し、政治・経済・文化活動の中心的役割を果たしているドイツについて知ることは、一般常識としても、大学生に必要なことでしょう。

以上のような一般的意義のほかに、次のような具体的な学習目的が考えられます。

- (1) ドイツ語検定試験にチャレンジして資格を取る。(6月と12月に実施されます。受験を希望する学生は、ドイツ語授業担当教員へ申し出てください。)
- (2) ドイツにあるゲーテ協会の夏期語学講座や大学の短期留学コースに参加して、現実のドイツを体験する。

受講者一人一人のドイツ語学習に対する積極的な取り組みを期待しています。たとえ英語が不得手な学生でも、ドイツ語はゼロからのスタートです。自分の努力と意欲でドイツ語を「得意な外国語」にすることができそうです。「ドイツ語をものにする!」、これを大学生活における新しい挑戦と受け止めて、楽しく勉強してみませんか。

ドイツ語の履修や学習全般についての相談や疑問点がありましたら、気軽にドイツ語授業担当教員に尋ねてください。

② フランス語

フランス語はフランス共和国の言語ですが、フランス語を公用語とする国は、スイス、ベルギー、ルクセンブルク、モナコのヨーロッパ諸国のほか、カナダ、ハイチやアフリカ諸国(モーリタニア、セネガル、ギニア、マリ、マダガスカル、コート・ディヴォワールほか)など二十カ国以上に上ります。また、北アフリカのマグレブ諸国(モロッコ、アルジェリア、チュニジア)などでもフランス語が日常的に用いられ、中東のレバノンやシリア、イスラエル、アジアのヴェトナム、ラオス、カンボジアなどもフランス語圏に含まれています。また、かつて国際的な教養語や第一外交語として広く用いられたフランス語は、いまなお多くの国際機関で公用語として用いられています。国際連合やEUでの公用語であり、オリンピックの公式言語でもあります。

フランスと日本の関係も深く、明治から現代まで、フランスのさまざまな文化が移入されてきました。文学・美術・音楽をはじめ、司法・経済・政治でも日本はフランスから大きな影響を受けてきましたし、建築・製鉄・製糸・鉱山などの分野でもフランスから多くのことを学んできました。さらに映画や服飾、料理などを通じてもフランスとフランス語は身近なものとなってきました。

そしてまたフランス語は、デカルトとパスカルのことばであり、ボードレールやランボー、フローベール、プルーストのことばでもあります。新しい外国語としてフランス語を学び、新しい世界を開いてみましょう。

フランス語の履修その他について相談・質問がありましたら、フランス語担当教員に尋ねてください。

③ 中国語

中国の公用語(普通話)を日本人は「中国語」と呼びます。中国語は日本に比較的近い地域で広く話されている言葉であり、同じく漢字を使う言葉でもあります。また、中学校・高等学校で漢文を学習した経験から内容も理解しやすいようにみえます。しかし、話しているのを聞くと全くわかりません。中国語は外国語だと実感する瞬間です。実は、音の響きだけでなく、漢字だから理解できると思われた文章も、単語や文法など日本語とはかなり異なっているのです。外国語らしい音の響き、歌うような抑揚に耳を傾けてみましょう。

中国語の授業は、発音の習得、会話能力、短文の読解、異文化理解力の養成を目標としており、日常コミュニケーション上の有用性を最大限に考慮される内容になっています。

中国語の履修その他について相談や質問があれば、中国語担当教員(崎原麗霞准教授、研究室:共通教育棟2階 S2050)まで連絡してください。

④ 韓国語

韓国は日本にとって地理的・歴史的にも身近な隣国で、同じ東洋文化圏に属しており、ともに仏教・儒教の影響により類似した思想や文化を背景に生活を営んできました。

韓国語はアルタイ語族に属しており、動詞が目的語の前にくる英語や中国語と違って、

- ①動詞は文末にくる。
- ②修飾語は被修飾語の前にくる。
- ③文末の語尾が多様である。
- ④敬語表現が発達している。
- ⑤日本語の助詞「てにをは」に相当する語がある。

などの、日本語によく似た特徴を持っています。

また、ハングル（韓国語の文字）は仮名文字のように表音文字であり、日本語と同じ漢字語の単語も多いため、日本人にとっては理解しやすい言語です。

韓国語の履修その他について相談や質問があれば、気軽に韓国語担当教員に尋ねてください。

（ハングル能力検定試験が6月と11月に実施されます。受験を希望する学生は、担当教員まで連絡してください。）

⑤ スペイン語

現在スペイン語は中国語に次ぐ世界で二番目に多く話されている言語です。スペイン語は国際コミュニケーション言語になっており、Internetで第三位、Twitterで第二位を占め、Facebookでも8000万人以上が使用しています。さらに、2030年には世界人口の7.5%がスペイン語を話すことになり、また、米国では、スペイン語を話す人の数がメキシコの総人口を上回ると推定されています。

鳥取大学は、グローバル人材育成を目指し、ラテンアメリカの大学や研究センターと学術交流協定を結んでおり、今後も学術交流が盛んになると思われます。交換留学を考えている学生、特にメキシコ海外実践教育プログラムに興味のある学生にはスペイン語の授業を大いに勧めます。

スペイン語の授業ではアルファベットの発音から始めて、日常会話の基本表現から基本的文法を学びます。スペイン語を通じて、言語及び文化に対する理解を深め、実践的コミュニケーション能力を養います。会話・文法・読解にわたって、総合的な能力を身につけることを狙いとします。

スペイン語の履修その他について相談や質問があれば、スペイン語担当教員（箕輪茂准教授、研究室：共通教育棟2階 S2040）まで連絡してください。

⑥ ロシア語

ロシア語の文字は、キリル文字と呼ばれる33文字のアルファベットで成り立っています。キリル文字の原型は、ギリシャ正教を普及させる目的で9世紀に聖職者によってつくられた文字で、10世紀になって、それまで音声しかなかったロシア人の言葉にあてられてロシア語として成立していきました。これは日本が仏教とともに漢字を中国から取り入れた歴史と類似していますが、ロシア文字の成立は、日本の文字の成立より400年も後のことでした。

ロシア語はインド・ヨーロッパ語族に属しますので、英語と同じSV0の語順です。しかしながら、現実世界の切り取り方が英語とは異なり、それが文法に如実に反映されています。例えば、ロシア語には無人称文、つまり主語のない構文が多くあります。これは必ず主語をたてる英語と大きく異なる点です。また、感情を表現するとき、英語では受け身表現（be+-edのかたち）であらわすことが多いですが、ロシア語はそれらの感情を顕す動詞を数多く揃えており、能動態であらわされます。また、名詞の数も多く、例えば「かなしみ」をあらわすとき、「かなしみ」の種類によって名詞を使い分けるのです。これらはロシア文学にみられる“表現の豊かさ”にもつながる顕著な特徴であるといえるでしょう。

このようなロシア語の概観を、皆さんに馴染み深い英語・日本語との比較の上に最初の授業で解説し、ロシア語の全体像をつかんでいただきます。その上で、アルファベットの一字一文字から、正確に、しっかり、着実に学んでいきます。ロシア語の特徴を、「面白さ」として、楽しみながら学んでいただきたいと思います。

ロシア語の履修その他について相談・質問がありましたら、ロシア語担当教員に尋ねてください。

(4) 健康スポーツ科目

運動・スポーツ文化に親しむ中で、健康科学に対する知見を広げると共に、身につけた技能や知識を活かして生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための能力を養う科目です。健康スポーツ科目は、運動・スポーツの実践に必要な技能や知識の養成を主とする「**健康スポーツ科学実技**」と、地域における運動・スポーツ活動の支援に必要な技能や知識の養成を主とする「**地域スポーツ支援プログラム**」から構成されます。

科目内区分	健康スポーツ科学実技		地域スポーツ支援プログラム
開講枠	1年生枠	全学生自由選択枠	全学生自由選択枠
開講種目例	サッカー、 バドミントン、 ソフトボールほか	テニス、スキー、 バレーボール、 ダンス ほか	ライフセービングの基礎、 アクアスポーツⅠ (スクーバダイビング)

※1. 卒業に必要な単位は、農学部共同獣医学科を除いて、健康スポーツ科目1単位です。

※2. 健康スポーツ科目は「**1年生枠**」及び「**全学生自由選択枠**」で開設されます。「1年生枠」は新入生のみ履修可能であり、同じ学部・学科の学生と一緒に受講できます。「全学生自由選択枠」は学年・学部を問わず全学生が履修できますが、専門科目と開設時間が重なっていて受講できない場合があります。地域スポーツ支援プログラムは「全学生自由選択枠」でのみ開設されます。1年生枠で開設される種目の選択は、全学共通科目説明会で行います。全学生自由選択枠で開設される種目については、健康スポーツ科学掲示板（共通教育棟C棟1F）で履修方法を確認してください（応募者多数の場合、抽選になる場合があります）。

A 1年生枠

1年生枠では、サッカーやバドミントン、ソフトボールなどの健康スポーツ科学実技を開設しています。個人の適性に合ったスポーツを選択し、科学的知識を生かした身体運動の実践を通して、生涯スポーツや健康づくりの基盤を身につけます。

学部	学科	学期	曜日・時限	種目、担当教員
地域学部	地域学科	前期または後期	木曜2限	全学共通科目説明会における配付資料に記載
医学部	医学科	前期（米子キャンパス）	金曜3・4限	
	生命科学科、 保健学科（検査）	前期または後期	木曜2限	
	保健学科（看護）	前期	木曜4限	
工学部	機械物理系学科、 電気情報系学科	前期または後期	水曜4限	
	化学バイオ系学科、 社会システム土木系学科	前期または後期	金曜4限	
農学部	全学科	前期または後期	火曜4限	

B 全学生自由選択枠

全学生自由選択枠では、下記に示す「健康スポーツ科学実技」及び「地域スポーツ支援プログラム」を開設しています。全学生自由選択枠の健康スポーツ科学実技では、今まで経験したスポーツをより発展的に学習する種目や、中学や高校ではほとんど扱われていない種目を、また地域スポーツ支援プログラムでは、水上安全救助法やスクーバダイビングの技能を活かして、地域におけるスポーツ活動を支える上で必要とされる技能や知識を身につけます。

全学生自由選択枠で開設される種目は次のとおりです（詳しくはシラバスを参照してください）。

① 健康スポーツ科学実技

「筋力トレーニング」（前期・火2）

「バドミントン」（前期・後期 金2）

「アクアスポーツ2：カヌー・ウインドサーフィン」（前期 集中講義）

「野外キャンプ」（前期 集中講義）

「テニス（初・中級）」（前期・後期 集中講義）

「ゴルフ」（前期 集中講義）

「バレーボール」（後期・水3）

「ダンス」（後期・火4）

※ ジャンルを限定しないダンスを楽しみながら学びます。詳細は第1回目の授業で説明します。

「バスケットボール」（後期・火2）

「スキー1・2」（後期 集中講義）

※ スキー1：初心者初級者コース、スキー2：中・上級者コース

② 地域スポーツ支援プログラム

「ライフセービングの基礎」（前期 集中講義）

「アクアスポーツ1：スクーバダイビング」（前期 集中講義）

（5）日本語・日本事情に関する科目（医学部医学科は除く）

日本語・日本事情に関する科目は、外国人留学生のために開設しています。外国人留学生が、これらの授業科目を履修し修得した単位は、各学部において定められた範囲内で、日本語は外国語科目に、日本事情は教養科目の単位に代えることができます。希望する場合は、履修前に所属学部の教務係に問い合わせてください（p. 72, 105 参照）。

① 日本語（1・2年次対象）

「日本語実践Ⅰ」（1単位 前期）

大学生活を円滑に送るために必要な日本語運用能力を身につけることを目標とし、様々な種類の記事を用いて、情報を収集し読み解く力、自ら考え、発信する力を身につけます。

「日本語実践Ⅱ」（1単位 後期）

大学生活を円滑に送るために必要なコミュニケーション能力や自己表現能力を身につけることを目標とし、伝え合うための技術や表現を学びながら、聴く力・伝える力を身につけます。

「日本語の表現技法Ⅰ」（1単位 前期）

大学で学ぶためのアカデミックな日本語を、スピーチ、プレゼンテーション、ブックレポート作成の課題をもとに、仲間同士の学びあいの協働学習を通じて高めます。

「日本語の表現技法Ⅱ」（1単位 後期）

日本文化や日本人の価値観を探究する課題について、他者との学び合い（協働学習）を通して、クリティカルな視点で物事をとらえ、自分自身の考えを他者に論理的に伝える（口頭・文章）ことを目指します。

「学部留学生のための日本語Ⅰ」（1単位 前期）

大学で学ぶためのアカデミックな日本語コミュニケーション力（理解する力、伝える力、協働する力）を身につけることを目指します。

「学部留学生のための日本語Ⅱ」（1単位 後期）

日本文化や日本人の価値観を探究する課題について、他者との学び合い（協働学習）を通して、クリティカルな視点で物事をとらえ、自分自身の考えを他者に論理的に伝える（口頭・文章）ことを目指します。

注1）上記の日本語科目の受講は、日本語が中級後半～上級レベルの留学生に限ります。

注2）「学部留学生のための日本語Ⅰ・Ⅱ」は、他の必修科目等の履修と重なり「日本語実践Ⅰ・Ⅱ」や「日本語の表現技法Ⅰ・Ⅱ」を受講できない学部正規生（留学生）を対象に開設します。

② 日本事情（1・2年次対象）

「日本文化事情Ⅰ」（2単位 前期）

日本の自然と生活、歴史や風習などとの関わりの中で育まれた日本文化および、春から夏に関係の深い日本文化を中心にわかりやすく紹介します。

「日本文化事情Ⅱ」（2単位 後期）

日本の自然と生活、歴史や風習などとの関わりの中で育まれた日本文化および、秋から冬に関係の深い日本文化を中心にわかりやすく紹介します。

「日本社会事情Ⅰ」（2単位 前期）

日本の文化、技術、環境などについて、わかり易く解説します。また、授業の後半では、受講者自身が日本社会の課題のうちひとつを取り上げ、グループで調査して発表します。

「日本社会事情Ⅱ」（2単位 後期）

日本の教育、宗教、伝統文化、社会問題などについて、オムニバス形式により、わかり易く解説します。また、授業の後半では、受講者自身が日本社会の課題のうちひとつを取り上げ、グループで調査して発表します。

4. 履修上の注意事項

① 教養科目履修登録上限単位数

本学では、教養科目の抽選制度に含まれる科目について、十分な自習時間を確保するため（p.4 参照）、学部、学科、年次、期別に履修登録できる単位数を設定しています。令和6年度入学生の場合、教養科目の履修登録上限単位数は以下のとおりです。

なお、抽選履修対象外科目及び「**集中講義**」として開設される教養科目は履修登録上限単位数に含まれません。

令和6年度教養科目履修登録上限単位数

学部・学科		年次	区分	前期	後期	計
地域学部		1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	6	8	14
			主題科目・キャリア科目			
医学部	医学科	1	基幹科目（人文・社会分野）	2	4	6
			主題科目・キャリア科目			
	生命科学科	1	基幹科目（人文・社会分野）	12	12	24
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目（自然分野）			
	保健学科 看護学専攻	1	基幹科目（人文・社会分野）	13	5	18
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目（自然分野）	0	4	4
	保健学科 検査技術科学専攻	1	基幹科目（人文・社会分野）	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目（自然分野）	6	6	12
	工学部	機械物理系学科	1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	6	6
主題科目・キャリア科目						
電気情報系学科		1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	8	10	18
			主題科目・キャリア科目			
化学バイオ系学科		1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	8	12	20
			主題科目・キャリア科目			
社会システム 土木系学科		1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			
農学部	生命環境農学科	1	基幹科目（人文・社会分野、自然分野）	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			

② 授業クラスの指定

入門科目、教養科目・基幹科目中の自然分野（工学部の指定クラス）及び実験演習分野、外国語科目、健康スポーツ科目の受講は、履修上の混乱をさけるため、指定されている授業クラス以外での受講は原則として認めません。

なお、全学共通科目開設一覧表・授業時間割表（pp.49-72）によって各学部・学科別に指定された授業科目以外の科目を履修しようとするときには、その担当教員の許可を得ることになっています。手続きについては、所属学部の教務係（医学部生命科学科及び保健学科1年次は、教育支援課教務企画係）に確認してください。

③ 二重履修の禁止

同一曜日の同一時間に開設されている授業科目を、2科目以上（専門科目も含む）同時に履修することはできません。

④ 同一名称の授業科目

前期・後期とも同じ名称の授業科目には、以下のとおり履修条件が異なるものがありますので、注意してください。誤って履修すると、単位を修得できなくなる場合があります。

(a) 前期・後期それぞれ単位を修得でき、いずれか一方だけでも、あるいは両方とも履修できるもの。

【例：「西洋政治史Ⅰ」、「西洋政治史Ⅱ」】

(b) 前期・後期とも同じ内容を繰り返すもので、いずれかのみ履修できるもの（科目名称は同一であるがクラス番号が異なるもの）。

【例：「憲法学01クラス」、「憲法学02クラス」】

⑤ 固有の履修条件を定めている授業科目

授業科目には固有の履修条件を定めているものがあります。固有の履修条件があるかどうかは、全学共通科目の「開設一覧表」（pp.49-72）の「備考欄」、及び各授業科目の「シラバス」であらかじめ確認してください。

【例：「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」】

※前期・後期それぞれ単位を修得できるが、前期（化学Ⅰ）を履修しないと、後期（化学Ⅱ）を履修できない。

⑥ 掲示

全学共通科目の授業実施等に関する学生への連絡・伝達事項は学生掲示板や学務支援システム内掲示板、eラーニングシステム(manaba)で通知します。一日に一度は必ず見るようにしてください。連絡事項を見落とすと修学上あるいは学生生活等で不利益を被ることがありますので、十分注意してください。

なお、鳥取地区の学生掲示板の位置については、巻末の共通教育棟配置図（p.115）を参照してください。米子地区の学生掲示板は、総合教育棟にあります。

⑦ 授業中のマナー

授業中の次のような行為は、真面目に授業を受けている学生や、授業を行っている教員にとって大変迷惑になり、快適な学習環境を奪うことにつながります。自分だけでなく、みんなが快適で楽しいキャンパスライフを過ごすことができるよう、授業中のマナーを守りましょう。

○私語

○講義室の入退室

遅刻はしないこと。授業担当教員に断りなく途中退室はしないこと。

○携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット端末等の使用

授業担当教員の指示により、若しくは、授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合は除き、これらの機器を使用することは禁止です。また、試験の際にこれらの電子機器を見る行為は不正行為になります。授業中は電源を切るかマナーモードにすること。

○授業の撮影・録画・録音

特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。

○飲食

原則禁止としますが、授業担当教員の指示に従ってください。

5. 授業の欠席

① 授業欠席届

やむを得ない事情（病気、交通事故、災害及び忌引、課外活動等）のため授業に出席できない場合は、原則として授業実施後2週間以内に授業欠席届を授業担当教員へ提出してください。

なお、忌引の期間については、次のとおりとします。ただし、特別な理由がある場合は、次に定める起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む次に掲げる期間とすることができます。また、葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えることができます。

- ・ 配偶者または1親等の場合は、死亡日から起算して連続7日の範囲内の期間
- ・ 2親等の場合は、死亡日から起算して連続3日の範囲内の期間

また、課外活動は次の場合に限り（課外活動サークルとして登録され、事前に大会参加を届出ていること）。

- ・ 国際大会
- ・ 全国大会（種目別大会、コンクール、展覧会・演奏会を含む。）
- ・ 地区大会（県内大会は除く。）（種目別大会、コンクール、展覧会・演奏会を含む。）

② 長期欠席届

8日以上連続して授業に出席できない場合は、授業欠席届とは別に診断書等の証明書類を添えて、長期欠席届を所属学部長に提出してください。手続の詳細は所属学部教務係で確認してください（医学部生命科学科及び保健学科1年生は、教育支援課教務企画係）。

③ 感染症による出席停止

インフルエンザなど学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症に罹患した場合は、出席停止となり、授業には出席できません。感染が判明したら、所属学部教務係へ電話連絡のうえ、治療後、登校時に感染症届出書を提出してください。詳細は、p.112を参照してください。

④ 教育実習履修に伴う欠席届

教育実習の履修に伴い、履修登録した他の授業に出席できない場合は、教育実習履修に伴う欠席届をあらかじめ授業担当教員に提出してください。

6. 試 験

試験は、前期・後期の最終週に行われます。（クォーター制で実施する授業科目については各クォーターの最終週に行われます。）しかし、授業担当教員によっては、各期中途に小テストを実施したり、レポート等を試験の代わりとする場合もあるので注意してください。

各科目の成績評価方法と基準については、シラバスに記載（学務支援システムでシラバスを参照）していますので必ず確認してください。

① 定期試験

定期試験は、通常の前期・後期の授業終了後に実施されます。所定の時期に試験期間が設けられ、その1週間前に試験時間割が発表されます。

定期試験は、履修手続をした授業科目についてのみ受験することができます。

試験開始時刻に遅刻した場合、受験は認められません。試験における注意事項をp.110に記載していますので確認してください。

② 追試験

追試験は、原則として行いませんが、本人の病気、交通事故、災害等によって受験できない場合及び忌引（忌引については「5.①授業欠席届」参照）の場合に限り、追試験願を提出することで追試験を受けることが認められます。ただし、本人の不注意によって定期試験を受けなかった場合は、追試験を受ける資格はありません。

追試験願は、各学部の単位認定規程等で定める期間内に、授業担当教員の承認を経て（農学部除く）、所属学部長へ提出してください。この期間を過ぎると追試験願は受理しませんので、追試験を受けようとする者は期限内に遅れないよう注意してください。

なお、追試験を願ひ出る際には、病気の場合は診断書等、その他の場合は証明できる書類等が必要です。

追試験願の用紙は、所属学部の教務係（医学部生命科学科及び保健学科の1年次は、教育支援課教務企画係）で受け取ってください。

③ 再試験

全学共通科目の再試験は、地域学部、工学部及び農学部は卒業判定時に、医学部生命科学科及び保健学科は1年終了時に、医学部医学科は1年次から4年次に、それぞれの学部で定める要件を満たした単位未修得者に対して、当該年度に受講又は受験した科目に限り行われます。

また、手続及び実施時期等は学部により異なりますので、所属学部の単位認定規程等を参照してください。

④ 不正行為（p.110参照）

試験において不正行為を行った場合、鳥取大学単位認定規則第7条（p.103）に規定しているとおり当該期の受講科目すべての単位（全学共通科目及び専門科目）は認められません。

試験での不正行為により単位を認定されない学生の履修歴については、当該期の単位はすべて認定されませんが、履修歴は登録されたものとして取り扱います（したがってGPAは下がります。p.25参照）。

7. 成績

① 成績の評価（成績評価基準）

成績は100点満点で評価され、60点以上に対して単位を認定します。成績評価基準及びグレード・ポイント（GP）は以下のとおりです。

表1 100点満点で採点して成績を判定する授業科目

区分	評語	評点	基準	GP
合格	S	90～100	修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。	4
	A	80～89	基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。	3
	B	70～79	到達目標を達成し、基礎知識・技能を修得している。	2
	C	60～69	到達目標を達成し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。	1
不合格	F	0～59	到達目標を達成していない、また授業の基礎知識・技能を修得できていない。	0

表2 単位の認定ができない授業科目

区分	評語	評点	基準	GP
不履修	E	無	履修登録は行ったが、「鳥取大学単位認定規則」で定める出席回数に達していない。若しくは単位の認定試験を受験していない。（論文及びレポート等の未提出を含む。）又は不正行為により単位が認定されない。	0

表3 可否により成績を判定する授業科目

区分	評語	基準
合格	P	到達目標を達成している。
不合格	F	到達目標を達成していない。

表4 鳥取大学学則（平成16年鳥取大学規則第55号）第32条及び鳥取大学大学院学則（平成16年鳥取大学規則第56号）第27条の規定により既修得単位として認定をした授業科目

区分	評語	基準
認定	N	到達目標を達成している。

※ 個々の授業の成績評価に関してはシラバスを参照すること。

② 成績評価の疑義申立制度

全学共通科目の成績評価に疑義がある場合は、受付窓口（鳥取地区は教育支援課、米子地区は学務課）に成績評価確認願を提出し、授業担当教員に疑義申立てすることができます。

申立て可能な期間については、成績公開後の一定期間（鳥取地区については1週間。米子地区については3日間。）に限定されています。詳細は受付窓口で確認してください。

③ GPA制度

成績のS、A、B、C、Fランク法では、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）が合格、F（59点以下）が不合格となります。

GPA（Grade Point Average）とは、このランク法のうちSに4.0、Aに3.0、Bに2.0、Cに1.0、F及びE（不履修）に0の数値（GP:Grade Point）をそれぞれ与え、各履修科目の単位数に当該科目のGPをそれぞれ掛け、各学期におけるその総和を当該学期の総単位数で除して算出した数値です（可否で判定する科目及び既修得単位として認定された科目は算出対象外です。）

例えば、ある学生が1年次前期で11科目18単位を履修し、その成績が以下のものであれば、GPAは次のようになります。

〔授業科目名〕	〔単位数〕	〔評価〕	〔ポイント〕
大学入門ゼミ	2	S	2×4.0 = 8
情報リテラシ	2	S	2×4.0 = 8
哲学・倫理学	2	A	2×3.0 = 6
アメリカ手話入門 I	2	B	2×2.0 = 4
コミュニケーション英語A	1	B	1×2.0 = 2
コミュニケーション英語B	1	B	1×2.0 = 2
韓国語基礎 I	1	F	1×0.0 = 0
健康スポーツ科学実技	1	S	1×4.0 = 4
微分積分学 I	2	B	2×2.0 = 4
基礎物理学 I	2	C	2×1.0 = 2
基礎化学 I	2	E	2×0.0 = 0
合計	18		40

GPA =		(科目の単位数×その科目で得たGrade Point)の総和	40	=	2.22
		履修登録科目の総単位数	18		

GPAは、本学における学業優秀者の判定、学部におけるコース・プログラム・研究室配属等の決定、また海外実践教育における派遣学生の選考や、授業料免除における学力基準、奨学金採用における適格条件の判定などで利用されます。

④ 学期の途中で休学した学生の履修歴

学期の途中で休学した学生の履修歴については、該当学期の単位が認定されないため、履修歴もなかったこととして取り扱います。

ただし、休学が許可される前に成績が評価されたものについては、修得単位も認め、履修歴も認めます。

8. 既修得単位の認定

本学に入学した者のうち、大学・短期大学を卒業又は退学した者について、既に当該大学において修得した単位のうち、全学共通科目の単位について本学において修得したものと認定されることがあります。

各学部によって取扱いが異なりますので所属学部の教務係に問い合わせてください。

単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の所定の期日までに、既修得単位認定願に成績証明書等を添えて所属学部長に提出してください。

9. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学（放送大学及び本学が学術交流協定に基づく学生の交流に関する覚書等を交わした大学）において履修した授業科目及び所定の成績を修めた語学試験（TOEIC、実用英語技能検定試験等）を本学における授業科目の履修とみなして本学が開設する授業科目の単位認定申請を行うことができます。詳しくは pp.107-108 を参照するとともに、教育支援課教務企画係（④番窓口）で確認してください（米子地区は学務課教務係）。

10. 教育職員免許状の取得

教育職員免許状を取得しようとする学生は、全学共通科目の中から必ず修得しなければならない授業科目がありますので、所属学部の「履修案内」、「教育職員免許状取得の手引」等を参照して計画的に履修してください。

なお、以下のことについては、特に留意してください。

- ① 必修科目となっている「憲法学」は、「基幹科目」中の「人文・社会分野」で開設しています。
- ② 必修科目となっている「体育（2単位）」は学部によって履修方法が異なります。

地域学部及び農学部の学生は、健康スポーツ科目から2単位（1年生枠から1単位、全学生自由選択枠から1単位）を修得してください（pp.18-19 参照）。

また、工学部の学生は、工学部の「教育職員免許状取得のための手引」を参照して修得してください。

11. データサイエンス教育プログラム

鳥取大学では、多量かつ多様なデータを処理・分析し、データから価値を引き出すことのできる人材を育成するため、コンピュータ、統計学及び機械学習に関する基礎的な知識、考え方を身につける「データサイエンス教育プログラム」を実施しています。修了要件は「データサイエンス入門」及び「情報リテラシ」の両科目の単位を修得することと定められています。この教育プログラムは、令和4年度、文部科学省による数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）に認定されました。これは、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励することにより、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的能力及び実践的能力の向上を図る機会を拡大、推進することを目的とするものです。

12. グローバル教育プログラム

鳥取大学は豊かなグローバルマインドを根底として、グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力を基礎能力とするグローバルマネージメント能力とタフで健全な心身を有し、深い専門知識（理論）と高い技術力（実践力）を体系的に修得することにより、進展しつつあるグローバル社会の中核として活躍できる人材の育成を目指します。

グローバル教育に関する授業科目を「グローバル教育科目群」として体系的に位置づけ、教養教育の中では学生が基本的な国際通用性を身につけるため「グローバル教育基礎科目群」を設置します。

また、本学の特色でもある短期、中期的な海外派遣による実践的教育プログラムを「海外実践教育に関する科目」として開設しています。

① グローバル教育基礎科目群

本学は、平成25年度から教育の国際化を推進するために、グローバル教育基礎科目群を開設しています。この科目群は、海外への意識やチャレンジ精神を養成しながら、日本と世界の歴史・文化、政治・経済、自然・生態等に関するさまざまな基礎知識を習得するとともに、外国語の運用能力はもとよりプレゼンテーション・ディベートなど様々な情報の受信・発信技能を修得することで、グローバル化に対応した人材を育成することを目的としています。

グローバル教育基礎科目群は、卒業に必要な単位として含まれますので、社会の国際化を見据え積極的に履修してください（pp.73-74 参照）。海外渡航を予定している学生は、渡航前に「海外安全マネジメントⅠ」を履修してください。事情により履修できない学生は、国際交流課に問い合わせてください。また、「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」も履修することを強く勧めます。

「鳥取大学グローバル人材育成教育プログラム」基礎力養成コースに登録する学生は、外国語科目を除くグローバル教育基礎科目群の中から12単位以上の修得が必要です。そのうち、「海外安全マネジメントⅠ・Ⅱ」、「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」、「グローバルイシュー（地球規模課題）」、「世界の日本の日本：Japanese society and culture」の中から2単位以上の修得が必須です。

② 海外実践教育に関する科目

メキシコ、台湾、ウガンダにおいて、海外の教育・研究機関等と連携した海外実践教育を実施しています。メキシコは全学部2年次以上の学生を対象に、台湾、ウガンダは全学部1年次以上の学生を対象としています（p.72参照）。

メキシコでの実践教育期間は前期の2ヶ月間とし、専門教育及び語学教育（英語とスペイン語）に関する講義及びフィールドワーク等は、現地教員と本学からの派遣教員が担当し、専門性の高いフィールド調査及びプレゼンテーション技能の向上を目指します。（※期間・内容等については変更する可能性があります。）

台湾での英語の実践教育期間は後期の3週間とし、現地教員による語学教育に関する講義や現地学生との異文化交流を通じて、それぞれの言語の実践的な運用能力を磨きます。

ウガンダでの実践教育期間は後期の3週間とし、マケレレ大学教員による、ウガンダ事情などの英語の講義、JICA（国際協力機構）他の国際協力機関や開発プロジェクトの説明、国立公園、医療機関、民間企業等におけるフィールドワークを通じて開発の基礎的知識と経験を修得します。

海外実践教育の派遣学生は、TOEICの成績及びGPA等を考慮し、各10～20名程度を選考します。現地で履修し修得した単位は、各学部において全学共通科目又は専門科目の単位として認定することができます。なお、派遣学生の説明会及び募集は掲示にて随時周知します。

13. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と選択科目「地域創生推進科目」

近年、我が国は急激な少子高齢化及び中山間地の過疎化の進行、地域の活力やコミュニティの衰退、経済のグローバル化による産業の空洞化など様々な課題に直面しています。また、都市と地方の格差が拡大し、地域社会を持続的に発展させていくことが極めて難しい状況になっています。

そのような状況を打開するため、大学にはこれまでに積み重ねてきた教育研究の実績をふまえ、自らの人生と社会の未来を主体的に切り拓く能力を備えた人材の育成、地域課題の解決に資する教育研究の推進等を一層充実させることが求められています。

そのため、本学では、社会の未来を切り拓こうとする人材の育成を目指して、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む「地域志向科目」を平成27年度から開設しています。

また、起業家精神を持ち、小さなことから始め、ことを起こしていくことができる人材の育成を目指して、建設的な思考や批判ができる力、アイデアを形にすることができる力、物事を前に進めることができる力、事業プロセスを通観することができる力を養うため、平成29年度から「地域創生推進科目」を開設しました。

① 地域志向科目（平成29年度以降入学生の選択必修科目、p.75参照）

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修してください。この科目群は

基礎科目 地域や社会の特性や課題、日本文化などを学ぶ科目

臨地科目 実際に地域に臨み、より具体的な地域課題を学ぶ科目

実践科目 課題解決や実践に取り組む科目

から構成されます。

地域志向科目は、各学部開設される地域を志向した専門教育に接続します。

選択必修として必要な1科目も含め、地域志向科目の単位は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。履修する科目の全学共通科目区分を確認の上、履修案内の全学共通科目教育課程表（pp.30-46, 78）を参照してください。

皆さんの興味・関心、今後の目標などを見据え、積極的に履修してください。

② 地域創生推進科目（p.75参照）

この科目群は全学部学生を対象とします。地域志向科目の中で地域創生推進科目としても相応しい科目は、地域志向科目と地域創生推進科目の双方に重複して位置づけています。地域創生推進科目の修得単位数は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。履修する科目の全学共通科目区分を確認の上、履修案内の全学共通科目教育課程表（pp.30-46, 78）を参照してください。

地域志向科目及び地域創生推進科目のうち別途定める科目から合計5単位以上を修得し、インターンシップや課外活動に参加することにより、「地域創生推進プログラム」の修了が認定されます。「地域創生推進プログラム」の詳細は<https://www.core.tottori-u.ac.jp/2023/02/10/8478/>を参照してください。

Ⅱ－１．全学共通科目教育課程表・授業時間割表（鳥取地区）

1. 令和6年度全学共通科目教育課程表・授業時間割表(抄)	
(1) 地域学部	30
(2) 医学部（生命科学科）	32
(3) 医学部（保健学科看護学専攻）	34
(4) 医学部（保健学科検査技術科学専攻）	36
(5) 工学部（機械物理系学科）	38
(6) 工学部（電気情報系学科）	40
(7) 工学部（化学バイオ系学科）	42
(8) 工学部（社会システム土木系学科）	44
(9) 農学部（生命環境農学科）	46
(10) 日本語・日本事情に関する科目	48
2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表	
(1) 入門科目	49
(2) 教養科目	50
① 基幹科目（人文・社会分野）・主題科目・キャリア科目	52
② 基幹科目（自然分野）	58
③ 基幹科目（実験演習分野）	62
(3) 外国語科目	63
(4) 健康スポーツ科目	71
(5) 日本語・日本事情に関する科目	72
(6) 海外実践教育に関する科目	72
3. グローバル教育基礎科目群	73
4. 地域志向科目・地域創生推進科目	75
5. 全学共通科目ナンバリング一覧表（鳥取地区）	76

全学共通科目開設一覧表で使用している略号について

全学共通科目開設一覧表では、以下のとおり略号を使用し、履修すべき学部・学科及び履修年次の指定を行っています。

[学部・学科]

地 …………… 地域学部

地域 …………… 地域学科

医 …………… 医学部

医 …………… 医学科

命 …………… 生命科学科

保 …………… 保健学科

看 …………… // 看護学専攻

検 …………… // 検査技術科学専攻

工 …………… 工学部

機物 …………… 機械物理系学科

電情 …………… 電気情報系学科

化バ …………… 化学バイオ系学科

社土 …………… 社会システム土木系学科

農 …………… 農学部

A …………… 生命環境農学科

J V …………… 共同獣医学科

[学年]

① …………… 1年次に履修

② …………… 2年次に履修

③ …………… 3年次に履修

[講義室]

共 …………… 共通教育棟 (pp.115-119 配置図参照)

地 …………… 地域学部棟

工 …………… 工学部棟

農 …………… 農学部棟

全学共通科目教育課程表（地域学部）

科目区分等			単位数・履修年次								備考				
			1年		2年		3年		4年						
			前	後	前	後	前	後	前	後					
全学共通科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	2											
		情報リテラシ	必修	2											
		データサイエンス入門	必修	1											
		キャリア入門	選択	1											
	計			6									5単位以上		
	教養科目	主題科目	人間と文化, 人間と科学 人間と環境, 健康と生命 世界と地域, 教養ゼミナール											6単位以上	
			キャリア科目												
		基幹科目	人文・社会分野	選択	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位, 「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位を含む8単位以上を修得すること。
			自然分野			2									8単位以上
			数学 物理学 化学 生物学 地学				2								2単位以上
全ての教養科目の中から												4単位以上			
計			6	8	6	6	6	6					20単位以上		
通外国語科目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1											
		コミュニケーション英語B	必修	1											
		実践英語A	必修		1										
		実践英語B	必修		1										
		総合英語Ⅰ	必修			1									
		総合英語Ⅱ	必修				1								
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1										1つの言語を選択し4単位以上修得すること。	
		ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1								
			計			3	3	2	2						10単位以上
			健康スポーツ科目	必修	1(前期又は後期)										
計			1									1単位以上			
修得単位数合計													36単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。(ただし、在籍年次以前の再履修は可能。)

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.8を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表(抄) (地域学部)

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		教養科目	教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	(○教養基礎科目)
	2	総合英語Ⅰ・Ⅱ	教養科目	教養科目	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3		教養科目		●英語上級B	スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1	○大学入門ゼミ	教養科目		○コミ英語A・B ●実践英語A・B	(○教養基礎科目)
	2		教養科目 健康スポーツ科学実技		●健康スポーツ科学実技	
	3		教養科目			中国語応用Ⅲ・Ⅳ
水	1	○情報リテラシ	●教養科目			教養科目 (○教養基礎科目)
	2		教養科目	●健康スポーツ科学実技		教養科目
	3		教養科目			
木	1	教養科目	健康スポーツ科学実技	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○コミ英語A・B ●実践英語A・B	教養科目 (○教養基礎科目)
	2	教養科目				教養科目
	3				○英語上級A	教養科目
金	1	教養科目			○キャリア入門	(○教養基礎科目)
	2	教養科目	健康スポーツ科学実技			
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表 (医学部 生命科学科)

科目区分等			単位数・履修年次				備考						
			1年		2年			3年		4年			
			前	後	前	後		前	後	前	後		
全学共通科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	1									
		情報リテラシ	必修	2									
		キャリア入門	必修	1									
		データサイエンス入門	必修	1									
		計		5									5単位
	養育科目	主題科目	人間と文化	選択									2年次開設の基幹科目(人文・社会分野)から臨床心理学(2単位)及び生命倫理学(2単位)を修得すること。 1年次開設の基幹科目(人文・社会分野)から次の科目(単位)を修得すること。 「哲学・倫理学」、「心理学」、「芸術入門」及び「文学」から2科目4単位以上 「憲法学」、「政治学」、「経済学」及び「歴史学」から2科目4単位以上 15単位以上 2年次開設の基幹科目(自然分野)から保健統計学(2単位)を修得すること。 8単位以上 2単位以上 25単位以上
			人間と科学										
			人間と環境				2						
			健康と生命		2	2	2						
			世界と地域		2	2	1						
		教養ゼミナール	2	2									
		キャリア科目		2	2								
		人文・社会分野		2	2								
		自然分野		2	2								
		基幹科目	数学 物理学 化学 生物学	選択									
	保健統計学				必修			2					
	実験演習分野												
	物理学実験演習				選択		2						
	化学実験演習		選択		2								
	計		12	16	2	5							
外国語科目	英語												
	コミュニケーション英語A	必修	1										
	コミュニケーション英語B	必修	1										
	実践英語A	必修		1									
	実践英語B	必修		1									
	総合英語Ⅰ	必修			1								
	総合英語Ⅱ	必修				1							
	医学英語Ⅰ	必修				1							
	医学英語Ⅱ	必修					1						
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1								1つの言語を選択し2単位修得すること。	
計		3	3	2	2						10単位以上		
健康スポーツ科目	必修		1(前期又は後期)										
計		1									1単位		
修得単位数合計												41単位以上	

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.8を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（医学部生命科学科1年次）

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○コミ英語B ●実践英語B	教養科目 ●自然分野：物理学 （物理学入門Ⅱ） 自然分野：化学 （○化学Ⅰ、●化学Ⅱ）	○人体の構造と機能 （専門） ●教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論 （専門）	（○教養基礎科目）
火	○自然分野：物理学 （物理学入門Ⅰ）	教養科目	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝（専門）	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	（○教養基礎科目）
水	●自然分野：生物学 （生物学ⅡA）	教養科目 自然分野：化学 （○化学Ⅰ、●化学C）		○キャリア入門 ●化学実験演習	教養科目 （○教養基礎科目）
木	教養科目 ○主題：医学と生命科学	健康スポーツ科学実技 ●自然分野：数学 （解析学教程Ⅱ）	○健康と生体情報（専門）	○自然分野：数学 （解析学教程Ⅰ）	教養科目 （○教養基礎科目）
金	○コミ英語A ●実践英語A	○情報リテラシ ●生命科学概論Ⅰ（専門）	○自然分野：生物学 （生物学ⅠA） ●免疫学（専門）		（○教養基礎科目）

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

自然分野の（ ）は、授業科目名。

「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。

（○教養基礎科目）については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表（医学部 保健学科看護学専攻）

科目区分等			単位数・履修年次				備 考																	
			1 年		2 年			3 年		4 年														
			前	後	前	後		前	後	前	後													
全 学 共 通 科 目	入 門 科 目	大学入門ゼミ	必修	1																				
		情報リテラシ	必修	2																				
		キャリア入門	必修	1																				
		データサイエンス入門	必修	1																				
		計			5																	5単位		
	教 養 科 目	主 題 科 目	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール </div>	選択	2	1		1														1年次開設の主題科目、基幹科目(人文・社会分野)から次の科目(単位)を修得すること。 主題科目:保健医療概論(2単位)、社会福祉(1単位) 基幹科目:生命倫理(1単位) 人文・社会分野のうち、「哲学・倫理学」、「心理学」、「芸術入門」及び「文学」から2科目4単位以上 「憲法学」、「政治学」、「経済学」及び「歴史学」から2科目4単位以上 15単位以上 2単位以上 18単位以上(主題科目、キャリア科目、基幹科目から18単位以上修得すること。)		
				2			2																	
				2			2																	
				2			2																	
				2			2																	
				2			2																	
		基 幹 科 目	自 然 分 野	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> 物理学 化学 </div>	選択	2																		
					2																			
					2			2																
					2			2																
	目	実 験 演 習 分 野	物理学実験演習 化学実験演習	選択	2																			
				2																				
	計				13	13	2	3														1	18単位以上(主題科目、キャリア科目、基幹科目から18単位以上修得すること。)	
	外 国 語 科 目	英 語	コミュニケーション英語A	必修	1																		8単位	
			コミュニケーション英語B	必修	1																			
実践英語A			必修		1																			
実践英語B			必修		1																			
総合英語Ⅰ			必修			1																		
総合英語Ⅱ			必修				1																	
医療英語Ⅰ			必修					1																
医療英語Ⅱ			必修						1															
目		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ フ ラ ン ス 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ 中 国 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ 韓 国 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ	必修	1	1																		1つの言語を選択し2単位修得すること。	
			3	3	1	1	1	1																
計				3	3	1	1	1	1													10単位以上		
健康スポーツ科目		必修	1																					
計				1																		1単位		
修得単位数合計																						34単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.8を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（医学部保健学科看護学専攻1年次）

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○主題：保健医療概論 ●主題：社会福祉	○人体の構造と機能Ⅰ （専門） ●教養科目 ●自然分野：物理学 （物理学入門Ⅱ）	教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論 （専門）	（○教養基礎科目）
火		教養科目	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝（専門）	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	●実践英語A （○教養基礎科目）
水	○コミ英語A ●実践英語B	教養科目 ●自然分野：化学 （化学C）	○基幹：生命倫理 ●化学実験演習	○大学入門ゼミ	教養科目 （○教養基礎科目）
木	○教養科目 後期は米子地区で履修	○人体の構造と機能Ⅱ （専門） ●【前半】 コミュニケーション法 （専門） ●【後半】 公衆衛生看護学Ⅰ （専門）	○キャリア入門 ●生活援助論演習Ⅰ（専門）	○健康スポーツ科学実技	○教養科目 （○教養基礎科目） ●【前半】 特別講義Ⅰ（専門）
金	○教養科目 後期は米子地区で履修 ●健康生活支援実習（専門）	○基礎看護学（専門）	○情報リテラシ ●看護実践過程基盤演習 （専門）	○コミ英語B ●【前半】 人体の構造と機能Ⅲ （専門） ●【後半】 研究成果活用法 （専門）	（○教養基礎科目）

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

自然分野の（ ）は、授業科目名。

「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。

（○教養基礎科目）については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表 (医学部 保健学科検査技術科学専攻)

科目区分等			単位数・履修年次				備考				
			1年	2年	3年	4年					
			前	後	前	後					
全学共通科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	1							
		情報リテラシ	必修	2							
		キャリア入門	必修	1							
		データサイエンス入門	必修	1							
		計		5				5単位			
	学養	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール						1年次開設の主題科目、基幹科目(人文・社会分野)から次の科目(単位)を修得すること。 主題科目: 保健医療概論(2単位) 基幹科目: 人文・社会分野のうち、「哲学・倫理学」、「心理学」、「芸術入門」及び「文学」から2科目4単位以上 「憲法学」、「政治学」、「経済学」及び「歴史学」から2科目4単位以上 2年次開設の基幹科目(人文・社会分野)の生命倫理(2単位)を修得すること。 14単位以上		
				キャリア科目	選択	2	2	1			
				人文・社会分野		2	2	1			
				基幹科目	自然分野 数学 物理学 化学 生物学	選択	2	2			
						選択	2	2			
		選択	2			2					
		保健統計学	必修		2			6単位以上			
		科目	実験演習分野	物理学実験演習	選択		2				
				化学実験演習	選択		2				
				生物学実験演習	選択		2				
	計		16	22	2	7	1	22単位以上			
	科目	外国語科目	英語								
			コミュニケーション英語A	必修	1						
			コミュニケーション英語B	必修	1						
			実践英語A	必修		1					
実践英語B			必修		1						
総合英語Ⅰ			必修			1					
総合英語Ⅱ			必修			1					
医療英語Ⅰ			必修				1				
医療英語Ⅱ		必修				1					
ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ		必修	1	1				1つの言語を選択し2単位修得すること。			
	計		3	3	1	1	1	1	10単位以上		
	健康スポーツ科目	必修	1(前期又は後期)								
計		1					1単位				
修得単位数合計								38単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.9を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（医学部保健学科検査技術科学専攻1年次）

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○主題：保健医療概論	教養科目 ●自然分野：物理学 （物理学入門Ⅱ）	○人体の構造と機能 （専門） ●教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論 （専門）	（○教養基礎科目）
火	○自然分野：物理学 （物理学入門Ⅰ）	教養科目	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝（専門）	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	（○教養基礎科目）
水	○コミ英語A ●実践英語B	教養科目 ●自然分野：化学 （化学C）	●化学実験演習	○大学入門ゼミ	教養科目 （○教養基礎科目）
木	教養科目	健康スポーツ科学実技 ●自然分野：数学 （解析学教程Ⅱ）	○健康と生体情報（専門）	○自然分野：数学 （解析入門Ⅰ、解析学 教程Ⅰ） ●自然分野：数学 （解析入門Ⅱ）	教養科目 （○教養基礎科目）
金	○教養科目 ○自然分野：生物学 （生物学概論Ⅰ） ●実践英語A	○情報リテラシ	○キャリア入門 ●生物学実験演習	○コミ英語B	（○教養基礎科目） ●自然分野：生物学 （生物学概論Ⅱ）

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

自然分野の（ ）は、授業科目名。

「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。

（○教養基礎科目）については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表（工学部 機械物理系学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考					
			1年		2年			3年		4年		
			前	後	前	後		前	後	前	後	
入門科目	大学入門ゼミ	必修	2									
	情報リテラシ	必修	2									
入門科目	キャリア入門	必修	1									
	データサイエンス入門	必修	1									
計			6								6単位	
全学共通科目	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択	2	2							基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。 8単位以上 「数学」「物理学」「化学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれない。 14単位以上 10単位以上
				2	2							
				2	2							
	キャリア科目											
	基幹科目	人文・社会分野										
		自然分野	生物学									
			地学									
		自然分野	数学									
			微分積分学Ⅰ	必修	2							
		微分積分学Ⅱ	必修		2							
線形代数Ⅰ		必修	2									
線形代数Ⅱ	必修			2								
自然分野	物理学											
	基礎物理学Ⅰ	必修	2									
	基礎物理学Ⅱ	必修		2								
化学	化学											
	化学概論	選択	2									
実験演習分野												
	物理学実験演習	必修	2								14単位以上	
計			16	12							26単位以上	
外国語科目	英語											
	コミュニケーション英語A	必修	1									
	コミュニケーション英語B	必修	1									
	実践英語A	必修		1								
	実践英語B	必修		1								
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1						
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1						
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1								1つの言語を選択し2単位修得すること。
ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1						1年次に履修した言語を2年次に履修可能。 ※教養科目の単位として認める。	
計			3	3	3	3					10単位以上	
健康スポーツ科目		必修	1(前期又は後期)									
計			1								1単位以上	
修得単位数合計											43単位以上	

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。
 【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。
 【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.9を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（工学部 機械物理系学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		教養科目	教養科目 ○物理学実験演習（前半クラス）		○微分積分学Ⅰ
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	中国語応用Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3				●英語上級B	スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1	○コミ英語A ●実践英語A・B	教養科目	○基礎物理学Ⅰ		(○教養基礎科目)
	2		健康スポーツ科学実技			
	3					中国語応用Ⅲ・Ⅳ
水	1	○キャリア入門 ●微分積分学Ⅱ	教養科目	○コミ英語B ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	○教養科目 (○教養基礎科目)
	2					
	3					
木	1	○線形代数Ⅰ ●教養科目	○情報リテラシ	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○大学入門ゼミ ●線形代数Ⅱ	教養科目 (○教養基礎科目)
	2					
	3				○英語上級A	
金	1	教養科目	○化学概論 ●基礎物理学Ⅱ	○物理学実験演習（後半クラス）		(○教養基礎科目)
	2				総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表（工学部 電気情報系学科）

科目区分等			単位数・履修年次								備考														
			1年		2年		3年		4年																
			前	後	前	後	前	後	前	後															
全学 共通 科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	1																					
		情報リテラシ	必修	2																					
		キャリア入門	必修	1																					
		データサイエンス入門	必修	1																					
		計			5																5単位				
	教養 科目	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択		2	2															基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。			
						2	2																		
						2	2																		
						2	2																		
						2	2																		
		基幹 科目	キャリア科目	人文・社会分野																			8単位以上 「物理学」「数学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれない。		
				生物学																					
			化学																						
			地学																						
			物理学																						
			基礎物理学Ⅰ	必修	2																				
			基礎物理学Ⅱ	必修		2																			
			数学																						
			微分積分学Ⅰ及び演習	必修	3																				
			微分積分学Ⅱ及び演習	必修		3																			
線形代数学Ⅰ	必修	2																							
線形代数学Ⅱ	必修		2																						
実験演習分野																									
物理学実験演習	必修		2																	16単位					
計			15	19																24単位以上					
外国 語 科目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1																					
		コミュニケーション英語B	必修	1																					
		実践英語A	必修		1																				
		実践英語B	必修		1																				
		総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1																		
		総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1																		
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1																		1つの言語を選択し2単位修得すること。			
			ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1															1年次に履修した言語を2年次に履修可能。		
					計		3	3	3	3														10単位以上	
					健康スポーツ科目	必修	1(前期又は後期)																		
計		1																				1単位以上			
修得単位数合計																					40単位以上				

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。
 【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。
 【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.9を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（工学部 電気情報系学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○基礎物理学 I	教養科目	○情報リテラシ(偶数) ○微分積分学 I 及び演習(奇数) ●微分積分学 II 及び演習(奇数)		(○教養基礎科目)
	2		総合英語 I・II・III・IV	中国語応用 I・II	ドイツ語応用 I・II フランス語応用 I・II 韓国語応用 I・II スペイン語応用 I・II	
	3				●英語上級 B	スペイン語応用 III・IV
火	1	○コミ英語 B ●実践英語 A・B	教養科目	○微分積分学 I 及び演習(偶数) ●線形代数学 II(奇数)		(○教養基礎科目)
	2		健康スポーツ科学実技			
	3					中国語応用 III・IV
水	1		教養科目	○コミ英語 A ●実践英語 A・B	健康スポーツ科学実技	教養科目 (○教養基礎科目)
	2					
	3					
木	1	△大学入門ゼミ ●教養科目	ドイツ語基礎 I・II フランス語基礎 I・II 中国語基礎 I・II 韓国語基礎 I・II スペイン語基礎 I・II	○線形代数学 I(偶数)	○キャリア入門 ●基礎物理学 II	教養科目 ●線形代数学 II(偶数) (○教養基礎科目)
	2					
	3				○英語上級 A	
金	1	教養科目 ●微分積分学 II 及び演習(偶数)	○情報リテラシ(奇数)	○線形代数学 I(奇数)	●物理学実験演習	(○教養基礎科目)
	2				総合英語 I・II・III・IV	
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

△印は第1クォーター開設科目を示す。

「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。

(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表（工学部 化学バイオ系学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考						
			1年		2年			3年		4年			
			前	後	前	後		前	後	前	後		
入門科目	大学入門ゼミⅠ	必修	2										
	大学入門ゼミⅡ	必修		2									
	情報リテラシ	必修	2										
	キャリア入門	必修	1										
	データサイエンス入門	必修	1										
計			6	2							8単位		
全学共通科目	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択	2	2							<p>主題科目、キャリア科目、基幹科目の「人文・社会分野」「生物学」「地学」より12単位以上修得する。</p> <p>ただし、基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。</p>	
				2	2								
				2	2								
				2	2								
				2	2								
	キャリア科目		2										
	基幹科目	人文・社会分野			2								
		生物学									12単位以上		
	自然分野	地学											
		数学											
		基礎数学Ⅰ	選択	2									
		基礎数学Ⅱ	選択		2								
物理学													
化学分野	基礎物理学	選択	2										
	化学												
目	基礎化学Ⅰ	必修	2										
	基礎化学Ⅱ	必修		2									
実験演習分野	化学実験演習	必修	2										
	物理学実験演習	選択			2								
計			16	16	2						20単位以上		
外国語科目	英語												
	コミュニケーション英語A	必修	1										
	コミュニケーション英語B	必修	1										
	実践英語A	必修		1									
	実践英語B	必修		1									
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1							
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1							
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1								1つの言語を選択し2単位修得すること。	
		ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1						1年次に履修した言語を2年次に履修可能。
			計			3	3	3	3				10単位以上
健康スポーツ科目			必修	1(前期又は後期)									
計			1							1単位以上			
修得単位数合計											39単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.10を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（工学部 化学バイオ系学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○基礎化学Ⅰ ●基礎数学Ⅱ	○基礎数学Ⅰ ●教養科目	教養科目		(○教養基礎科目)
	2			中国語応用Ⅰ・Ⅱ ●物理学実験演習	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3				●英語上級B	スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1	●大学入門ゼミⅡ	教養科目	○化学実験演習（前半クラス）		(○教養基礎科目)
	2		健康スポーツ科学実技			
	3					中国語応用Ⅲ・Ⅳ
水	1		教養科目	○キャリア入門	○コミ英語A ●実践英語A・B	教養科目 (○教養基礎科目)
	2					
	3					
木	1	○基礎物理学 ●教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○化学実験演習（後半クラス） ●基礎化学Ⅱ		教養科目 (○教養基礎科目)
	2	総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ				
	3				○英語上級A	
金	1	○情報リテラシ ●教養科目	○大学入門ゼミⅠ	○コミ英語B ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ			
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

全学共通科目教育課程表（工学部 社会システム土木系学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備 考						
			1 年		2 年			3 年		4 年			
			前	後	前	後		前	後	前	後		
入 門 科 目	大学入門ゼミ	必修	2										
	情報リテラシ	必修	2										
	キャリア入門	必修	1										
	データサイエンス入門	必修	1										
	計		6								6単位		
全 学 科 目	主 題 科 目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択	2	2						基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。 自然分野の地学から「地球科学(2単位)」を1年次に修得することが望ましい。 主題科目のうち、「地方創生政策体験学習」は、社会経営工学プログラムにおいては卒業に必要な単位に含まれない。 8単位以上 「物理学」「数学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれない。 9単位 地球科学実験演習は、土木工学プログラムにおいては修得することが望ましい。社会経営工学プログラムにおいては卒業に必要な単位には含まれない。		
			2	2									
			2	2									
			2	2									
			2	2									
	キャリア科目		2	2									
	基 幹 科 目	人 文 ・ 社 会 分 野	生物学										
			化学										
			地学										
			物理学										
力学基礎及び演習		必修		3									
数学													
微分積分学Ⅰ		必修	2										
微分積分学Ⅱ		必修		2									
線形代数	必修	2											
実験演習分野													
地球科学実験演習	選択			2									
計		14	15	2						21単位以上			
外 国 語 科 目	英語												
	コミュニケーション英語A	必修	1										
	コミュニケーション英語B	必修	1										
	実践英語A	必修		1									
	実践英語B	必修		1									
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1							
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1							
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1							1つの言語を選択し2単位修得すること。		
	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ												
	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ												
韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ													
スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ													
ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1					1年次に履修した言語を2年次に履修可能。			
フランス語応用Ⅰ・Ⅱ													
中国語応用Ⅰ・Ⅱ													
韓国語応用Ⅰ・Ⅱ													
スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ													
計		3	3	3	3					10単位以上			
健康スポーツ科目	必修			1(前期又は後期)									
計		1								1単位以上			
修得単位数合計											38単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.10を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（工学部 社会システム土木系学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○微分積分学Ⅰ	教養科目	○教養科目 ●微分積分学Ⅱ		(○教養基礎科目)
	2			中国語応用Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3				●英語上級B	スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1		○情報リテラシ ●教養科目		○キャリア入門	(○教養基礎科目)
	2		健康スポーツ科学実技			
	3					中国語応用Ⅲ・Ⅳ
水	1	○大学入門ゼミ	教養科目		○コミ英語B ●実践英語A・B	教養科目 (○教養基礎科目)
	2			○地球科学実験演習（土木）		
	3					
木	1	教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	●力学基礎及び演習		教養科目 (○教養基礎科目)
	2	総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ				
	3				○英語上級A	
金	1	○教養科目	○線形代数	○コミ英語A ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ			
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

別表第4

全学共通科目教育課程表（農学部 生命環境農学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考		
			1年	2年	3年	4年			
			前	後	前	後			
全学共通科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	1				キャリア入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから2単位修得すること。	
		情報リテラシ	必修	2					
		データサイエンス入門	必修	1					
		キャリア入門Ⅰ	選択	1					
		キャリア入門Ⅱ	選択		1				
		キャリア入門Ⅲ	選択		1				
				5	2			6単位以上	
	教養科目	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール						基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。 基幹科目(自然分野)から4単位以上を修得すること。
			キャリア科目	2	2				
		基幹科目	人文・社会分野	選択	2	2			
自然分野				2	2				
数学 物理学 化学 生物学 地学				2	2				
計			10	10			18単位以上		
外国語科目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1				1つの言語を選択し2単位修得すること。	
		コミュニケーション英語B	必修	1					
		実践英語A	必修		1				
		実践英語B	必修		1				
		総合英語Ⅰ	必修			1			
		総合英語Ⅱ	必修			1			
	語科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ ロシア語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1				
		計			3	3	1	1	8単位以上
		健康スポーツ科目	必修	1(前期又は後期)					
		計			1				1単位以上
修得単位数合計							33単位以上		

*キャリア入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの全てを修得している場合は、1単位分を教養科目に含めることができる。

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.49～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p.10を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）（農学部 生命環境農学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○大学入門ゼミ	教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ ロシア語基礎Ⅰ・Ⅱ	○情報リテラシ	(○教養基礎科目)
	2			中国語応用Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3			教養科目	●英語上級B	スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1	○教養科目	教養科目	○キャリア入門Ⅰ ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2		教養科目 健康スポーツ科学実技		●健康スポーツ科学実技	
	3					中国語応用Ⅲ・Ⅳ
水	1	●教養科目	教養科目	○教養科目	○情報リテラシ	○教養科目 (○教養基礎科目)
	2		●教養科目	●健康スポーツ科学実技		○教養科目
	3			○地球科学実験演習		○教養科目
木	1	教養科目	○教養科目	○コミ英語A・B ●キャリア入門Ⅱ・Ⅲ	教養科目	教養科目 (○教養基礎科目)
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ			教養科目
	3	教養科目			○英語上級A	教養科目
金	1	○コミ英語A・B ●実践英語A・B				(○教養基礎科目)
	2	教養科目	健康スポーツ科学実技			
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表（抄）

日本語・日本事情に関する科目（外国人留学生に対する授業科目）

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月			○日本社会事情 I ●日本社会事情 II	○日本語実践 I ●日本語実践 II	
火					
水				○日本語の表現技法 I ●日本語の表現技法 II	○日本文化事情 I ●日本文化事情 II
木			(正規学生限定) ○学部留学生のための日本語 I ●学部留学生のための日本語 II		
金					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目を示す。

2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表

入門科目

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AG10010001	大学入門ゼミ	01	2	川口 夏希	火1	共 D31	①地(地域創造)	
AG10010002		02	2	谷中 久和	火1	共 C22	①地(人間形成)	
AG10010003		03	2	李 素妍	火1	共 E31	①地(国際地域文化)	
AG10010005		05	1	常世田 好司 他	集中		①医(命)	
AG10010006		06	1	高間 さとみ 他	水4	共 A20	①医(保)	
AG10010007		07	2	灘 浩樹 他	木4	工 講堂 他	①工(機物)	
AG10010008		08	1	高橋 健一、白岩 史 他	木1	工 21	①工(電情)	
AG10010009		09	2	高部 祐剛 他	水1	工 講堂 他	①工(社土)	
AG10010010		10	1	永松 大 他	月1	共 A20	①農(A)	
AG10010011		11	1	木場 智史 他	火3	農 4	①農(JV)	
AG10020000		大学入門ゼミⅠ	2	岡本 賢治 他	金2	共 C21	①工(化バ)	
AG10030000	大学入門ゼミⅡ		2	岡本 賢治 他	火1	共 C21	①工(化バ)	
AG40040000	大学教育導入演習A	1		割田 克彦 他	集中		①農(JV)	
AG40050000	大学教育導入演習B	1		樋口 雅司 他	集中		②農(JV)	
AG40060000	教養基礎演習		2	樋口 雅司 他	水3・4		①農(JV)	
AG20010001	情報リテラシ	01	2	木本 雅也	水1	共 D21	①地(地域創造)	授業に持参するもの ・鳥大ID初期パスワード通知書 ・ノートパソコン、LANケーブル (忘れた場合の貸出は行いません)
AG20010002		02	2	岩田 健一	水1	共 D31	①地(人間形成)	
AG20010003		03	2	本村 真一	水1	共 D33	①地(国際地域文化)	
AG20010005		05	2	岩田 浩明	金2	共 D21	①医(命、検)	
AG20010006		06	2	岩田 浩明	金3	共 D21	①医(看)	
AG20010007		07	2	米田 駿介	木2	共 D43	①工(機物)	
AG20010008		08	2	本村 真一	木2	共 D42	①工(機物)	
AG20010009		09	2	東野 正幸	金2	工 計算機実習室	①工(電情)<奇数番号>	
AG20010010		10	2	東野 正幸	月3		①工(電情)<偶数番号>	
AG20010011		11	2	岩田 健一	金1	共 D21	①工(化バ)	
AG20010012		12	2	笹倉 万里子	金1	共 D43	①工(化バ)	
AG20010013		13	2	岩田 健一	火2	共 D31	①工(社土)<奇数番号>	
AG20010014		14	2	木本 雅也	火2	共 D33	①工(社土)<偶数番号>	
AG20010015		15	2	岩田 健一	水4	共 D31	①農(A)	
AG20010016		16	2	本村 真一	水4	共 D21	①農(A)	
AG20010017		17	2	木本 雅也	月4	共 D31	①農(A)	
AG20010018		18	2	本村 真一	月4	共 D42	①農(A、JV)	
AG30010001		キャリア入門	01	1	長尾 博暢 他	金4	共 A20	
AG30010003	03		1	長尾 博暢 他	水4	共 C31	①医(命)	
AG30010004	04		1	長尾 博暢 他	木3	共 C31	①医(看)	
AG30010005	05		1	長尾 博暢 他	金3	共 A20	①医(検)	
AG30010006	06		1	長尾 博暢 他	水1	共 C31	①工(機物)	
AG30010007	07		1	長尾 博暢 他	木4	共 C31	①工(電情)	
AG30010008	08		1	長尾 博暢 他	水3	共 C31	①工(化バ)	
AG30010009	09		1	長尾 博暢 他	火4	共 A20	①工(社土)	
AG30010010	10		1	長尾 博暢 他	木2	共 C31	①農(JV)	
AG30080000	キャリア入門Ⅰ		1		長尾 博暢 他	火3	共 A20	①農(A)
AG30090000	キャリア入門Ⅱ		1	永松 大 他	木3	共 A20	①農(A)	第3Q
AG30100000	キャリア入門Ⅲ		1	永松 大、田村 純一	木3	共 A20	①農(A)	第4Q
AG26010000	データサイエンス入門	1		橋本 隆司、井上 順子	集中		全学部	オンデマンド授業

教養科目 開設一覧表

(1) 教養科目履修上限科目に含まれる科目 (抽選科目を含む)

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
基幹科目 (人文・社会分野)					
	哲学・倫理学	01	2		月2
	哲学・倫理学	03	2		火2
	哲学・倫理学	05	2		水2
	哲学・倫理学	02		2	月2
	哲学・倫理学	04		2	火2
	哲学・倫理学	06		2	水2
	生命倫理 (1単位)		1		水3
	科学哲学		2		月3
	日本人と宗教			2	月3
	社会思想史入門			2	月3
	教育学概論			2	月3
	教育社会学			2	火2
	社会心理学		2		水2
	心理学	03	2		火2
	心理学	04		2	月2
	心理学	02		2	火2
	芸術入門	01	2		月2
	芸術入門	03	2		水2
	芸術入門	05	2		水2
	芸術入門	02		2	火2
	文学	03	2		月2
	文学	01	2		水2
	文学	05	2		水2
	文学	04		2	火2
	文学	02		2	水2
	日本語記号論			2	金1
	憲法学	01	2		火2
	憲法学	04		2	水2
	法律学			2	水5
	生命倫理と法			2	水2
	知的財産法			2	火2
	政治学	02		2	月2
	政治学	04		2	水2
	経済学	01	2		月2
	経済学	03	2		水2
	経済学	05	2		水2
	経済学	02		2	月2
	経済学	04		2	火2
	経営システム論			2	火2
	経済哲学			2	水2
	商業学			2	火2
	歴史学	01	2		月2
	歴史学	03	2		火2
	歴史学	05	2		水2
	歴史学	02		2	火2
	歴史学	04		2	水2
	西洋政治史 I			2	木5
	西洋政治史 II			2	木5
	情報倫理 A			2	火2
基幹科目 (自然分野)					
	データ科学の基礎			2	火2
	線形代数入門			2	月2
	解析学教程 I			2	木4
	解析学教程 II			2	木2
	解析入門 I	01	2		木2
	解析入門 I	05	2		木4
	解析入門 II			2	木4
	物理学入門 I	01	2		火1
	物理学入門 I	03	2		火1
	物理学入門 II - 基礎電磁気学 -			2	月2

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
基幹科目 (自然分野)					
	化学 I	01	2		月2
	化学 I	05	2		水2
	化学 II	02		2	月2
	化学 C			2	水2
	生物学 I A	01	2		金3
	生物学 II A	02		2	水1
	生物学 I B	03	2		水3
	生物学 II B	04		2	木1
	生物学概論 I			2	金1
	生物学概論 II			2	金5
	地球科学 (社会で活用するための基礎)			2	月2
	地球科学 (地質・地形・固体地球物理学の基礎)			2	水2
	地球科学 (天文・海洋・気象学の基礎)			2	金1
	地球科学 (新しい地球観の基礎)			2	火2
	地球科学 (ジオパークと自然災害・防災の基礎)	02		2	水2
	地球科学 (ジオパークと自然災害・防災の基礎)	04		2	水2
主観科目 (人間と文化)					
	くらしの経済・法律講座			2	月3
	バリアフリー支援入門			2	火2
	発達心理学			2	火3
	日本の財政、税制、税関等の現状 (1単位)			1	水3
	アメリカ手話入門			2	木5
	考古学			2	月3
	発達と教育の心理学	02		2	火2
	アクセシビリティ研究			2	火2
	メディア論			2	火2
	野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」			2	水2
	現代社会とスポーツ			2	水2
主観科目 (人間と科学)					
	発酵ワールド-ローカルからグローバルまで-			2	火2
	バイオテクノロジーの最前線			2	水2
	未来を拓く先端化学			2	木1
	科学リテラシー	01	2		木1
	メカライフの世界			2	木1
	メタンハイドレートと海洋開発			2	木1
	問題分析・計画立案入門			2	木5
	科学リテラシー	02		2	金1
主観科目 (人間と環境)					
	乾燥地の農業と緑化			2	火2
	分類・生態から分子まで: 昆虫学入門			2	水2
	人と環境 in English			2	水2
	水と環境 in English			2	木5
	植物と環境 in English			2	水2
主観科目 (健康と生命)					
	保健医療概論			2	月1
	微生物の世界~人と動物の感染症~			2	月2
	健康と疾病			2	月3
	健康科学と応急手当			2	月3
	脳の世紀-脳・心・病氣-			2	水2
	医学と生命科学			2	木1
	ウェルネスとシェイプアップ			2	木1
	世界のスポーツ・健康文化論			2	木5
	社会福祉 (1単位)			1	月1
	教員の世界と教育実践			2	月2
	放射線科学			2	月3
	スポーツサイエンス入門			2	月3

(2) 教養科目履修上限科目に含まれない科目 (抽選科目に含まれない)

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
主題科目 (世界と地域)					
	地域防災学		2		月3
	鳥取砂丘学		2		火2
	メキシコ事情		2		火2
	マレー世界と東南アジアにおける文化の多様性		2		火2
	地域創生入門	01	2		水5
	グローバルイシュー (地球規模課題)		2		木1
	社会安全政策論～鳥取県警察における多様な取組～		2		木1
	とっとり暮らし早期体験学習		2		木5
	鳥取を知る		2		月3
	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情		2		火2
	鳥取の海の幸を学ぶ		2		火2
	アートプロジェクト		2		水2
	鳥取の歴史		2		水5
	未来を拓く流儀		2		木3
	世界の中の日本: Japanese society and culture		2		木5
主題科目 (教養ゼミナール)					
	教養ゼミナール (1) 「性的少数者に関する書籍を読んで理解を深めよう」	01	2		火2
	教養ゼミナール (1) 「日本の名著を読む」	02	2		水5
	教養ゼミナール (1) 「読書を楽しむ」	03	2		水5
	教養ゼミナール (1) 「福島原発事故を読む」	04	2		水5
	教養ゼミナール (1) 「ロジカルライティング・プレゼンテーション入門」	05	2		木5
	教養ゼミナール (1) 「現代メキシコを理解する」	06	2		木5
	教養ゼミナール (1) 「子どもの生活とものづくり」	07	2		金1
	教養ゼミナール (2) 「日本文化表象論 時間・空間・身体」	09	2		火2
	教養ゼミナール (2) 「アントワープ・ド・サンテグジュペリの世界」	10	2		火2
	教養ゼミナール (2) 「哲学の世界」	11	2		火5
	教養ゼミナール (2) 「『論語』を読む」	12	2		水5
	教養ゼミナール (2) 「クライシスノベルで危機管理」	13	2		木1
	教養ゼミナール (2) 「対話の実践と理論」	14	2		木5
キャリア科目					
	地域就業論		2		木5

① 履修登録期間中に各自が履修登録する

科目区分	授業科目	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
主題科目 (世界と地域)					
	国際理解 (グローバル・スタディーズ) I	01	2		月2
	国際理解 (グローバル・スタディーズ) II	01	2		火2
	海外安全マネジメント I	01	1		木1
	海外安全マネジメント II	02	1		木1
	海外安全マネジメント I	03		1	木1
	海外安全マネジメント II	04		1	木1
基幹科目 (自然分野)					
	微分積分学 I	03	2		月5
	微分積分学 II	02		2	水1
	線形代数 I		2		木1
	線形代数 II			2	木4
	微分積分学 I 及び演習	01	3		月3・4
	微分積分学 I 及び演習	03	3		火3・4
	微分積分学 II 及び演習	02		3	月3・4
	微分積分学 II 及び演習	04		3	金1・2
	線形代数学 I	01	2		金3
	線形代数学 I	03	2		木3
	線形代数学 II	02		2	火3
	線形代数学 II	04		2	木5
	基礎数学 I		2		月2
	基礎数学 II			2	月1
	微分積分学 I	09	2		月1
	微分積分学 I	11	2		月1
	微分積分学 II	10		2	月3
	微分積分学 II	12		2	月3
	線形代数		2		金2
	基礎物理学	01	2		木1
	基礎物理学 I	01	2		火3
	基礎物理学 I	03	2		月1
	基礎物理学 II	02		2	金2
	基礎物理学 II	04		2	木4
	力学基礎及び演習			3	木3・4
	化学概論		2		金2
	基礎化学 I	01	2		月1
	基礎化学 II			2	木4
基幹科目 (実験演習分野)					
	物理学実験演習	01	2		月3・4
	物理学実験演習	03	2		金3・4
	物理学実験演習	02		2	月3・4
	物理学実験演習	04		2	金3・4
	化学実験演習	01	2		火3・4
	化学実験演習	03	2		木3・4
	化学実験演習	02		2	水3・4
	生物学実験演習	02		2	金3・4
	地球科学実験演習		2		水3・4

② 集中講義履修登録期間中に各自が履修登録する (別途掲示)

科目区分	授業科目	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
基幹科目 (人文・社会分野)					
	心理学	01	2		集中
	心理学	05	2		集中
	政治学	01	2		集中
	政治学	03	2		集中
	政治学	06		2	集中
主題科目 (人間と文化)					
	刑事法入門		2		集中
主題科目 (世界と地域)					
	「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～		2		集中
	起業入門 (1単位)		1		集中
	ビジネスプラン入門 (1単位)		1		集中
	地域デザイン		1		集中
	起業とプロトタイピング			2	集中
キャリア科目					
	就業体験学習		2		集中
	ワーク・ライフ・バランス論 (1単位)			1	集中

教養科目 [基幹科目 人文・社会分野]、[主題科目]、[キャリア科目]

区分	時間割コード	授業科目名	クラス	単位数	担当教員	受入人数	講義室	備考
----	--------	-------	-----	-----	------	------	-----	----

【前期】月曜日1時限 [医(保)の指定クラス]

主題科目	健康と生命	AT30090000	保健医療概論	2	片岡 英幸 他	125	共 C 2 1	医(保)の指定クラス
------	-------	------------	--------	---	---------	-----	---------	------------

【前期】月曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10570001	哲学・倫理学	01	2	田鍋 良臣	120	共 C 3 1	
		AR10590001	芸術入門	01	2	佐々木 友輔、 木野 彩子	260	共 A 2 0	
		AR10600003	文学	03	2	重松 恵梨	150	共 C 2 1	
		AA18030001	経済学	01	2	永松 利文	120	共 D 3 1	
		AR10630001	歴史学	01	2	岸本 覚	100	共 D 3 3	
主題科目	健康と生命	AT40130000	微生物の世界～人と動物の感染症～	2	山口 剛士 笛吹 達史	45	共 E 4 1		
	世界と地域	AT50020001	国際理解(グローバル・スタディーズ) I	01	2	ケイツ キップ(非)	60	共 D 2 2	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。(抽選履修対象外科目)授業は英語と日本語で行う。

【前期】月曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10030000	科学哲学	2	田鍋 良臣	60	共 C 3 2	隔年開講
主題科目	人間と文化	AA18040000	くらしの経済・法律講座	2	桐山 聡 鳥取県連携講座	70	共 A 2 0	公開授業講座(一般市民80人)
	健康と生命	AT00100000	健康科学と応急手当	2	西村 正広	30	武道館ほか	
		AF52010000	健康と疾病	2	深田美香 他	100	共 C 3 1	医の学生は受講不可
	世界と地域	AT50170000	地域防災学	2	黒岩 正光、浅井 秀子、 香川 敬生、太田 隆夫、 梶川 勇樹、野口 竜也	70	共 C 5 1	

【前期】火曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10570003	哲学・倫理学	03	2	田鍋 良臣	150	共 A 2 0	
		AA01040003	心理学	03	2	未定	120		
		AR10600001	文学	01	2	和田 綾子	120	共 C 2 1	
		AR10600005	文学	05	2	清水 まさ志	120	共 C 3 1	
		AR10500001	憲法学	01	2	佐藤 匡	無制限		
		AR10700000	知的財産法	2	稲岡 美恵子	80	共 D 4 2		
		AR10730000	商業学	2	白石 秀壽	99	共 E 3 1		
		AR10680000	経営システム論	2	馬場 芳	50	共 C 3 2	「経営戦略論」修得者は履修不可。	
		AR10630003	歴史学	03	2	武田 元有	100	共 D 2 1	
AR10250000	情報倫理A	2	永松 利文	50	共 D 4 1				
主題科目	人間と文化	AT10360000	バリアフリー支援入門	2	井上 菜穂	20	共 B 3 1		
	人間と科学	AT20300000	発酵ワールド-ローカルからグローバルまで-	2	有馬 二朗 児玉 基一郎	120	共 C 5 1		
	人間と環境	AD60010000	乾燥地の農業と緑化	2	藤巻 晴行 他9名	100	共 E 4 3		
	世界と地域	AT50140000	鳥取砂丘学	2	小玉 芳敬 他	100	共 E 3 2		
		AT50030001	国際理解(グローバル・スタディーズ) II	01	2	ケイツ キップ(非)	60	共 A 3 1	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。(抽選履修対象外科目)授業は英語と日本語で行う。
		AT50150000	メキシコ事情	2	箕輪 茂	20	共 A 3 4		
AT50430000	マレー世界と東南アジアにおける文化の多様性	2	チャン チェオン ジェン	20	共 C 4 1	授業は英語と日本語で行う。			
教養ゼミナール	AT60010001	教養ゼミナール(1)「性的少数者に関する書籍を読んで理解を深めよう」	01	2	大木 誠	6	共 C 4 2		

【前期】火曜日3時限

主題科目	人間と文化	AA01010000	発達心理学	2	未定	170		生命科学科・保健学科の学生を対象(指定クラス)
------	-------	------------	-------	---	----	-----	--	-------------------------

区分	時間割コード	授業科目名	クラス	単位数	担当教員	受入人数	講義室	備考
----	--------	-------	-----	-----	------	------	-----	----

【前期】水曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10570005	哲学・倫理学	05	2	田鍋 良臣	120	共 C 3 1	
		AR10390000	社会心理学		2	石本 雄真	70	共 A 3 1	
		AR10590003	芸術入門	03	2	筒井 宏樹 石田 陽介	130	共 D 2 1	
		AR10590005	芸術入門	05	2	筒井 宏樹 石田 陽介	130	共 D 3 1	
		AA18030003	経済学	03	2	万 里	100	共 E 3 1	
		AA18030005	経済学	05	2	多田 憲一郎	120	共 C 2 1	
		AR10630005	歴史学	05	2	武田 元有	100	共 C 5 1	
主題科目	人間と科学	AE55010000	バイオテクノロジーの最前線		2	鈴木 宏和 他	100	共 C 3 2	
	人間と環境	AT40160000	分類・生態から分子まで: 昆虫学入門		2	中 秀司	100	共 D 3 3	
		AT40260000	人と環境 in English		2	Ayele Almaw Fenta	20	共 A 3 4	
	健康と生命	AF51030000	脳の世紀ー脳・心・病気ー		2	岩田 正明	100	共 D 4 3	

【前期】水曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10050000	生命倫理 (1単位)		1	安藤 泰至	85	共 D 4 2	医(保・看)指定クラス
主題科目	人間と文化	AT10440000	日本の財政、税制、税関等の現状 (1単位)		1	桐山 聡 他	50	共 B 3 1	第1Q

【前期】水曜日5時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10690000	法律学		2	佐藤 匡	170		
主題科目	世界と地域	AT50320001	地域創生入門	01	2	石田 陽介 他	100	共 C 3 1	「地域社会づくりの最前線Ⅰ」、「地域社会づくりの最前線Ⅱ」修得者は履修不可。
	教養ゼミナール	AT60010002	教養ゼミナール(1)「日本の名著を読む」	02	2	細井 由彦(非)	15	共 A 3 3	
		AT60010003	教養ゼミナール(1)「読書を楽しむ」	03	2	塩崎 一郎	6	共 C 4 2	
		AT60010004	教養ゼミナール(1)「福島原発事故を読む」	04	2	北 実	15	共 A 3 2	

【前期】木曜日1時限

主題科目	人間と科学	AT20240000	未来を拓く先端化学		2	片田 直伸 他	100	共 E 3 1	工学部化学バイオ系学科は履修不可
		AT00080001	科学リテラシー	01	2	森川 修、北 実	70	共 E 3 2	
	健康と生命	AT00020000	医学と生命科学		2	堀 直裕 他	128	共 D 3 1	
		AF02020000	ウェルネスとシェイプアップ		2	西村 正広	50	共 D 2 1	
	世界と地域	AT50440001	海外安全マネジメントⅠ	01	1	竹田 洋志	60	共 C 2 1	第1Q 「海外安全マネジメント」修得者は履修不可。(抽選履修対象外科目)
		AT50450002	海外安全マネジメントⅡ	02	1	竹田 洋志	20	共 C 2 1	第2Q 「海外安全マネジメント」修得者は履修不可。「海外安全マネジメントⅠ」履修者が望ましい。(抽選履修対象外科目)
		AT50360000	グローバルイシュー(地球規模課題)		2	蕪木 絵実、 チャン チェホン ジェン 他	20	共 B 3 2	英語を交えつつ授業を行う。
		AT50410000	社会安全政策論 ～鳥取県警察における多様な取組～		2	桐山 聡	60	共 D 3 3	

区分	時間割コード	授業科目名	クラス	単位数	担当教員	受入人数	講義室	備考
----	--------	-------	-----	-----	------	------	-----	----

【前期】木曜日5時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10300000	西洋政治史 I		2	武田 元有	50	共 C 2 1	隔年開講
主題科目	人間と文化	AC20040000	アメリカ手話入門		2	福安 勝則(非)	120	共 D 3 1	「アメリカ手話入門Ⅰ」、「アメリカ手話入門Ⅱ」修得者は履修不可。
	人間と環境	AT40220000	水と環境 in English		2	Nigussie Haregeweyn Ayehe 他	20	共 A 3 3	
	健康と生命	AT30160000	世界のスポーツ・健康文化論		2	瀬戸 邦弘	80	共 D 2 1	
	世界と地域	AT50230000	とっとり暮らし早期体験学習		2	清水 克彦 他	25	CDL (広報センター1階)	授業の一部を土日に実施
	教養ゼミナール	AT60010005	教養ゼミナール(1)「ロジカルライティング・プレゼンテーション入門」	05	2	桐山 聡	25	共 A 3 4	
AT60010006		教養ゼミナール(1)「現代メキシコを理解する」	06	2	箕輪 茂	10	共 B 2 1		

【前期】金曜日1時限

主題科目	教養ゼミナール	AT60010007	教養ゼミナール(1)「子どもの生活とものづくり」	07	2	大谷 直史	15	教員養成センター	旧主題科目(人間と文化)「子どもの生活とものづくり」
------	---------	------------	--------------------------	----	---	-------	----	----------	----------------------------

【前期】集中講義

基幹科目	人文・社会分野	AA01040001	心理学	01	2	田中 章浩(非)	150		
基幹科目	人文・社会分野	AA01040005	心理学	05	2	河村 壮一郎(非)	150		
		AR10370001	政治学	01	2	田代 和也(非)	120		
		AR10370003	政治学	03	2	岡本 雪乃(非)	120		
		AT10340000	刑法法入門		2	渡邊 友美(非)	100		
主題科目	人間と文化	AT10340000	刑法法入門		2	渡邊 友美(非)	100		
	世界と地域	AT50340000	「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～		2	丸 祐一、他(非)	50		「地域文化資産・鳥取と民藝」修得者は履修不可
		AT50260000	起業入門 (1単位)		1	石田 陽介	15		授業の一部を土日に実施
		AT50270000	ビジネスプラン入門 (1単位)		1	清水 克彦、浅野 佳春(非)	25		
		AT50460000	地域デザイン(1単位)		1	石田 陽介	15		授業の一部を土日に実施
キャリア科目	AU20010000	就業体験学習		2	長尾 博暢	40			

区分	時間割コード	授業科目名	クラス	単位数	担当教員	受入人数	講義室	備考
----	--------	-------	-----	-----	------	------	-----	----

【後期】月曜日1時限 〔医(保・看)の指定クラス〕

主題科目	健康と生命	AT40010000	社会福祉 (1単位)	1	竹川 俊夫	85	共 A 2 0	医(保・看)の指定クラス
------	-------	------------	------------	---	-------	----	---------	--------------

【後期】月曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10570002	哲学・倫理学	02	2	田鍋 良臣	120	共 C 3 1	
		AA01040004	心理学	04	2	河村 壮一郎(非)	150	共 A 2 0	
		AR10370002	政治学	02	2	塩沢 健一	120	共 C 2 1	
		AA18030002	経済学	02	2	永松 利文	120	共 D 3 1	
主題科目	人間と文化	AT10450000	教員の世界と教育実践	2	藤田 則恵	30	教員養成センター		

【後期】月曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10580000	日本人と宗教	2	2	田鍋 良臣	60	共 C 3 2	
		AR10640000	社会思想史入門	2	2	藤田 安一(非)	60	共 E 3 2	
		AR10380000	教育学概論	2	2	河合 務	130	共 E 3 1	
主題科目	人間と文化	AT10350000	考古学	2	2	高田 健一	50	共 C 2 2	
	健康と生命	AF51020000	放射線科学	2	2	北 実、中山 裕二	100	共 C 3 1	
		AT30150000	スポーツサイエンス入門	2	2	西村、関、瀬戸、木野、齋藤	80	共 D 4 2	
	世界と地域	AT50350000	鳥取を知る	2	2	桐山 聰 他	100	共 C 5 1	「鳥取大学を知る」、「鳥取学」修得者は履修不可。

【後期】火曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR10570004	哲学・倫理学	04	2	田鍋 良臣	120	共 C 3 1	
		AR10280000	教育社会学	2	2	呉 永鎬	130	共 D 3 1	
		AA01040002	心理学	02	2	田中 大介	160	共 C 2 1	
		AR10590002	芸術入門	02	2	石谷 孝二(非)、羽根田 真弓(非)	260	共 A 2 0	
		AR10600004	文学	04	2	岡村 知子	120	共 E 3 2	
		AA18030004	経済学	04	2	万里	100	共 E 3 1	
		AR10630002	歴史学	02	2	武田 元有	100	共 C 5 1	
主題科目	人間と文化	AA01060002	発達と教育の心理学	02	2	福山 寛志	150	共 D 2 1	
		AT10460000	アクセシビリティ研究	2	2	井上 菜穂	20	共 B 3 1	
		AC52010000	メディア論	2	2	永松 利文	50	共 A 3 4	
	世界と地域	AT50160000	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情	2	2	箕輪 茂	20	共 B 3 2	
		AT50110000	鳥取の海の幸を学ぶ	2	2	清水 克彦 他	25	共 A 3 3	
	教養ゼミナール	AT60020009	教養ゼミナール(2)「日本文化表象論 時間・空間・身体」	09	2	瀬戸 邦弘	10	共 D 3 2	
AT60020010		教養ゼミナール(2)「アントワーン・ド・サン＝テグジュペリの世界」	10	2	清水 まさ志	15	共 D 2 2		

区分	時間割 コード	授業科目名	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	受入 人数	講義室	備 考
----	------------	-------	-------------	-------------	------	----------	-----	-----

【後期】 火曜日5時限

主題 科目	教養ゼミ ナール	AT60020011	教養ゼミナール(2)「哲学の世界」	11	2	田鍋 良臣	25	共 A 3 4	
----------	-------------	------------	-------------------	----	---	-------	----	---------	--

【後期】 水曜日2時限

基幹 科目	人文・ 社会分野	AR10570006	哲学・倫理学	06	2	田鍋 良臣	150	共 A 2 0	「経済経営哲学」修得者は履修不可。
		AR10600002	文学	02	2	米田 真理子	120	共 C 3 1	
		AR10500004	憲法学	04	2	佐藤 匡	無制限		
		AR10370004	政治学	04	2	芳賀 大地	120	共 E 3 1	
		AR10410000	生命倫理と法		2	丸 祐一	100	共 D 4 3	
		AR10720000	経済哲学		2	永松 利文	50	共 B 3 2	
		AR10630004	歴史学	04	2	武田 元有	100	共 C 2 1	
主題 科目	人間と 文化	AA18510000	野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」		2	馬場 芳 野村証券関係者	50	共 C 2 2	
		AF01020000	現代社会とスポーツ		2	斎藤 辰哉	120	共 C 5 1	
	人間と 環境	AT40250000	植物と環境 in English		2	Nasrein Mohamed Kamal Omer Elfadil 他	20	共 A 3 4	
	世界と 地域	AT50420000	アートプロジェクト		2	石田 陽介	15	CDL (広報セン ター1階)	旧授業科目名:デザインプロジェクト 授業の一部を土日に実施

【後期】 水曜日5時限

主題 科目	世界と 地域	AT50390000	鳥取の歴史		2	小山 富見男(非)	100		
	教養ゼミ ナール	AT60020012	教養ゼミナール(2)「『論語』を読む」	12	2	細井 由彦(非)	15	共 A 3 4	

【後期】 木曜日1時限

主題 科目	人間と 科学	AT20220000	メカライフの世界		2	田村 篤敬 他	100	共 E 3 1	
		AT20290000	メタンハイドレートと海洋開発		2	増井 敏行	100	共 C 3 1	
	世界と 地域	AT50440003	海外安全マネジメント I	03	1	竹田 洋志	60	共 C 2 1	第3Q 「海外安全マネジメント」修得者は履修 不可。(抽選履修対象外科目)
		AT50450004	海外安全マネジメント II	04	1	竹田 洋志	20	共 C 2 1	第4Q 「海外安全マネジメント」修得者は履修 不可。「海外安全マネジメント I」履修 者が望ましい。(抽選履修対象外科目)
	教養ゼミ ナール	AT60020013	教養ゼミナール(2)「クライシスノベルで危 機管理」	13	2	香川 敬生	10	共 B 3 1	

【後期】 木曜日3時限

主題 科目	世界と 地域	AT50400000	未来を拓く流儀		2	保坂 理和子	30	共 A 3 1	
----------	-----------	------------	---------	--	---	--------	----	---------	--

【後期】 木曜日5時限

基幹 科目	人文・ 社会分野	AR10310000	西洋政治史 II		2	武田 元有	50	共 C 2 1	隔年開講
主題 科目	人間と 科学	AT20230000	問題分析・計画立案入門		2	桐山 聡	40	共 B 3 1	
	世界と 地域	AT50380000	世界の中の日本:Japanese society and culture		2	チャン チェオン ジェン、 蕪木 絵実	15	共 A 3 3	授業は英語で行う。
	教養ゼミ ナール	AT60020014	教養ゼミナール(2)「対話の実践と理論」	14	2	大谷 直史	20	教員養成 センター	
キャリア科目		AU20040000	地域就業論		2	長尾 博暢 他	100	共 A 2 0	

区分	時間割 コード	授業科目名	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	受入 人数	講義室	備 考
----	------------	-------	-------------	-------------	------	----------	-----	-----

【後期】 金曜日1時限

基幹 科目	人文・ 社会分野	AA22010000	日本語記号論	2	作田 将三郎	70	共 D 2 1	隔年開講
主題 科目	人間と 科学	AT00080002	科学リテラシー	02	森川 修、北 実	70	共 A 3 1	

【後期】 集中講義

基幹 科目	人文・ 社会分野	AR10370006	政治学	06	2	田代 和也(非)	120	
主題 科目	世界と 地域	AT50250000	起業とプロトタイピング		2	影山 智明	15	
キャリア科目		AU20070000	ワーク・ライフ・バランス論 (1単位)		1	長尾 博暢 他	50	

教養科目 [基幹科目 自然分野]

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれる科目 (抽選制度に含む)

時間割 コード	授 業 科 目 名 ク ラ ス	単位数		担当教員	曜 日 時 限	受入 人数	講義室	備 考
		前	後					

数学

[主に地, 医 (命・検), 農 (A) が履修するクラス]

AS10120000	データ科学の基礎		2	橋本 隆司	火2	30	共 A32	
------------	----------	--	---	-------	----	----	-------	--

[主に地, 農が履修するクラス]

AS10150000	線形代数入門		2	井上 順子	月2	40	共 A33	
------------	--------	--	---	-------	----	----	-------	--

[主に医 (命・検), 農 (JV) が履修するクラス]

AS10010000	解析学教程 I	2		橋本 隆司	木4	120	共 D43	
------------	---------	---	--	-------	----	-----	-------	--

AS10020000	解析学教程 II		2	橋本 隆司	木2	120	共 D43	前期の解析学教程 I を履修した者を前提
------------	----------	--	---	-------	----	-----	-------	----------------------

[主に地, 農 (A) が履修するクラス]

AS10030001	解析入門 I	01	2	井上 順子	木2	120	共 E31	
------------	--------	----	---	-------	----	-----	-------	--

[主に地, 医 (検), 農 (A) が履修するクラス]

AS10030005	解析入門 I	05	2	井上 順子	木4	100	共 E31	
------------	--------	----	---	-------	----	-----	-------	--

AS10040000	解析入門 II		2	井上 順子	木4	100	共 D21	解析入門 I のいずれかのクラスを履修した者を前提
------------	---------	--	---	-------	----	-----	-------	---------------------------

【注意】「解析入門 I」と「解析学教程 I」を受講し、単位修得しても卒業に必要な単位は2単位 (どちらか1科目) とする。

【注意】「解析入門 II」と「解析学教程 II」を受講し、単位修得しても卒業に必要な単位は2単位 (どちらか1科目) とする。

*高等学校で理系数学 (数学Ⅲ) を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

物理学

[主に地, 農が履修するクラス]

AS11010003	物理学入門 I	03	2	池野 なつ美	火1	100	共 D21	
------------	---------	----	---	--------	----	-----	-------	--

[主に医 (命・検) が履修するクラス]

AS11010001	物理学入門 I	01	2	土井 俊行	火1	100	共 D22	
------------	---------	----	---	-------	----	-----	-------	--

[主に地, 医, 農が履修するクラス]

AS11040000	物理学入門 II -基礎電磁気学-		2	藤原 伸一	月2	70	共 A34	旧「物理学入門 II」
------------	----------------------	--	---	-------	----	----	-------	-------------

【注意】「物理学入門 I」及び「物理学入門 II」は、工の学生は受講不可。

*高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理学科目を履修するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

化学 (前期)

[主に地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農 が履修するクラス]

AS12010001	化学 I	01	2	花島 慎弥	月2	120	共 E31	地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修
------------	------	----	---	-------	----	-----	-------	---------------------------

AS12010005	化学 I	05	2	南条 真佐人	水2	120	共 E32	地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修
------------	------	----	---	--------	----	-----	-------	---------------------------

【注意】高校で「化学基礎」又は「化学」を履修した者が望ましい。

*高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

【注意】「化学 I」は、工 (機物・化バ) の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれる科目（抽選制度を含む）

時間割 コード	授 業 科 目 名 ク ラ ス	単位数		担当教員	曜 日 時 限	受入 人数	講義室	備 考
		前	後					

化学（後期）

【主に地，医，工（電情・社土），農が履修するクラス】

AS12020002	化学Ⅱ	02	2	南条 真佐人、 花島 慎弥	月2	120	共 D 2 1	地，医（命），工（電情・社土），農が履修
AS12030000	化学C		2	高村 歩美	水2	80	共 D 3 3	地，医（命・保），工（電情・社土），農（J V）が履修

【注意】前期に「化学Ⅰ」を履修していないと、後期「化学Ⅱ」は履修できません。

【注意】「化学Ⅱ」及び「化学C」は、工（機物・化バ）の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

生物学

【主に地，医（検），工が履修するクラス】

AS13030000	生物学概論Ⅰ		2	唐澤 重考、 谷口 美也子	金1	100	共 C 2 1	
AS13040000	生物学概論Ⅱ		2	富岡 幸子	金5	100	共 D 3 1	

【注意】「生物学概論Ⅰ」及び「生物学概論Ⅱ」は、医（命）及び農の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

【主に医（命），農（J V）が履修するクラス】

AS13010001	生物学ⅠA	01	2	竹内 崇師	金3	100	共 C 2 1	
------------	-------	----	---	-------	----	-----	---------	--

【主に医（命），農が履修するクラス】

AS13020002	生物学ⅡA	02	2	竹内 崇、 菱沼 貢	水1	100	共 C 2 1	
------------	-------	----	---	---------------	----	-----	---------	--

【主に農（A）が履修するクラス】

AS13010003	生物学ⅠB	03	2	岡 真理子	水3	220	共 A 2 0	
AS13020004	生物学ⅡB	04	2	永松 大、 藪田 行哲	木1	220	共 A 2 0	

*高等学校で生物を学習していない者、大学で生物学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎生物学を受講することが望ましい。

地学

【主に地，工，農が履修するクラス】

AS14030000	地球科学 （社会で活用するための基礎）		2	香川 敬生	月2	80	共 C 5 1	
AS14010000	地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）		2	塩崎 一郎、香川 敬生 他	水2	80	共 D 4 2	
AS14020000	地球科学 （天文・海洋・気象学の基礎）		2	塩崎 一郎、 太田 隆夫 他	金1	105	共 C 3 1	
AS14040000	地球科学（新しい地球観の基礎）		2	塩崎 一郎、 黒崎 泰典 他	火2	80	共 D 4 2	
AS14050002	地球科学（ジオパークと 自然災害・防災の基礎）	02	2	塩崎 一郎、小野 祐輔 他	水2	80	共 D 2 1	
AS14050004	地球科学（ジオパークと 自然災害・防災の基礎）	04	2	塩崎 一郎、小野 祐輔 他	水2	80	共 D 3 1	

教養科目 [基幹科目 自然分野]

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれない科目 (各自が履修登録する)

時間割 コード	授 業 科 目 名	ク ラ ス	単位数		担当教員	曜 日	講義室	備 考
			前	後				

[工 (①機物) が履修するクラス]

AJ00510001	微分積分学Ⅰ	01	2	橋本 隆司	月5	共 D 2 1	
AJ00520002	微分積分学Ⅱ	02	2	後藤 知伸	水1	共 E 3 1	
AJ50010000	線形代数Ⅰ		2	清水 一行	木1	共 C 3 1	
AJ50020000	線形代数Ⅱ		2	松野 崇	木4	共 C 3 1	
AJ01010001	基礎物理学Ⅰ	01	2	松岡 広成	火3	工 2 1	
AJ01020002	基礎物理学Ⅱ	02	2	古川 勝	金2	共 C 3 1	
AS12060000	化学概論		2	原田 尚志	金2	共 E 3 1	旧 化学概論Ⅰ

* 下記注書参照

[工 (①電情) が履修するクラス]

AJ00590001	微分積分学Ⅰ及び演習	01	3	竹森 史暁	月3・4	共 E 3 1	奇数番が履修
AJ00590003	微分積分学Ⅰ及び演習	03	3	木村 周平	火3・4	共 D 2 1	偶数番が履修
AS10140002	微分積分学Ⅱ及び演習	02	3	大木 誠	月3・4	工 3 1	奇数番が履修
AS10140004	微分積分学Ⅱ及び演習	04	3	清水 忠昭	金1・2	工 3 1	偶数番が履修
AJ50130001	線形代数学Ⅰ	01	2	西山 正志	金3	工 3 2	奇数番が履修
AJ50130003	線形代数学Ⅰ	03	2	笹岡 直人	木3	工 3 2	偶数番が履修
AJ50140002	線形代数学Ⅱ	02	2	西山 正志	火3	工 3 1	奇数番が履修
AJ50140004	線形代数学Ⅱ	04	2	笹岡 直人	木5	工 3 1	偶数番が履修
AJ01010003	基礎物理学Ⅰ	03	2	松永 忠雄	月1	共 E 3 1	
AJ01020004	基礎物理学Ⅱ	04	2	李 相錫	木4	工 2 1	

【注意】

* 高等学校で理系数学(数学Ⅲ)を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

* 高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理系科目を修得するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

* 高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

[工 (①化バ) が履修するクラス]

AJ00010000	基礎数学 I		2	橋本 隆司	月2	共	D 2 1	
AJ00020000	基礎数学 II		2	橋本 隆司	月1	共	D 3 1	
AJ01430001	基礎物理学	01	2	松岡 広成、 古川 勝	木1	工	2 7	
AJ02010001	基礎化学 I	01	2	増井 敏行、 片田 直伸	月1	共	C 3 1	
AJ02020000	基礎化学 II		2	伊福 伸介	木4	共	E 3 1	

* 下記注書参照

[工 (①社土) が履修するクラス]

AJ00510009	微分積分学 I	09	2	井上 順子	月1	共	D 3 1	奇数番が履修
AJ00510011	微分積分学 I	11	2	橋本 隆司	月1	共	D 2 1	偶数番が履修
AJ00520010	微分積分学 II	10	2	井上 順子	月3	共	D 2 1	奇数番が履修
AJ00520012	微分積分学 II	12	2	橋本 隆司	月3	共	D 3 1	偶数番が履修
AJ50050000	線形代数		2	香川 敬生、 南野 友香	金2	共	C 3 1	
AS11070000	力学基礎及び演習		3	小野 祐輔 他	木3・4	共	C 2 1	

【注意】

* 高等学校で理系数学（数学Ⅲ）を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

* 高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理系科目を履修するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

* 高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

教養科目 [基幹科目 実験演習分野]

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP40110001	前期 物理学実験演習 01	2		古川、土井、中井、 榊原、坂本、石川、 衣	月3,4	物理学 実験室 共	①工（機物）	1番～60番が履修
AP40110003	物理学実験演習 03	2		古川、土井、中井、 榊原、坂本、石川、 衣	金3,4		①工（機物）	61番以降が履修
AP40110002	後期 物理学実験演習 02	2		藤原 伸一、 山口 和輝	月3,4		①医（命，保） ②工（化バ）	受入人数は32人を上限とし、 上限を超えた場合は抽選とする。*
AP40110004	物理学実験演習 04	2		阿部、李、松永、 三柴、藪田、 小山田	金3,4		①工（電情）	
AP41110001	前期 化学実験演習 01	2		花島 慎弥 他	火3,4	化学 実験室 共	①工（化バ）	学生番号前半が履修（詳細は オリエンテーション時に発表する）
AP41110003	化学実験演習 03	2		南条 真佐人、 佐々木 紀彦、 山口 和輝	木3,4		①工（化バ）	学生番号後半が履修（詳細は オリエンテーション時に発表する）
AP41110002	後期 化学実験演習 02	2		高村 歩美、 森川 修	水3,4		①医（命，保）	
AP42110002	後期 生物学実験演習 02	2		鱒岡、高田、 竹村、遠藤、 尾崎 他	金3,4	生物学 実験室 共	①医（検）	
AP43110000	前期 地球科学実験演習	2		塩崎、香川、野口、 中村、河野、太田、 小玉、齊藤、菅森、 黒崎 他	水3,4	地球 科学 実験室 共	②工（社土） ③農	入学初年度に受講を希望する 場合は高等学校での地学履修 歴があること、また、2年次 以降に受講を希望する場合は、 教養科目・自然分野「地球科学」 を履修済みであることを受講 条件とする。

*物理学実験演習（02クラス）が抽選となった場合は、卒業要件に含む者及び教員免許取得希望者を優先して登録する。

外国語科目〔英語〕

時間割コード	授業科目	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP63110001	コミュニケーション 英語A	01	1	滝波 稚子	火4	共 A33	①地	学務支援システムの 「履修登録・登録状 況照会」画面に履修 するクラスを指定し ますので、各自がク ラス等を確認のうえ 履修してください。
AP63110002		02	1	大谷 ショーン(非)	火4	共 A32		
AP63110003		03	1	竹内 ひとみ(非)	火4	共 A34		
AP63110004		04	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	火4	共 E43		
AP63110005		05	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木4	共 E43	①地	
AP63110006		06	1	クラビオト グラシエラ(非)	木4	共 C51		
AP63110007		07	1	小林 昌博	木4	共 A33		
AP63110008		08	1	ベラスコ イバン(非)	木4	共 B21		
AP63110009		09	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木3	共 E43	①農(A)	
AP63110010		10	1	大谷 ショーン(非)	木3	共 A31		
AP63110011		11	1	小林 昌博	木3	共 A33		
AP63110012		12	1	ベラスコ イバン(非)	木3	共 B21		
AP63110013		13	1	ハリス クリストファー	金1	共 B31	①農(A, J V)	
AP63110014		14	1	谷本 ジャスミン(非)	金1	共 B21		
AP63110015		15	1	滝波 稚子	金1	共 A32		
AP63110016		16	1	ベラスコ イバン(非)	金1	共 C32		
AP63110017		17	1	レヴィ レイモンド(非)	金1	共 A31	①医(命)	
AP63110018		18	1	ムラー マイケル	金1	共 A34		
AP63110019		19	1	ジアディーニ マーク(非)	金1	共 D31		
AP63110020		20	1	ハリス クリストファー	火1	共 B31		
AP63110021		21	1	竹内 ひとみ(非)	火1	共 A34	①工(機物)	
AP63110022		22	1	滝波 稚子	火1	共 A33		
AP63110023		23	1	谷本 ジャスミン(非)	火1	共 B21		
AP63110024		24	1	クラビオト グラシエラ(非)	火1	共 A31		
AP63110025		25	1	ジアディーニ マーク(非)	水3	共 A31	①工(電情)	
AP63110026		26	1	谷本 ジャスミン(非)	水3	共 B21		
AP63110027		27	1	竹内 ひとみ(非)	水3	共 C32		
AP63110028		28	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	水3	共 E43		
AP63110029		29	1	クラビオト グラシエラ(非)	水3	共 A34	①工(社土)	
AP63110030		30	1	滝波 稚子	金3	共 A32		
AP63110031		31	1	大谷 ショーン(非)	金3	共 A31		
AP63110032		32	1	小林 昌博	金3	共 B21		
AP63110033		33	1	戸野 康恵(非)	金3	共 C22	①工(化バ)	
AP63110034		34	1	ジアディーニ マーク(非)	水4	共 A31		
AP63110035		35	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	水4	共 E43		
AP63110036		36	1	クラビオト グラシエラ(非)	水4	共 A34		
AP63110037		37	1	谷本 ジャスミン(非)	水4	共 B21	①医(保)	
AP63110038		38	1	ジアディーニ マーク(非)	水1	共 A31		
AP63110039		39	1	谷本 ジャスミン(非)	水1	共 B21		
AP63110040		40	1	クラビオト グラシエラ(非)	水1	共 A34		
AP63110041		41	1	大谷 ショーン(非)	水1	共 A32		
AP63110042		42	1	ハリス クリストファー	水1	共 D43		

AP63120061	コミュニケーション 英語B	61	1	クラビオト グラシエラ(非)	火4	共 A31	①地	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	
AP63120062		62	1	谷本 ジャスミン(非)	火4	共 B21			
AP63120063		63	1	和田 綾子	木4	共 C22			①地
AP63120064		64	1	福安 勝則(非)	木4	共 D31			
AP63120065		65	1	和田 綾子	金1	共 C22			①農(A)
AP63120066		66	1	重松 恵梨	金1	共 D42			
AP63120067		67	1	クラビオト グラシエラ(非)	木3	共 C51			①農(A)
AP63120068		68	1	谷本 ジャスミン(非)	木3	共 E41			
AP63120069		69	1	重松 恵梨	水1	共 C22			①農(JV)
AP63120070		70	1	大谷 ショーン(非)	水3	共 D33			①工(機物)
AP63120071		71	1	ハリス クリストファー	水3	共 D43			
AP63120072		72	1	和田 綾子	火1	共 C21			①工(電情)
AP63120073		73	1	重松 恵梨	火1	共 D42			
AP63120074		74	1	ジアディーニ マーク(非)	金3	共 D31			①工(化バ)
AP63120075		75	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	金3	共 E43			
AP63120076		76	1	大谷 ショーン(非)	水4	共 D33			①工(社土)
AP63120077		77	1	竹内 ひとみ(非)	水4	共 C32			
AP63120078		78	1	重松 恵梨	月1	共 C22			①医(命)
AP63120079		79	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	金4	共 E43			①医(保)
AP63120080		80	1	福安 勝則(非)	金4	共 D31			
AP63140001	実践英語A	01	1	大谷 ショーン(非)	火4	共 A32	①地	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	
AP63140002		02	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	火4	共 E43			
AP63140003		03	1	小林 昌博	火4	共 D33			①農(A, JV)
AP63140004		04	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木4	共 E43			
AP63140005		05	1	クラビオト グラシエラ(非)	木4	共 A32			①農(A, JV)
AP63140006		06	1	大谷 ショーン(非)	木4	共 B21			
AP63140007		07	1	谷本 ジャスミン(非)	火3	共 E32			①農(A, JV)
AP63140008		08	1	小林 昌博	と金1	共 D33			
AP63140009		09	1	滝波 稚子	第3Q	共 B21			①農(A, JV)
AP63140010		10	1	ハリス クリストファー	火3	共 D43			
AP63140011		11	1	小林 昌博	と金1	共 D33			①農(A, JV)
AP63140012		12	1	滝波 稚子	第4Q	共 B21			
AP63140013		13	1	ジアディーニ マーク(非)	金1	共 D31			①医(検)
AP63140014		14	1	ムラー マイケル	金1	共 A32			①医(命)
AP63140015		15	1	竹内 ひとみ(非)	火1	共 B31			①工(機物、電情)
AP63140016		16	1	谷本 ジャスミン(非)	火1	共 E32			
AP63140017		17	1	ハリス クリストファー	火1	共 C32			①工(機物、電情)
AP63140018		18	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	水3	共 E43			
AP63140019		19	1	谷本 ジャスミン(非)	水3	共 B21			
AP63140020		20	1	クラビオト グラシエラ(非)	水3	共 A32			

AP63140021	実践英語 A	21	1	谷本 ジャスミン(非)	水4	共 B 2 1	①工 (化バ、社土)	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63140022		22	1	大谷 ショーン(非)	水4	共 A 3 1		
AP63140023		23	1	クラビオト グラシエラ(非)	水4	共 A 3 2		
AP63140024		24	1	滝波 稚子	金3	共 B 2 1		
AP63140025		25	1	戸野 康恵(非)	金3	共 B 3 1		
AP63140026		26	1	ジアディー ン マーク(非)	金3	共 D 3 1		
AP63140027		27	1	大谷 ショーン(非)	火5	共 A 3 2		
AP63140028		28	1	ベラスコ イバン(非)	火5	共 A 3 1		
AP63150031	実践英語 B	31	1	クラビオト グラシエラ(非)	火4	共 B 2 1	①地	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63150032		32	1	ベラスコ イバン(非)	火4	共 A 3 1		
AP63150033		33	1	竹内 ひとみ(非)	火4	共 C 2 2		
AP63150034		34	1	ジアディー ン マーク(非)	木4	共 D 3 1		
AP63150035		35	1	ハリス クリストファー	木4	共 C 3 2		
AP63150036		36	1	重松 恵梨	木4	共 C 2 2		
AP63150037		37	1	谷本 ジャスミン(非)	火3	共 E 3 2		
AP63150038		38	1	重松 恵梨	と 金1	共 C 2 2		
AP63150039		39	1	福安 勝則(非)	第4Q	共 B 3 1		
AP63150040		40	1	ハリス クリストファー	火3	共 D 4 3		
AP63150041		41	1	重松 恵梨	と 金1	共 C 2 2		
AP63150042		42	1	福安 勝則(非)	第3Q	共 B 3 1		
AP63150043		43	1	重松 恵梨	火1	共 C 2 2		
AP63150044		44	1	和田 綾子	火1	共 B 2 1		
AP63150045		45	1	ベゴール バッティーナ(非)	火1	共 D 2 1		
AP63150046		46	1	ジアディー ン マーク(非)	水3	共 D 3 1		
AP63150047		47	1	和田 綾子	水3	共 C 3 2		
AP63150048		48	1	大谷 ショーン(非)	水3	共 A 3 1		
AP63150049		49	1	ジアディー ン マーク(非)	水4	共 D 3 1		
AP63150050		50	1	和田 綾子	水4	共 C 3 2		
AP63150051		51	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	水4	共 E 4 3		
AP63150052		52	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	金3	共 E 4 3		
AP63150053		53	1	ムラー マイケル	金3	共 A 3 2		
AP63150054		54	1	大谷 ショーン(非)	金3	共 A 3 1		
AP63150055		55	1	重松 恵梨	月1	共 A 3 2		
AP63150056		56	1	大谷 ショーン(非)	水1	共 A 3 1		
AP63150057		57	1	クラビオト グラシエラ(非)	水1	共 A 3 2		
AP63150058		58	1	ジアディー ン マーク(非)	水1	共 D 3 1		
AP63160001	総合英語 I	01	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	月1	共 E 4 3	②地	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63160002		02	1	竹内 ひとみ(非)	月1	共 B 2 1		
AP63160003		03	1	ゼノス トレメイン(非)	月1	共 B 3 1		
AP63160004		04	1	小林 昌博	月1	共 A 3 2		
AP63160005		05	1	中 朋美	月1	共 A 3 1		
AP63160006		06	1	谷本 ジャスミン(非)	木2	共 E 4 1		
AP63160007		07	1	大谷 ショーン(非)	木2	共 A 3 1		
AP63160008		08	1	ベラスコ イバン(非)	木2	共 B 2 1		
AP63160009		09	1	和田 綾子	木2	共 C 2 2		
AP63160010		10	1	中尾 雅之	木2	共 C 5 1		
AP63160011		11	1	ハリス クリストファー	木2	共 E 4 3		
								②農

AP63160012		12	1	竹内 ひとみ(非)	月2	共 B 2 1		
AP63160013		13	1	小林 昌博	月2	共 A 3 2		
AP63160014		14	1	中 朋美	月2	共 A 3 1		
AP63160015		15	1	大谷 ショーン(非)	金4	共 A 3 1	②工 (機物、電情)	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63160016		16	1	重松 恵梨	金4	共 A 3 2		
AP63160017		17	1	小林 昌博	金4	共 B 2 1		
AP63160018	総合英語 I	18	1	谷本 ジャスミン(非)	木1	共 E 4 1		
AP63160019		19	1	中尾 雅之	木1	共 C 5 1		
AP63160020		20	1	杉村 藍	木1	共 C 3 2	②工 (化バ、社土)	
AP63160021		21	1	ハリス クリストファー	金2	共 B 3 1		
AP63160022		22	1	和田 綾子	金2	共 C 2 2		
AP63160023		23	1	ムラー マイケル	木4	共 A 3 4	②全学部	受講希望者は、教育支援課で申込みください。
AP63170001		01	1	滝波 稚子	月1	共 B 3 1		学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63170002		02	1	竹内 ひとみ(非)	月1	共 C 2 2		
AP63170003		03	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	月1	共 E 4 3	②地	
AP63170004		04	1	小林 昌博	月1	共 C 3 2		
AP63170005		05	1	中 朋美	月1	共 A 3 1		
AP63170006		06	1	谷本 ジャスミン(非)	木2	共 A 3 1		
AP63170007		07	1	大谷 ショーン(非)	木2	共 B 2 1		
AP63170008		08	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木2	共 E 4 3	②農	
AP63170009		09	1	杉村 藍	木2	共 A 3 2		
AP63170010		10	1	中尾 雅之	木2	共 D 4 2		
AP63170011		11	1	ゼノス トレメイン(非)	木2	共 C 2 2		
AP63170012	総合英語 II	12	1	竹内 ひとみ(非)	月2	共 C 2 2		
AP63170013		13	1	和田 綾子	月2	共 B 2 1		
AP63170014		14	1	中 朋美	月2	共 A 3 1		
AP63170015		15	1	大谷 ショーン(非)	金4	共 A 3 1	②工 (機物、電情)	
AP63170016		16	1	重松 恵梨	金4	共 A 3 2		
AP63170017		17	1	竹内 ひとみ(非)	金4	共 C 2 2		
AP63170018		18	1	谷本 ジャスミン(非)	木1	共 A 3 1		
AP63170019		19	1	中尾 雅之	木1	共 D 4 2		
AP63170020		20	1	ゼノス トレメイン(非)	木1	共 C 2 2	②工 (化バ、社土)	
AP63170021		21	1	小林 昌博	金2	共 D 3 3		
AP63170022		22	1	ハリス クリストファー	金2	共 D 4 3		
AP63170023		23	1	ハリス クリストファー	月4	共 A 3 4	②全学部	
AP63200031		31	1	滝波 稚子	月2	共 B 3 1		学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63200032		32	1	ベラスコ イバン(非)	月2	共 C 3 2		
AP63200033	総合英語 III	33	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	月2	共 E 4 3	②工 (機物、電情)	
AP63200034		34	1	ベゴール バッティーナ(非)	金4	共 D 2 1		
AP63200035		35	1	戸野 康恵(非)	金4	共 C 2 2		
AP63200036		36	1	ベラスコ イバン(非)	金4	共 C 3 2		

AP63200037		37	1	滝波 稚子	金2	共 A32		
AP63200038		38	1	ジアディー ン マーク(非)	金2	共 D31		
AP63200039	総合英語Ⅲ	39	1	ベラスコ イバン(非)	金2	共 C32	②工(化バ、社土)	
AP63200040		40	1	大谷 ショーン(非)	木1	共 A31		
AP63200041		41	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木1	共 E43		
AP63210031		31	1	滝波 稚子	月2	共 B31		
AP63210032		32	1	小林 昌博	月2	共 C32		
AP63210033		33	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	月2	共 E43	②工(機物、電情)	
AP63210034		34	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	金4	共 E43		
AP63210035		35	1	戸野 康恵(非)	金4	共 B31		
AP63210036	総合英語Ⅳ	36	1	ベラスコ イバン(非)	金4	共 C32		
AP63210037		37	1	滝波 稚子	金2	共 B21		
AP63210038		38	1	ジアディー ン マーク(非)	金2	共 D31		
AP63210039		39	1	ベラスコ イバン(非)	金2	共 C32	②工(化バ、社土)	
AP63210040		40	1	大谷 ショーン(非)	木1	共 B21		
AP63210041		41	1	フェルナンデス クリスティアン(非)	木1	共 E43		
AP63240000	英語上級A		1	ムラー マイケル	木4	共 A34	③全学部	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。
AP63250000	英語上級B		1	ハリス クリストファー	月4	共 A34	③全学部	
AP63260000	英語上級C		1		月4	共 A34	③全学部	令和6年度不開講
AP63270000	英語上級D		1		月4	共 A34	③全学部	

外国語科目〔ドイツ語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP70030001	ドイツ語基礎Ⅰ	01	1	廣瀬 ゆう子 (非)	月4	共 B31	①地	
AP70030002		02	1	小倉 知子 (非)	火4	共 D31	①医 (命、保)	
AP70030003		03	1	廣瀬 ゆう子 (非)	火4	共 B31		
AP70030004		04	1	廣瀬 ゆう子 (非)	月3	共 B31	①農	
AP70030005		05	1	山城 裕子 (非)	月3	共 E41		
AP70030006		06	1	小倉 知子 (非)	木2	共 D31	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP70030007		07	1	山城 裕子 (非)	木2	共 D41		
AP70030008		08	1	山城 裕子 (非)	木3	共 D41	①工 (機物)	
AP70040001	ドイツ語基礎Ⅱ	01	1	廣瀬 ゆう子 (非)	月4	共 B31	①地	
AP70040002		02	1	小倉 知子 (非)	火4	共 D31	①医 (命、保)	
AP70040003		03	1	廣瀬 ゆう子 (非)	火4	共 B31		
AP70040004		04	1	廣瀬 ゆう子 (非)	月3	共 B31	①農	
AP70040005		05	1	山城 裕子 (非)	月3	共 E41		
AP70040006		06	1	小倉 知子 (非)	木2	共 D31	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP70040007		07	1	山城 裕子 (非)	木2	共 D41		
AP70040008		08	1	山城 裕子 (非)	木3	共 D41	①工 (機物)	
AP70530000	ドイツ語応用Ⅰ	1		山城 裕子 (非)	月4	共 E41	②全学部	1年次でドイツ語基礎 Ⅰ・Ⅱを履修したクラス
AP70540000	ドイツ語応用Ⅱ	1		山城 裕子 (非)	月4	共 E41	②全学部	
AP70550000	ドイツ語応用Ⅲ	1					③全学部	令和6年度不開講
AP70560000	ドイツ語応用Ⅳ	1					③全学部	

外国語科目〔フランス語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP72030001	フランス語基礎Ⅰ	01	1	バルディ デイビット(非)	月3	共 D32	①農	
AP72030002		02	1	清水 まさ志	月4	共 D22	①地	
AP72030003		03	1	清水 まさ志	火4	共 D22	①医 (命、保)	
AP72030004		04	1	バルディ デイビット(非)	木2	共 D22	①工 (電情、化バ、社土)	
AP72030005		05	1	バルディ デイビット(非)	木3	共 D22	①工 (機物)	
AP72040001	フランス語基礎Ⅱ	01	1	バルディ デイビット(非)	月3	共 D32	①農	
AP72040002		02	1	清水 まさ志	月4	共 D22	①地	
AP72040003		03	1	清水 まさ志	火4	共 D22	①医 (命、保)	
AP72040004		04	1	バルディ デイビット(非)	木2	共 D32	①工 (電情、化バ、社土)	
AP72040005		05	1	バルディ デイビット(非)	木3	共 D32	①工 (機物)	
AP72530000	フランス語応用Ⅰ	1		バルディ デイビット(非)	月4	共 D32	②全学部	1年次でフランス語基礎 Ⅰ・Ⅱを履修したクラス
AP72540000	フランス語応用Ⅱ	1		バルディ デイビット(非)	月4	共 D32	②全学部	
AP72550000	フランス語応用Ⅲ	1					③全学部	令和6年度不開講
AP72560000	フランス語応用Ⅳ	1					③全学部	

外国語科目〔中国語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP74030001	中国語基礎Ⅰ	01	1	廖 汝幸 (非)	月4	共 B 2 1		
AP74030002		02	1	川口 斐斐 (非)	月4	共 D 2 1	①地	
AP74030003		03	1	遠藤 百合 (非)	月4	共 A 3 3		
AP74030004		04	1	崎原 麗霞	火4	共 C 3 2	①医 (命、保)	
AP74030005		05	1	廖 汝幸 (非)	木2	共 D 3 3		
AP74030006		06	1	川口 斐斐 (非)	木2	共 D 2 1	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP74030007		07	1	崎原 麗霞	木2	共 C 3 2		
AP74030008		08	1	遠藤 百合 (非)	木2	共 A 3 3		
AP74030009		09	1	崎原 麗霞	木3	共 C 3 2	①工 (機物)	
AP74030010		10	1	川口 斐斐 (非)	木3	共 D 2 1		
AP74030011		11	1	要木 佳美 (非)	月3	共 D 3 3	①農	
AP74030012		12	1	廖 汝幸 (非)	月3	共 B 2 1		
AP74040001	中国語基礎Ⅱ	01	1	廖 汝幸 (非)	月4	共 B 2 1		
AP74040002		02	1	川口 斐斐 (非)	月4	共 D 2 1	①地	
AP74040003		03	1	遠藤 百合 (非)	月4	共 A 3 3		
AP74040004		04	1	崎原 麗霞	火4	共 C 3 2	①医 (命、保)	
AP74040005		05	1	廖 汝幸 (非)	木2	共 D 3 3		
AP74040006		06	1	川口 斐斐 (非)	木2	共 D 2 1	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP74040007		07	1	崎原 麗霞	木2	共 C 3 2		
AP74040008		08	1	遠藤 百合 (非)	木2	共 A 3 3		
AP74040009		09	1	崎原 麗霞	木3	共 C 3 2	①工 (機物)	
AP74040010		10	1	川口 斐斐 (非)	木3	共 D 2 1		
AP74040011		11	1	要木 佳美 (非)	月3	共 D 3 3	①農	
AP74040012		12	1	廖 汝幸 (非)	月3	共 B 2 1		
AP74530001	中国語応用Ⅰ	01	1	崎原 麗霞	月4	共 E 5 3	②地	地域学部 of 学生は、学務 支援システムの「履修登 録・登録状況照会」画面 に履修するクラスを指定 します。 1年次で中国語基礎Ⅰ・ Ⅱを履修したクラス
AP74530002		02	1	要木 佳美 (非)	月4	共 D 3 3		
AP74530003		03	1	崎原 麗霞	月3	共 E 5 3	②工、農	
AP74540001	中国語応用Ⅱ	01	1	崎原 麗霞	月4	共 D 4 3	②地	
AP74540002		02	1	要木 佳美 (非)	月4	共 D 3 3		
AP74540003		03	1	崎原 麗霞	月3	共 D 4 3	②工、農	
AP74550000	中国語応用Ⅲ		1	崎原 麗霞	火5	共 C 3 2	③全学部	中国語応用Ⅰ・Ⅱを履修 したクラス
AP74560000	中国語応用Ⅳ		1	崎原 麗霞	火5	共 C 3 2	③全学部	

外国語科目〔韓国語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP75050001	韓国語基礎Ⅰ	01	1	大谷 博美 (非)	月4	共 C 2 2	①地	
AP75050002		02	1	賈 恵京 (非)	火4	共 E 3 2	①医 (命、保)	
AP75050003		03	1	賈 恵京 (非)	木2	共 E 3 2	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP75050004		04	1	大谷 博美 (非)	木2	共 B 3 1		
AP75050005		05	1	大谷 博美 (非)	木3	共 B 3 1	①工 (機物)	
AP75050006		06	1	鄭 然旭 (非)	月3	共 A 3 2	①農	
AP75060001	韓国語基礎Ⅱ	01	1	大谷 博美 (非)	月4	共 C 2 2	①地	
AP75060002		02	1	賈 恵京 (非)	火4	共 E 3 2	①医 (命、保)	
AP75060003		03	1	賈 恵京 (非)	木2	共 E 3 2	①工 (電情、 化バ、社土)	
AP75060004		04	1	大谷 博美 (非)	木2	共 B 3 1		
AP75060005		05	1	大谷 博美 (非)	木3	共 B 3 1	①工 (機物)	
AP75060006		06	1	鄭 然旭 (非)	月3	共 A 3 2	①農	
AP75550001	韓国語応用Ⅰ	01	1	鄭 然旭 (非)	月4	共 A 3 2	②全学部	地域学部の学生は、学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定します。 1年次で韓国語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したクラス
AP75550002		02	1	賈 恵京 (非)	月4	共 E 3 2		
AP75560001	韓国語応用Ⅱ	01	1	鄭 然旭 (非)	月4	共 A 3 2	②全学部	
AP75560002		02	1	賈 恵京 (非)	月4	共 E 3 2		
AP75570000	韓国語応用Ⅲ		1				③全学部	令和6年度不開講
AP75580000	韓国語応用Ⅳ		1				③全学部	

外国語科目〔スペイン語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP76030001	スペイン語基礎Ⅰ	01	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	月3	共 E 4 3	①農	
AP76030002		02	1	箕輪 茂	月3	共 A 3 1		
AP76030003		03	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	木3	共 A 3 2	①地、工 (機物)	
AP76030004		04	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	木2	共 A 3 2	①工(電情、化バ、社土)	
AP76040001	スペイン語基礎Ⅱ	01	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	月3	共 E 4 3	①農	
AP76040002		02	1	箕輪 茂	月3	共 A 3 1		
AP76040003		03	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	木3	共 C 5 1	①地、工 (機物)	
AP76040004		04	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	木2	共 C 5 1	①工(電情、化バ、社土)	
AP76530000	スペイン語応用Ⅰ		1	箕輪 茂	月4	共 A 3 1	②全学部	1年次でスペイン語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したクラス
AP76540000	スペイン語応用Ⅱ		1	箕輪 茂	月4	共 A 3 1	②全学部	
AP76550000	スペイン語応用Ⅲ		1	箕輪 茂	月5	共 A 3 1	③全学部	スペイン語応用Ⅰ・Ⅱを履修したクラス
AP76560000	スペイン語応用Ⅳ		1	箕輪 茂	月5	共 A 3 1	③全学部	

外国語科目〔ロシア語〕

時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP77030001	ロシア語基礎Ⅰ	01	1	福安 佳子 (非)	月3	共 A 3 3	①農 (A)	
AP77040001	ロシア語基礎Ⅱ	01	1	福安 佳子 (非)	月3	共 A 3 3	①農 (A)	

健康スポーツ科目

【1年生枠】

時間割 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	種 目	場 所	指定クラス
		前	後					
AP20010001	健康スポーツ 科学実技 (前期)	01	1	瀬戸 邦弘	火4	ソフトボール	野球場	①農
AP20010002		02	1	西村 正広	火4	テニス	テニスコート	
AP20010003		03	1	澤 晶子(非)	火4	エアロ&フィットネス	トレーニングルーム	
AP20010004		04	1	斎藤 辰哉	水4	バスケットボール	第2体育館	①工 (機物、電情)
AP20010005		05	1	瀬戸 邦弘	水4	ソフトボール	野球場	
AP20010006		06	1	高田 貴志(非)	水4	サッカー	サッカー場	
AP20010007		07	1	瀬戸 邦弘	木2	ソフトボール	野球場	①地、医(命)、 医(検)
AP20010008		08	1	村田 めぐみ(非)	木2	テニス	テニスコート	
AP20010009		09	1	高田 貴志(非)	木2	サッカー(男子対象)	サッカー場	
AP20010010		10	1	西村 正広	木4	テニス	テニスコート	①医(看)
AP20010011		11	1	瀬戸 邦弘	木4	バドミントン	第1体育館	①工 (化バ、社土)
AP20010012		12	1	瀬戸 邦弘	金4	ソフトボール	野球場	
AP20010013		13	1	村田 めぐみ(非)	金4	バスケットボール	第2体育館	
AP20010014		14	1	高田 貴志(非)	金4	サッカー	サッカー場	
AP20020021	健康スポーツ 科学実技 (後期)	21	1	斎藤 辰哉	火4	バスケットボール	第2体育館	①農
AP20020022		22	1	西村 正広	火4	バドミントン	第1体育館	①工 (機物、電情)
AP20020023		23	1	西村 正広	水4	バレーボール	第2体育館	
AP20020024		24	1	瀬戸 邦弘	水4	バドミントン	第1体育館	①地、医(命)、 医(検)
AP20020025		25	1	高田 貴志(非)	木2	フットサル(女子限定)	第2体育館	
AP20020026		26	1	山本 正人(非)	木2	バドミントン	第1体育館	
AP20020027		27	1	澤 晶子(非)	木2	エアロ&フィットネス	トレーニングルーム	①工 (化バ、社土)
AP20020028		28	1	西村 正広	金4	バレーボール	第2体育館	
AP20020029		29	1	瀬戸 邦弘	金4	バドミントン	第1体育館	

【全学生自由選択枠】

時間割 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	種 目	場 所	指定クラス
		前	後					
AP20370033	健康スポーツ 科学実技 (前期)	33	1	澤 晶子(非)	火2	筋力トレーニング	トレーニングルーム	全学部
AP20330034		34	1	瀬戸 邦弘	金2	バドミントン	第一体育館	全学部
AP20730052		52	1	瀬戸 邦弘	集中	アクアスポーツ2	湖山池	
AP20770053		53	1	近藤 剛(非) 西村 正広 斎藤 辰哉	集中	野外キャンプ	大山隠岐国立公園	
AP20790054		54	1	斎藤 辰哉	集中	テニス(初・中級)	テニスコート	
AP20800055		55	1	瀬戸 邦弘	集中	ゴルフ	鳥取カントリー倶楽部他	
AP20300041	健康スポーツ 科学実技 (後期)	41	1	西村 正広	水3	バレーボール	第2体育館	全学部
AP20350042		42	1	木野 彩子	火4	ダンス	トレーニングルーム	
AP20310043		43	1	山本 正人(非)	金2	バドミントン	第1体育館	
AP20360044		44	1	斎藤 辰哉	火2	バスケットボール	第2体育館	全学部 定員25名程度
AP20810053		53	1	斎藤 辰哉	集中	テニス(初・中級)	テニスコート	
AP20740054		54	1	斎藤 辰哉 西村 正広 瀬戸 邦弘	集中	スキー1(初級)	大山ホワイトリゾート	
AP20780055		55	1	斎藤 辰哉 西村 正広	集中	スキー2 (中・上級)	大山ホワイトリゾート	
AP25010001	地域スポーツ 支援プログラム (前期)	01	1	西村 正広	集中	ライフセービングの 基礎	プール	全学部 定員20名程度
AP25050002		02	1	山崎 英治(非) 西村 正広	集中	アクアスポーツ1	講義室 鳥大プール 岩美町海岸	全学部 定員15名程度

日本語・日本事情に関する科目

時間割コード	授業科目	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備 考
		前	後					
AN20410000	日本語実践Ⅰ	1		御館 久里恵	月4	共 C41	外国人留学生対象	
AN20420000	日本語実践Ⅱ		1	御館 久里恵	月4	共 C41	外国人留学生対象	
AN20470000	日本語の表現技法Ⅰ	1		片桐 準二	水4	共 C41	外国人留学生対象	
AN20480000	日本語の表現技法Ⅱ		1	片桐 準二	水4	共 C41	外国人留学生対象	
AN20490000	学部留学生のための日本語Ⅰ	1		片桐 準二	木3	共 B32	外国人留学生対象	正規学生限定
AN20500000	学部留学生のための日本語Ⅱ		1	片桐 準二	木3	共 B32	外国人留学生対象	正規学生限定
AN30410000	日本文化事情Ⅰ	2		チャン ジェン チェオン	水5	共 C41	外国人留学生対象	
AN30420000	日本文化事情Ⅱ		2	チャン ジェン チェオン	水5	共 C41	外国人留学生対象	
AN30430000	日本社会事情Ⅰ	2		蕪木 絵実	月3	共 C41	外国人留学生対象	
AN30440000	日本社会事情Ⅱ		2	蕪木 絵実	月3	共 C41	外国人留学生対象	

海外実践教育に関する科目

時間割コード	授業科目	単位数	備 考
メキシコ海外実践教育プログラム			
AP68020000	海外語学学修A (UABCS実践英会話)	1	
AP76830000	海外語学学修A (UABCS実践スペイン語会話)	1	
AK50100000	海外実践学修A (持続可能な社会)	1	
AK50110000	海外実践学修A (技術開発・イノベーション)	1	
春期台湾英語・異文化研修			
AP68030000	海外語学学修A (台湾銘傳大学英语研修)	1	
ウガンダ海外実践教育プログラム			
AK00160000	海外実践学修A (ウガンダ マケレレ大学海外実践教育プログラム)	1	

*UABCSはメキシコ南バハカリフォルニア自治大学 (Universidad Autonoma de Baja California Sur) の意味

3. グローバル教育基礎科目群

グローバル教育基礎科目群は、教養教育の中で学生が基本的な国際通用性を身に付けることを目的として、全学年を対象として開設されています。

具体的には、主題科目「世界と地域」を中心とする全学共通科目を履修することにより、海外への意識やチャレンジ精神を養成しながら、日本と世界の歴史・文化、政治・経済、自然・生態等に関する様々な基礎知識を修得するとともに、外国語の運用能力はもとよりプレゼンテーション能力・ディベート能力など様々な情報の受信・発信技能を修得します。

グローバル教育基礎科目群の各授業科目は、本学のグローバル教育プログラムで育成を目指している下記の3つの能力（グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力）養成に対応しています。

修得すべき具体的能力		指 標
A. グローバル人間力	実践力を重視した国際通用性のある人間力とタフで健全な心身を備え、世界的視野で何事にも挑戦し、最後まで諦めることなくやり遂げる能力	ア. 自己開発・強化力 イ. 自己管理能力 ウ. 課題発見・解決力
B. グローバルリテラシー	異文化、多文化社会への理解と柔軟な対応力を有し、日本文化、日本社会に対する十分な理解力とそれらを広く世界に発信できる能力	ア. 日本発信力 イ. 地球的課題理解力 ウ. 異文化理解・受容力
C. グローバルコミュニケーション力	グローバル社会での国際業務の遂行に必要な英語を中心とした語学力と専門的な知識と技術及び自己表現と意思伝達手段としての高いコミュニケーション能力	ア. 英語通用力 イ. トリリンガル能力 ウ. プレゼンテーション能力 エ. ディベート能力 オ. チーム形成能力

在学中に海外渡航を予定している学生は、渡航前に「海外安全マネジメントⅠ」と「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」を履修することを強く勧めます。

また、本学が企画・募集を行う海外派遣プログラムでは、プログラムの一環として、原則「海外安全マネジメントⅠ」の履修を課しています。各プログラムの参加条件を必ず確認するようにしてください。

修得すべき具体的能力及び指標		授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分		
グローバル教育基礎科目群	A グローバル人間力	A-ア, イ, ウ	海外安全マネジメントⅠ・Ⅱ	竹田 洋志	主題科目 世界と地域	
		A-ア.ウ	哲学・倫理学	田鍋 良臣	基幹科目 人文・社会分野	
		A-ア.イ,ウ	心理学	田中 大介 他	基幹科目 人文・社会分野	
		A-ア.イ,ウ	社会心理学	石本 雄真	基幹科目 人文・社会分野	
		A-ア.ウ	問題分析・計画立案入門	桐山 聡	主題科目 人間と科学	
		A-イ	健康科学と応急手当	西村 正広	主題科目 健康と生命	
		A-イ	健康と疾病	深田 美香 他	主題科目 健康と生命	
		A-ア.イ,ウ B-ウ	日本人と宗教	田鍋 良臣	基幹科目 人文・社会分野	
		A-ア.イ,ウ B-ア	政治学	塩沢 健一 他	基幹科目 人文・社会分野	
		A-ウ B-ア.イ	地球科学（新しい地球観の基礎）	塩崎 一郎 他	基幹科目 自然分野	
		A-ウ B-イ	科学リテラシー	森川 修、北 実	主題科目 人間と科学	
		A-ウ B-イ	メディア論	永松 利文	主題科目 人間と文化	
		B グローバルリテラシー	B-イ, ウ	国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ	ケイツ アレクサンダー（非）	主題科目 世界と地域
			B-イ	乾燥地の農業と緑化	藤巻 晴行 他	主題科目 人間と環境
	B-ウ		世界のスポーツ・健康文化論	瀬戸 邦弘	主題科目 健康と生命	
	B-ウ		芸術入門	佐々木 友輔 他	基幹科目 人文・社会分野	
	B-ウ		文学	米田 真理子 他	基幹科目 人文・社会分野	
	B-ア		憲法学	佐藤 匡	基幹科目 人文・社会分野	
	B-ア.イ		経済学	万 里 他	基幹科目 人文・社会分野	
	B-ア.イ		経営システム論	馬場 芳	基幹科目 人文・社会分野	
	B-ア		歴史学	武田 元有 他	基幹科目 人文・社会分野	
	B-イ,ウ		西洋政治史Ⅰ・Ⅱ	武田 元有	基幹科目 人文・社会分野	
	B-イ,ウ		20世紀史Ⅰ・Ⅱ（R6不開講）	武田 元有	主題科目 人間と文化	

修得すべき具体的能力及び指標		授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分	
B グローバル リテラシー	C グローバル コミュニ ケーション 力	B-イ C-ア,エ	人と環境 in English	Ayele Almw Fenta	主題科目 人間と環境
		B-イ C-ア,エ	水と環境 in English	Nigusie Haregeweyn Ayehu 他	主題科目 人間と環境
		B-イ C-ア,エ	植物と環境 in English	未定	主題科目 人間と環境
		B-ア,イ,ウ C-ア,ウ,エ,オ	グローバルイシュー (地球規模課題)	蕪木 絵実 他	主題科目 世界と地域
		B-イ,ウ C-ア,ウ,エ,オ	メキシコ事情	箕輪 茂	主題科目 世界と地域
		B-イ,ウ C-ア,ウ,エ,オ	マレー世界と東南アジアにおける文化の多様性	チャン チェオン ジェン	主題科目 世界と地域
		B-イ,ウ C-ア,ウ,エ,オ	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情	箕輪 茂	主題科目 世界と地域
		B-ア,イ,ウ C-ア,ウ,エ,オ	世界の中の日本: Japanese society and culture	チャン チェオン ジェン、 蕪木 絵実	主題科目 世界と地域
		B-ウ C-ア,ウ,オ	コミュニケーション英語A	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-ア	コミュニケーション英語B	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-ア,ウ	実践英語A, B	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-ア,ウ	総合英語I, II	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-ア,ウ	総合英語III, IV	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-ア,ウ	英語上級A, B, C, D (隔年開講)	英語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	ドイツ語基礎I, II	ドイツ語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	ドイツ語応用I, II	ドイツ語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	ドイツ語応用III, IV (R6不開講)	ドイツ語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	フランス語基礎I, II	フランス語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	フランス語応用I, II	フランス語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	フランス語応用III, IV (R6不開講)	フランス語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	中国語基礎I, II	中国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	中国語応用I, II	中国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	中国語応用III, IV	中国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	韓国語基礎I, II	韓国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	韓国語応用I, II	韓国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	韓国語応用III, IV (R6不開講)	韓国語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	スペイン語基礎I, II	スペイン語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	スペイン語応用I, II	スペイン語教員	外国語科目
		B-ウ C-イ,ウ	スペイン語応用III, IV	スペイン語教員	外国語科目

<参考> 次の全学プログラムに参加する場合は「海外安全マネジメントI」(1単位)を必ず修得しておくことが条件となります。
【海外派遣プログラム一覧】

対象学部	プログラム名	派遣国(派遣先)
全学部	夏期カナダ英語研修	カナダ (ウォータールー大学レニソン大学カレッジ)
	夏期アメリカ英語研修	アメリカ(カリフォルニア大学デービス校)
	マレーシア海外実践教育プログラム	マレーシア(プトラ大学)
	ウガンダ海外実践教育プログラム	ウガンダ(マケレレ大学他)
	メキシコ海外実践教育プログラム	メキシコ (メキシコ北西部生物学研究センター及び 南バハカリフォルニア自治大学)
	春期台湾英語・異文化研修	台湾(銘傳大学)
	マレーシアファーストステップ英語・異文化研修	マレーシア(マラヤ大学)
	春期オーストラリア英語研修	オーストラリア(アデレード大学)

*上記以外に新規のプログラムを開設する場合は、「海外安全マネジメントI」(1単位)の履修が必要かどうかは、その都度決定し周知します。
*各学部が実施する海外派遣プログラムについては、各学部へ確認してください。

4. 地域志向科目・地域創生推進科目

地域志向科目（鳥取キャンパス）

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修してください。地域志向科目は、社会の未来を切り拓こうとする人材を育成することを目標とし、具体的には、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む科目で構成されています。

【基礎科目】 地域・社会を知る	A	地域の自然を知る
	B	地域の経験・知恵を知る
	C	地域の特性・人々の営みを知る
	D	社会のしくみを知る
【臨地科目】 地域に臨む	E	地域課題や活動を知り、問題意識を共有する
	F	地域づくりの方向性を知る
	G	地域の課題を体感する
【実践科目】 課題解決に取り組む	H	課題解決のアイデアを企画立案する さまざまな人々との活動を体験する 職業人としての基礎を身につける
	I	地域と関わるものづくり実践をおこなう

区分	授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分			
基礎科目	A	地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野	
		地球科学（ジオパークと自然災害・防災の基礎）	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野	
		鳥取砂丘学	小玉 芳敬 他	主題科目	世界と地域	
	B	鳥取を知る	桐山 聡 他	主題科目	世界と地域	
		鳥取の歴史	小山 富見男（非）	主題科目	世界と地域	
	C	文学	米田 真理子 他	基幹科目	人文・社会分野	
		鳥取の海の幸を学ぶ	清水 克彦 他	主題科目	世界と地域	
		教養ゼミナール（1）「日本の名著を読む」	細井 由彦（非）	主題科目	教養ゼミナール	
	D		経済学	万 里 他	基幹科目	人文・社会分野
			経営システム論	馬場 芳	基幹科目	人文・社会分野
			歴史学	武田 元有 他	基幹科目	人文・社会分野
			憲法学	佐藤 匡	基幹科目	人文・社会分野
			政治学	塩沢 健一 他	基幹科目	人文・社会分野
			刑事法入門	渡邊 友美（非）	主題科目	人間と文化
			くらしの経済・法律講座	桐山 聡 鳥取県連携講座	主題科目	人間と文化
			資本市場の役割と証券投資	馬場 芳 野村證券関係者	主題科目	人間と文化
臨地科目	E	地域防災学	黒岩 正光 他	主題科目	世界と地域	
		社会安全政策論～鳥取県警察における多様な取組～	桐山 聡	主題科目	世界と地域	
	F	地域創生入門	石田 陽介 他	主題科目	世界と地域	
G	「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～	丸 祐一 他	主題科目	世界と地域		
実践科目	H	とっとり暮らし早期体験学習	清水 克彦 他	主題科目	世界と地域	
		アートプロジェクト	石田 陽介	主題科目	世界と地域	
		地域デザイン	石田 陽介	主題科目	世界と地域	
		就業体験学習	長尾 博暢	キャリア科目		
		地域就業論	長尾 博暢 他	キャリア科目		
		ワーク・ライフ・バランス論	長尾 博暢 他	キャリア科目		
	I	教養ゼミナール（1）「子どもの生活とものづくり」	大谷 直史	主題科目	教養ゼミナール	

地域創生推進科目（鳥取キャンパス）

この科目群は全学部生を対象として開設されるものです。地域創生推進科目は、小さなことから新たな挑戦に向かう能力を培うことを目標として、今年度は以下の科目が開講されます。地域志向科目の中で地域創生推進科目としても相応しい科目を、地域志向科目と地域創生推進科目の双方に重複して位置づけています。

授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分	
地域創生入門	石田 陽介 他	主題科目	世界と地域
起業入門	石田 陽介	主題科目	世界と地域
ビジネスプラン入門	清水 克彦、 浅野 佳春（非）	主題科目	世界と地域
経済哲学	永松 利文	基幹科目	人文・社会分野
くらしの経済・法律講座	桐山 聡 鳥取県連携講座	主題科目	人間と文化
経営システム論	馬場 芳	基幹科目	人文・社会分野
地域デザイン	石田 陽介	主題科目	世界と地域
とっとり暮らし早期体験学習	清水 克彦 他	主題科目	世界と地域
アートプロジェクト	石田 陽介	主題科目	世界と地域
起業とプロトタイピング	影山 智明	主題科目	世界と地域

5. 全学共通科目ナンバリング一覧表（鳥取地区）

<人文科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
哲学 (PHL)	基幹科目	人文・社会分野	日本人と宗教	LAPHL1002-G
			哲学・倫理学	LAPHL1004-G
			言語哲学（隔年開講）	LAPHL1003
			科学哲学（隔年開講）	LAPHL1005
倫理学 (ETH)	基幹科目	人文・社会分野	生命倫理	LAETH1000
社会思想 (THU)	基幹科目	人文・社会分野	社会思想史入門	LATHU1001
教育学 (EDU)	基幹科目	人文・社会分野	教育学概論	LAEDU1000
			教育社会学	LAEDU1001
	主題科目	人間と文化	教員の世界と教育実践	LAEDU1002
心理学 (PSY)	基幹科目	人文・社会分野	心理学	LAPSY1000-G
			社会心理学	LAPSY1001-G
	主題科目	人間と文化	発達と教育の心理学	LAPSY1050
		健康と生命	発達心理学	LAPSY1051
芸術学 (ART)	基幹科目	人文・社会分野	芸術入門	LAART1003-G
文学 (LIT)	基幹科目	人文・社会分野	文学	LALIT1004-CG
歴史学 (HIS)	基幹科目	人文・社会分野	歴史学	LAHIS1003-CG
			西洋政治史 I（隔年開講）	LAHIS1001A-G
			西洋政治史 II（隔年開講）	LAHIS1001B-G
	主題科目	人間と文化	20世紀史 I（隔年開講）	LAHIS1050A-G
		20世紀史 II（隔年開講）	LAHIS1050B-G	
言語学 (LIN)	基幹科目	人文・社会分野	日本語記号論（隔年開講）	LALIN1000
			日本語構造論（隔年開講）	LALIN1001
	主題科目	人間と文化	アメリカ手話入門	LALIN1055
社会学 (SOC)	主題科目	健康と生命	社会福祉	LASOC1050

<自然科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング	
地球科学 (EAR)	基幹科目	自然分野	地球科学（社会で活用するための基礎）	LAEAR1000	
			地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）	LAEAR1001-C	
			地球科学（天文・海洋・気象学の基礎）	LAEAR1002	
			地球科学（新しい地球観の基礎）	LAEAR1003-G	
			地球科学（ジオパークと自然災害・防災の基礎）	LAEAR1004-C	
		実験演習分野	地球科学実験演習	LAEAR1205	
物理学 (PHY)	基幹科目	自然分野	物理学入門 I	LAPHY1000	
			物理学入門 II - 基礎電磁気学-	LAPHY1001	
			基礎物理学 I	LAPHY1002A	
			基礎物理学 II	LAPHY1002B	
			力学基礎及び演習	LAPHY1303	
			基礎物理学	LAPHY1004	
		実験演習分野	物理学実験演習	LAPHY1204	
	主題科目	人間と科学	メカライフの世界	LAPHY1051	
			メタンハイドレートと海洋開発	LAPHY1006	
化学 (CHE)	基幹科目	自然分野	化学 I A / I B	LACHE1000	
			化学 II A / II B	LACHE1001	
			化学 C	LACHE1002	
			化学概論	LACHE1008	
			化学概論 II	LACHE1004B	
			基礎化学 I	LACHE1005A	
			基礎化学 II	LACHE1005B	
			実験演習分野	化学実験演習	LACHE1206
		主題科目	人間と科学	バイオテクノロジーの最前線	LACHE1050
				科学リテラシー	LACHE1051
			未来を拓く先端化学	LACHE1052	
		健康と生命	放射線科学	LACHE1054	
生物学 (BIG)	基幹科目	自然分野	生物学概論 I	LABIG1000A	
			生物学概論 II	LABIG1000B	
			生物学 I A	LABIG1001A	
			生物学 II A	LABIG1001B	
			生物学 I B	LABIG1002A	
			生物学 II B	LABIG1002B	
			実験演習分野	生物学実験演習	LABIG1203
		主題科目	人間と科学	脱炭素ワールド-ローカルからグローバルまで-	LABIG1053
				乾燥地の農業と緑化	LABIG1051-G
				分類・生態から分子まで：昆虫学入門	LABIG1052
		人間と環境	水と環境 in English	LABIG1069-G	
			植物と環境 in English	LABIG1072-G	
			人と環境 in English	LABIG1073-G	
		健康と生命	医学と生命科学	LABIG1056	
			脳の世紀-脳・心・病気-	LABIG1057	
			微生物の世界	LABIG1058	
情報科学 (INF)	入門科目		情報リテラシ	LAINF1000	
			データサイエンス入門	LAINF1003	
	基幹科目	人文・社会分野	情報倫理 A	LAINF1001	
	主題科目	人間と文化	メディア論	LAINF1050	
	主題科目	人間と科学	PCセキュリティ入門	LAINF1053	

<社会科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
法学 (LAW)	基幹科目	人文・社会分野	憲法学	LALAW1001-CG
			生命倫理と法	LALAW1003
			法律学	LALAW1008
			知的財産法	LALAW1009
	主題科目	人間と文化	刑事法入門	LLAW1005-C
			法学	LALAW1010
政治学 (POL)	基幹科目	人文・社会分野	政治学	LAPOL1000-CG
経済学 (ECN)	基幹科目	人文・社会分野	経済学	LAECN1000-CG
			経済哲学	LAECN1004-C
			くらしの経済・法律講座	LAECN1050-C
	主題科目	人間と文化	野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」	LAECN1051-C
			日本の財政、税制、税関等の現状	LAECN1052
経営学 (MAN)	基幹科目	人文・社会分野	経営システム論	LAMAN1002-CG
			商業学	LAMAN1003

<自然科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
数学 (MAT)	基幹科目	自然分野	データ科学の基礎	LAMAT1012
			線形代数入門	LAMAT1014
			解析学教程 I	LAMAT1002A
			解析学教程 II	LAMAT1002B
			解析入門 I	LAMAT1003A
			解析入門 II	LAMAT1003B
			微分積分学 I	LAMAT1004A
			微分積分学 II	LAMAT1004B
			微分積分学 I 及び演習	LAMAT1301A
			微分積分学 II 及び演習	LAMAT1301B
			線形代数 I	LAMAT1006A
			線形代数 II	LAMAT1006B
			線形代数学 I	LAMAT1013A
			線形代数学 II	LAMAT1013B
			基礎数学 I	LAMAT1009A
			基礎数学 II	LAMAT1009B
		線形代数	LAMAT1011	

<語学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
英語 (ENG)	外国語科目	英語	コミュニケーション英語 A	LAENG1100A-G
			コミュニケーション英語 B	LAENG1100B-G
			実践英語 A	LAENG1101A-G
			実践英語 A	LAENG1101A-G
			実践英語 B	LAENG1101B-G
			実践英語 B	LAENG1101B-G
			総合英語 I	LAENG2100A-G
			総合英語 II	LAENG2100B-G
			総合英語 III	LAENG2100C-G
			総合英語 IV	LAENG2100D-G
			英語上級 A	LAENG3101A-G
			英語上級 B	LAENG3101B-G
			英語上級 C	LAENG3101C-G
		英語上級 D	LAENG3101D-G	

< 語学 >

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
ドイツ語 (GER)	外国語科目	ドイツ語	ドイツ語基礎 I	LAGER1100A-G
			ドイツ語基礎 II	LAGER1100B-G
			ドイツ語応用 I	LAGER2100A-G
			ドイツ語応用 II	LAGER2100B-G
			ドイツ語応用 III	LAGER3100A-G
フランス語 (FRA)	外国語科目	フランス語	フランス語基礎 I	LAFRA1100A-G
			フランス語基礎 II	LAFRA1100B-G
			フランス語応用 I	LAFRA2100A-G
			フランス語応用 II	LAFRA2100B-G
			フランス語応用 III	LAFRA3100A-G
中国語 (CHN)	外国語科目	中国語	中国語基礎 I	LACHN1100A-G
			中国語基礎 II	LACHN1100B-G
			中国語応用 I	LACHN2100A-G
			中国語応用 II	LACHN2100B-G
			中国語応用 III	LACHN3100A-G
韓国語 (KOR)	外国語科目	韓国語	韓国語基礎 I	LAKOR1100A-G
			韓国語基礎 II	LAKOR1100B-G
			韓国語応用 I	LAKOR2100A-G
			韓国語応用 II	LAKOR2100B-G
			韓国語応用 III	LAKOR3100A-G
スペイン語 (SPA)	外国語科目	スペイン語	スペイン語基礎 I	LASPA1000A-G
			スペイン語基礎 II	LASPA1100B-G
			スペイン語応用 I	LASPA2100A-G
			スペイン語応用 II	LASPA2100B-G
			スペイン語応用 III	LASPA3100A-G
ロシア語 (RUS)	外国語科目	ロシア語	ロシア語基礎 I	LARUS1100A-G
			ロシア語基礎 II	LARUS1100B-G
日本語 (JPN)	日本語・日本事情に関する科目		日本語実践 I	LAJPN1100A
			日本語実践 II	LAJPN1100B
			日本語の表現技法 I	LAJPN1101A
			日本語の表現技法 II	LAJPN1101B
			学部留学生のための日本語 I	LAJPN1102A
			学部留学生のための日本語 II	LAJPN1102B

< 健康スポーツ >

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
健康スポーツ (HEA)	主題科目	人間と文化	現代社会とスポーツ	LAHEA1050
			健康科学と応急手当	LAHEA1051-G
		健康と生命	健康と疾病	LAHEA1052-G
			ウェルネスとシェイプアップ	LAHEA1054
			保健医療概論	LAHEA1055
			世界のスポーツ・健康文化論	LAHEA1056
			スポーツサイエンス入門	LAHEA1057
			健康スポーツ科学実技	LAHEA1100
		健康スポーツ科目	地域スポーツ支援プログラム	LAHEA1101

< 学問分野に分類できない科目 >

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
その他 (OTH)	入門科目・大学教育導入科目群		大学入門ゼミ	LAOTH1100
			大学入門ゼミ I	LAOTH1101A
			大学入門ゼミ II	LAOTH1101B
			大学教育導入演習 A	LAOTH1102A
			大学教育導入演習 B	LAOTH1102B
			教養基礎演習	LAOTH1103
			キャリア入門	LAOTH1002
			キャリア入門 I	LAOTH1003A
			キャリア入門 II	LAOTH1003B
			キャリア入門 III	LAOTH1003C
			バリアフリー支援入門	LAOTH1055
	人間と文化	アクセシビリティ研究	LAOTH1068	
	人間と科学	問題分析・計画立案入門	LAOTH1008-G	
		海外安全マネジメント	LAOTH1012-G	
	主題科目	世界と地域	海外安全マネジメント I	LAOTH1014A-G
			海外安全マネジメント II	LAOTH1014B-G
			国際理解 (グローバル・スタディーズ) I	LAOTH1013A-G
			国際理解 (グローバル・スタディーズ) II	LAOTH1013B-G
			グローバルイシュー (地球規模課題)	LAOTH1059-G
			メキシコ事情	LAOTH1015-G
			ラテンアメリカとカリブ海諸国事情	LAOTH1016-G
			世界のなかの日本: Japanese society and culture	LAOTH1061-G
			マレー世界と東南アジアにおける文化の多様性	LAOTH1065-G
			とっとり暮らし早期体験学習	LAOTH1018-C
			「長瀬」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～	LAOTH1019-C
			鳥取砂丘学	LAOTH1022-C
			鳥取の海の幸を学ぶ	LAOTH1023-C
			地域防災学	LAOTH1025-C
			社会安全政策論	LAOTH1026-C
			地方創生政策体験学習	LAOTH1027-C
			アートプロジェクト	LAOTH1066-C
			起業とプロトタイプング	LAOTH1049-C
			起業入門	LAOTH1050-C
ビジネスプラン入門	LAOTH1051-C			
地域創生入門	LAOTH1054-C			
鳥取を知る	LAOTH1058-C			
鳥取の歴史	LAOTH1062-C			
未来を拓く流儀	LAOTH1063			
地域デザイン	LAOTH1067-C			
教養ゼミナール	教養ゼミナール (1) / (2)	LAOTH1030-CG		
キャリア科目	就業体験学習	LAOTH1032-C		
	地域就業論	LAOTH1034-C		
日本語・日本事情に関する科目	ワーク・ライフ・バランス論	LAOTH1036-C		
	日本文化事情 I	LAOTH1036A		
	日本文化事情 II	LAOTH1036B		
	日本社会事情 I	LAOTH1037A		
	日本社会事情 II	LAOTH1037B		
海外実践教育科目	海外語学学修 A (UABCS実践英会話)	LAOTH1139		
	海外語学学修 A (UABCS実践スペイン語会話)	LAOTH1110		
	海外実践学修 A (持続可能な社会)	LAOTH1200		
	海外実践学修 A (技術開発・イノベーション)	LAOTH1201		
	海外語学学修 A (台湾銘傳大学英語研修)	LAOTH1145		
	海外実践学修 A (ウガンダマケレレ大学実践教育プログラム)	LAOTH1048		

Ⅱ－２． 全学共通科目教育課程表・授業時間割表（米子地区）

1. 令和6年度全学共通科目教育課程表・授業時間割表(抄)	78
2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表	80
3. 科目ナンバリング一覧表（米子地区）	82
4. 地域志向科目（米子地区）	82

全学共通科目教育課程表（医学部 医学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考									
			1年		2年			3年		4年						
			前	後	前	後		前	後	前	後					
全 学 共 通 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	0.5												
		情報リテラシ	必修	2												
		キャリア入門	必修	1												
		データサイエンス入門	必修	1												
	計				4.5								4.5単位			
	教 養 基 幹 目 科	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール		2	2	2	2								
			基礎手話言語	必修	2											
			キャリア科目													
			基 幹 目 科	人文・社会分野												
				心理学	必修				2							
				生命倫理学	必修			2								14単位以上
		自然分野														
		目 科	基礎生物学	必修	2											
			基礎物理学	必修	2											
			基礎化学	必修	2											
			基礎数学	必修	2										8単位	
			実 験 演 習 分 野	早期体験・ボランティア	必修	1										
	ヒューマンコミュニケーションⅠ			必修	2											
	ヒューマンコミュニケーションⅡ	必修					1							4単位		
	計				15	4	4	5						26単位以上		
外 国 語 科 目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1												
		コミュニケーション英語B	必修		1											
		医療英語Ⅰ	必修			1										
		医療英語Ⅱ	必修				1									
		応用英語Ⅰ	必修					1								
		応用英語Ⅱ	必修						1							
	ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ フ ラ ン ス 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ 中 国 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ ロ シ ア 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1											
		フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修													
		中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修													
		ロシア語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修													
計				2	2	1	1	1	1				8単位以上			
健康スポーツ科目		必修	1										1単位			
計				1									1単位			
修得単位数合計													39.5単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p.80～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p.21を参照すること。

令和6年度 全学共通科目授業時間割表(抄) (医学部医学科1年次)

1年前期																								
1週	1限				16週	1週	2限				16週	1週	3限				16週	1週	4限				16週	5限
	前半		後半				前半		後半				前半		後半				前半		後半			
月	主題・人文(2)③	キャリア入門③	基礎運動器学⑤	生物②	試(1)	主題・人文(13)①				①	試(1)	情報リテラン(7)	基礎化学(8)	試(1)	情報リテラン(8)	基礎化学(7)	試(1)							
火	キャリア入門(4)④		基礎生物学(5)②		試(1)	基礎数学(15)				試(1)	コミュニケーション英語A(15)				試(1)	ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語基礎Ⅰ(15)				試(1)				
水	早期体験ボランティア(8)		基礎生物学(5)②		試(1)	早期体験ボランティア(8)	基礎手話(3)④		試(1)	早期体験ボランティア(8)	基礎物理学(8)		早期体験ボランティア(8)				基礎物理学(7)	試(1)						
木	ヒューマンコミュニケーションⅠ(15)				試(1)	ヒューマンコミュニケーションⅠ(15)				試(1)	キ(1)	基礎運動器学(13)①				試(1)	キ(1)	基礎運動器学(13)①				試(1)		
金	キャリア入門(4)④		基礎生物学(5)	運動②	試(1)	基礎手話(12)③				試(1)	健康スポーツ(11)②				運動(2)	試(1)	健康スポーツ(11)②				運動(2)	試(1)		

1年後期																								
1週	1限				16週	1週	2限				16週	1週	3限				16週	1週	4限				16週	5限
	前半		後半				前半		後半				前半		後半				前半		後半			
月	基医オリ①	◎	行動科学(8)		細胞組織実習(4)	主題 基幹(人文社会)(15)①				最新診断・治療学(2)②	行動科学(8)		細胞組織実習(4)	医学史(2)②	行動科学(8)		実験動物(1)②	実実(1)						
火	細胞生化学(15)				①	細胞生化学(15)				①	コミュニケーション英語B(15)①				ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語基礎Ⅱ(15)①									
水	細胞組織学(8)		実動(1)	試(1)	実験動物学(6)		細胞組織学(7)	①	医用統計(8)	最新診断・治療学(3)①	基医体験A(6-8)ABCから2回受講	基医体験B(6-8)ABCから2回受講	基医体験C(6-8)ABCから2回受講	基礎地域医療学(4)	医学史(2)②	基医体験A(6-8)ABCから2回受講	基医体験B(6-8)ABCから2回受講	基医体験C(6-8)ABCから2回受講	基礎地域医療学(4)					
木	細胞生理学(15)				①	細胞生理学(15)				①	最新診断・治療学(3)①	細胞組織実習(3)				医学史(2)②	細胞組織実習(3)							
金	遺伝生化学(15)				試(1)	主題 基幹(人文社会)(15)①				免疫生物学(15)				試(1)	発生医学(8)				基医体験C	細胞組織実習(5)	試(1)			

※()内の数字はコマ数を表す。記載のないものは15コマを意味する。

① 授業に組み込んだ予備コマ数 ① 調整用・試験用の予備コマ数

2. 令和6年度全学共通科目開設一覧表

区分	全学共通科目 時間割コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜時 日 限	学科・専攻 履修年次	備考	
			前	後					
入門科目	AG100100	大学入門ゼミ	0.4	0.5	植木 賢 他	集中講義	医学科1年次	オンデマンド授業	
	AG200100	情報リテラシ	0.4	2	大森 幹之	月3・4前半			
	AG300100	キャリア入門	0.2	1	山田 七子 他	月1前半 火1前半 金1前半			
	AG260100	データサイエンス入門		1	橋本隆司、井上順子	集中講義			
教 養 科 目	人間と文化	AW900000	基礎手話言語		2	海藤 俊行 他	水2後半・金2	医学科1年次	
		AT900900	医療手話言語		2	海藤 俊行 他	金2	医学科1・2年次	
		AU900000	日本の文化と心		2	森田 明美 他	月1前半・月2	医学科2・3年次	
		AT901000	日本のポップカルチャー		2	尾崎 加苗	月2	医学科1年次	
		AT900700	社会福祉援助論		2	細田 武伸 他	月2	医学科1年次	旧名「社会福祉」
		AT901100	囲碁入門		2	桑本 晋平	月2	医学科1年次	
	人間と科学	M7100040	電磁気と生命		1	藤原 伸一	火1前半	検査技術科学専攻2年次	
		M7100016	環境と有機化学		1	高村 歩美	火1後半		
		AT900800	プログラミング入門		2	大森 幹之	月2		医学科1・2年次
	健康と生命	M7100014	カウンセリング		1	竹田 伸也	月2前半	生命科学科2年次 保健学科2年次	
		M7100026	死生学		1	安藤 泰至	水1前半	看護学専攻4年次 検査技術科学専攻3年次	
	世界と地域	AT500101	鳥取県学～鳥取県の歴史・ 自然からB級グルメまで～		2	足立 正	月2	医学科1年次	
		AT500102	スポーツと地域振興		2	堀越 洋輔	月2	医学科1年次	
	教養ゼミナール	AT600200	教養ゼミナール(1) 「生命倫理と科学的思考法 0.8 について話をしようⅠ」	0.8	2	檜山 武史	月2	医学科1年次	
		AT600200	教養ゼミナール(2) 「生命倫理と科学的思考法 1.5 について話をしようⅡ」	1.5	2	檜山 武史	月2	医学科1年次	
		AT600200	教養ゼミナール(2) 「医学・医療に役立つ人文 1.6 科学の知」	1.6	2	孫 大輔	金2	医学科2年次	
	人文・ 社会分野	AR900500	生活と法律 刑法		2	岩井 和由	金2	医学科1・2年次	
		AR900700	哲学・倫理学		2	田鍋 良臣	金2	医学科1・2年次	
		AR900400	心理学		2	岩田 正明 他	月2	医学科2年次	
		AR900800	英文学		2	和田 綾子	月1前半・月2	医学科2・3年次	
		AR100500	生命倫理学	1.2	2	尾崎 米厚	木3・4前半	医学科2年次	
		AR900900	経営学入門		2	遠藤 彰 他	月1前半・月2	医学科2・3年次	旧名「経済学入門」
		AR900300	生命倫理学	2.2	2	安藤 泰至	火3	生命科学科2年次	
		AR100500	生命倫理	4.2				検査技術科学専攻2年次	
		M7100051	臨床心理学		2	井上 雅彦 他	月1	生命科学科2年次 保健学科2年次	
		自然分野	AJ030300	基礎生物学		2	松尾 聡 他	火1後半 水1後半 金1後半	医学科1年次
	AJ014300		基礎物理学		2	亀山 道宏	水3・4後半		
AJ022300	基礎化学			2	木村 宏二	月3・4後半			
AJ000300	基礎数学			2	井上 順子	火2			
AS150100	保健統計学			2	岩田 浩明 他	月2	生命科学科2年次必修 保健学科2年次必修		
実験 演習分野	AP490100	早期体験・ボランティア		1	山田 七子 他	水1～4前半	医学科1年次		
	AP490200	ヒューマンコミュニケーションⅠ		2	植木 賢 他	木1・2			
	AP490300	ヒューマンコミュニケーションⅡ		1	植木 賢 他	火3・4前半		医学科2年次	

区分	全学共通科目 時間割コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	曜時 日限	学科・専攻 履修年次	備考
				前	後				
外国語科目	英語	AP631100	コミュニケーション英語A	5	1	ウィルシャー ティモシー	火3	医学科1年次	
	AP631200	コミュニケーション英語B	5	1	〃	〃			
	AP631100	コミュニケーション英語A	5	2	ジアディー ン マーク	〃			
	AP631200	コミュニケーション英語B	5	2	〃	〃			
	AP631100	コミュニケーション英語A	5	3	青砥 ダイアン	〃			
	AP631200	コミュニケーション英語B	5	3	〃	〃			
	M3110300	医療英語Ⅰ	1	1	ウィルシャー ティモシー	火2	医学科2年次		
	M3110400	医療英語Ⅱ	1	1	〃	〃			
	M3110300	医療英語Ⅰ	1	1	戸野 康恵	〃			
	M3110400	医療英語Ⅱ	1	1	〃	〃			
	M3110300	医療英語Ⅰ	1	1	ジアディー ン マーク	〃			
	M3110400	医療英語Ⅱ	1	1	〃	〃			
	M7208001	応用英語Ⅰ	1	1	景山 誠二 高橋 洋一	火1	医学科3年次		
	M7208002	応用英語Ⅱ	1	1	〃	月1 木1			
	AP631600	総合英語Ⅰ	5	1	青砥 ダイアン	火4	生命科学科2年次		
	AP631700	総合英語Ⅱ	5	1	ジアディー ン マーク	〃			
	M7304024	医学英語Ⅰ	1	1	青砥 ダイアン	水4	生命科学科2年次		
	M7304025	医学英語Ⅱ	1	1	〃	〃			
	AP631600	総合英語Ⅰ	5	2	戸野 康恵	火3	看護学専攻2年次		
	AP631700	総合英語Ⅱ	5	2	〃	〃			
	AP631600	総合英語Ⅰ	5	3	バルディ デイビット	〃			
	AP631700	総合英語Ⅱ	5	3	〃	〃			
	M7100054	医療英語Ⅰ	1	1	青砥 ダイアン	火1	看護学専攻3年次		
	M7100057	医療英語Ⅱ	1	1	〃	月2			
	M7100054	医療英語Ⅰ	1	1	戸野 康恵	火1			
	M7100057	医療英語Ⅱ	1	1	〃	月2			
	AP631600	総合英語Ⅰ	5	5	ウィルシャー ティモシー	木1	検査技術科学専攻2年次		
	AP631700	総合英語Ⅱ	5	5	青砥 ダイアン	木3前半 火2後半			
	M7100054	医療英語Ⅰ	1	1	ウィルシャー ティモシー	火1	検査技術科学専攻3年次		
	M7100057	医療英語Ⅱ	1	1	〃	〃			
	ドイツ語	AP700300	ドイツ語基礎Ⅰ	5	1	山城 裕子	火4	医学科1年次	
	AP700400	ドイツ語基礎Ⅱ	5	2	〃	〃			
フランス語	AP720300	フランス語基礎Ⅰ	5	1	バルディ デイビット	火4	医学科1年次		
AP720400	フランス語基礎Ⅱ	5	2	〃	〃				
中国語	AT740300	中国語基礎Ⅰ	5	1	要木 佳美	火4	医学科1年次		
AT740400	中国語基礎Ⅱ	5	2	〃	〃				
ロシア語	AP770300	ロシア語基礎Ⅰ	5	1	福安 佳子	火4	医学科1年次		
AP770400	ロシア語基礎Ⅱ	5	2	〃	〃				
健康スポーツ科目	AP200100	健康スポーツ 科学実技(前期)	5	5	澤 晶子	金3・4	医学科1年次	エアロ&フィットネス	
			5	6	西村 正広	〃		バレーボール	
			5	7	和田 拓真	〃		テニス	
			5	8	斎藤 辰哉	〃		卓球	

※米子地区の講義室については、医学部のホームページから確認してください。

アクセス：鳥取大学医学部ホームページ→学部生の方へ→学生・講義室スケジュール

URL：https://www.med.tottori-u.ac.jp/current/3423/29198.html

3. 全学共通科目ナンバリング一覧表（米子地区）

<人文科学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
哲学 (PHL)	基幹科目 人文・社会分野	哲学・倫理学	LAPHL1004-G
	主題科目 健康と生命	死生学	LAPHL1050
倫理学 (ETH)	基幹科目 人文・社会分野	生命倫理学	LAETH1003
		生命倫理	LAETH1000
心理学 (PSY)	基幹科目 人文・社会分野	心理学	LAPSY1000-G
		臨床心理学	LAPSY1003
	主題科目 健康と生命	カウンセリング	LAPSY1052
芸術学 (ART)	主題科目 人間と文化	日本のポップカルチャー	LAART1004
文学 (LIT)	基幹科目 人文・社会分野	英文学	LALIT1003
	主題科目 人間と文化	日本の文化と心	LALIT1050-C
言語学 (LIN)	主題科目 人間と文化	基礎手話言語	LALIN1053-C
	主題科目 人間と文化	医療手話言語	LALIN1054-C
社会学 (SOC)	主題科目 人間と文化	社会福祉援助論	LASOC1051-C

<社会科学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
法学 (LAW)	基幹科目 人文・社会分野	生活と法律 刑法	LALAW1004
経営学 (MAN)	基幹科目 人文・社会分野	経営学入門	LAMAG1001-C

<自然科学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
数学 (MAT)	基幹科目 自然分野	基礎数学	LAMAT1009
		保健統計学	LAMAT1010
物理学 (PHY)	基幹科目 自然分野	基礎物理学	LAPHY1004
	主題科目 人間と科学	電磁気と生命	LAPHY1053
化学 (CHE)	基幹科目 自然分野	基礎化学	LACHE1007
	主題科目 人間と科学	環境と有機化学	LACHE1055
生物学 (BIG)	基幹科目 自然分野	基礎生物学	LABIG1004
	主題科目 人間と環境	環境科学	LABIG1061-C
情報科学 (INF)	入門科目	情報リテラシ	LAINF1000
		データサイエンス入門	LAINF1003
	主題科目 人間と科学	プログラミング入門	LAINF1054

<語学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
英語 (ENG)	外国語科目 英語	コミュニケーション英語A	LAENG1100A-G
		コミュニケーション英語B	LAENG1100B-G
		医療英語Ⅰ（医学科2年）	LAENG2101A
		医療英語Ⅱ（医学科2年）	LAENG2101B
		応用英語Ⅰ	LAENG3101A
		応用英語Ⅱ	LAENG3101B
		総合英語Ⅰ	LAENG2100A-G
		総合英語Ⅱ	LAENG2100B-G
		医学英語Ⅰ	LAENG2102A
		医学英語Ⅱ	LAENG2102B
フランス語 (FRA)	外国語科目 フランス語	フランス語基礎Ⅰ	LAFRA1100A-G
		フランス語基礎Ⅱ	LAFRA1100B-G
ドイツ語 (GER)	外国語科目 ドイツ語	ドイツ語基礎Ⅰ	LAGER1100A-G
		ドイツ語基礎Ⅱ	LAGER1100B-G
中国語 (CHN)	外国語科目 中国語	中国語基礎Ⅰ	LACHN1100A-G
		中国語基礎Ⅱ	LACHN1100B-G
ロシア (RUS)	外国語科目 ロシア語	ロシア語基礎Ⅰ	LARUS1100A-G
		ロシア語基礎Ⅱ	LARUS1100B-G

<健康スポーツ科学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
健康スポーツ (HEA)	主題科目 世界と地域	スポーツと地域振興	LAHEA1058
	健康スポーツ科目	健康スポーツ科学実技	LAHEA1100

<米子地区開講科目（一部）>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
米子地区 基幹実験演習 (MED)	基幹科目 実験演習分野	早期体験・ボランティア	LAMED1300-C
		ヒューマンコミュニケーションⅠ	LAMED1301A-C
		ヒューマンコミュニケーションⅡ	LAMED2301B-C

<学問分野に分類できない科目>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング	
その他 (OTH)	入門科目	大学入門ゼミ	LAOTH1100	
		キャリア入門	LAOTH1002	
	主題科目	人間と文化	囲碁入門	LAOTH1064
		世界と地域	鳥取県学—鳥取県の歴史・自然から日職グルメまで—	LAOTH1069
		教養ゼミナール	教養ゼミナール（1） / （2）	LAOTH1030-CG

4. 地域志向科目（米子地区）

地域志向科目は、社会の未来を切り開こうとする人材を育成することを目標とし、具体的には、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む科目で構成されています。

授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分	
ヒューマンコミュニケーションⅠ・Ⅱ	植木 賢 他	基幹科目	実験演習分野
基礎手話言語	海藤 俊行 他	主題科目	人間と文化
医療手話言語	海藤 俊行 他	主題科目	人間と文化
日本の文化と心	森田 明美 他	主題科目	人間と文化
社会福祉援助論	細田 武伸 他	主題科目	人間と文化
経営学入門	遠藤 彰 他	基幹科目	人文・社会分野
早期体験・ボランティア	山田 七子 他	基幹科目	実験演習分野

Ⅱ－3. 農学部共同獣医学科

1. 履修案内	83
2. 令和6年度一般教養科目教育課程表・授業時間割表(抄)	92
3. 令和6年度一般教養科目開設一覧表	94

1. 履修案内

1. はじめに

『令和6年度全学共通科目履修案内』は、入学者の一般教養科目の履修手続に関する内容を記載したものです。本冊子は卒業するまで使用しますので、紛失しないよう大切に取扱ってください。

(1) 履修手続の流れ

授業科目の履修は授業科目履修手続日程 (p.1) のとおり行います。前期、後期の指定された期間に必要な手続を取ってください。(抽選制度については p.12 を参照してください。)

(2) 学期と学年暦

1年は前期・後期の2期に分かれ、定期試験期間を含め各期16週から成ります。前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなります。詳細は毎年の学年暦で決められており、令和6年度は p.2 のとおりです。巻末 (p.121) に七曜表を掲載していますので、併せて確認してください。

(3) 授業時間、単位と必要な学習時間

① 授業時間

授業は月曜日から金曜日まで行われます。1日の授業は1時限から5時限まで行われ、1時限は通常90分を基本とします。

区分	授業時間
1時限	8:45~10:15
2時限	10:30~12:00
3時限	13:00~14:30
4時限	14:45~16:15
5時限	16:30~18:00

② 単位制度

全ての授業科目には、学修時間に応じて単位数が設定されています。1単位の授業科目を修得するためには45時間の学修時間が必要とされ、学修時間には、大学の講義室等で行われる授業時間だけでなく、自習時間(予習・復習等)も含まれます。

本学では、授業の形態に応じて、1単位当たりの授業時間を以下のように定めています。

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習及び一般教養科目の実技 | 30時間 |
| (3) 実験、実習及び実技(一般教養科目の実技を除く。) | 45時間 |

主な授業科目の1単位あたりの授業時間と自習時間の関係は、次のようになります。

授業の形態	学習時間		
	授業時間	自習時間	合計
講義	15時間	30時間	45時間
演習及び一般教養科目の実技 (例：外国語科目、健康スポーツ科目)	30時間	15時間	45時間
実験、実習及び実技 (一般教養科目の実技を除く)	45時間	0時間	45時間

*授業時間は、1コマ90分の授業を2時間と見なします。

(4) 科目ナンバリング制度

鳥取大学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。科目ナンバリングにより各科目の分野や対象学年（水準）等を整理し、教育課程をより体系的に理解することができます。履修科目を選択する際などに活用してください。

詳細については pp.4-5 を参照してください。

(5) シラバス

「シラバス」(syllabus)とは開設科目に関する授業計画のことで、担当教員の情報や、「授業科目の目的・概要」、「達成目標」、「授業のレベル」、「授業の形式」、「教科書・参考書」、「成績評価の方法・基準」といった授業科目の基本事項、全授業実施回の「授業内容」、「予習・復習内容」などを示したものです。履修科目を選択するときや、授業科目を受講する前に、必ず確認するようにしてください。また授業開始後も、各回の授業内容や、予習・復習事項を確認するため、積極的に活用してください。

シラバスは「鳥取大学ホームページ」→「在学生の方へ」→「シラバス」→「シラバス検索画面へ」で確認することができます。

2. 一般教養科目の履修計画の立て方

① 教育課程表

「全学共通科目に関する細則」の別表第5「一般教養科目教育課程表(p.92)には、どの学年・学期にどの科目区分からどの授業科目を履修するか、また卒業までにどの科目区分からいくつの単位を履修するか示されています。

② 授業時間割表

どの曜日・時限にどの科目区分の授業科目を履修するかは、「一般教養科目授業時間割表」(p.93)に示されています。

③ 開設一覧表

どの曜日・時限にどの授業科目を選択できるか、あるいはどのクラスで登録するかは、「一般教養科目開設一覧表」(pp.94-100)に示されています。なお、本冊子に掲載されているものは令和6年度のもので、年度によって開設科目の種類・担当教員が異なりますので注意してください。

3. 一般教養科目の科目区分及び履修方法

一般教養科目は「大学教育導入科目群」「人文・社会科学科目群」「自然科学科目群」「複合領域科目群」「外国語科目群」の5つの教育科目に区分されています。これらの教育科目の目標と構成は、それぞれ次のとおりです。

(1) 大学教育導入科目群

大学教育導入科目群は、自ら課題を発見し、探求するという大学教育に必要な学習態度やその能力を養うとともに、幅広い総合的な判断力を培い、かつ豊かな人間性を涵養することを目的としています。加えて、獣医学専門教育を開始する準備としての教育を実施します。

大学教育導入科目群には、「大学入門ゼミ」、「データサイエンス入門」、「大学教育導入演習A」、「大学教育導入演習B」及び「教養基礎演習」の5つの科目があります。

大学入門ゼミ

鳥取大学における学修及び生活上のルールと共同獣医学科における学びの特色に関する講義を行います。加えて、様々な職業分野で活躍する卒業生による講義を通して獣医学の多様性の理解を目指します。本科目を基盤に、今後様々な獣医学分野の授業で得られる知識や経験から、能動的かつ持続的に学んでいく能力を

養います。

データサイエンス入門

情報通信技術や計測技術の発展により多量かつ多様なデータが得られるようになりました。データは21世紀の石油とも呼ばれ新たな経済的な資源と考えられるようになり、データを処理・分析し、データから価値を引き出すことのできる人材が求められるようになりました。データの処理にはコンピュータの、また、その分析には統計学や機械学習の知識がそれぞれ必要となりますが、データサイエンスの応用分野は人や社会に関連する分野であることが多く、この意味においてデータサイエンスの素養は文系理系の区別を問わず必要とされます。本科目では、ビッグデータ時代を生きる全ての大学生が身につけておくべきリテラシーとしてのデータサイエンスへの入門を解説します。

「データサイエンス入門」はオンデマンド方式で授業を行います。

大学教育導入演習A及び大学教育導入演習B

本演習は学生移動型授業として、岐阜大学の学生と合同で実施します。両大学の学生が演習を共同で行うことで、共同獣医学科生としての一体感を醸成します。演習期間中は、鳥取県および岐阜県の獣医系機関や施設で実習や見学を行い、獣医学に関連する知識や理解を深めます。同演習Aは1年次の夏季休業期間中に鳥取大学で開講されます。演習期間中は、大学内での活動に加え、県内の畜産関連施設を見学する予定です。同演習Bは2年次夏季休業期間中に岐阜大学に移動して行います。

教養基礎演習

本演習では獣医学を学ぶ上で求められる論理的な思考法やレポート作成やプレゼンテーション法を修得します。本演習を通じて、自分の意見や考えを表現し、正確に伝える能力や技術を養うとともに、獣医学生および獣医師として不可欠な倫理観を身につけます。

(2) 人文・社会科学科目群

人文・社会科学の基本的な学問領域について、客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、人文・社会科学の発想方法・思考能力を養います。

具体的には、哲学・倫理学・現代思想、教育学、心理学、芸術・芸術学、文学・言語学、法学・政治学・社会学、経済学・経営学、歴史学・地理学に関して、全学共通の講義が開設されます。

また、履修できる単位数に上限があり(p.87を参照)、抽選制度が適用される科目もあります。(pp.86-87を参照)

(3) 自然科学科目群

自然科学の基本的な学問領域について、客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、自然科学的な発想方法・思考能力を養います。

具体的には、数学・物理学・化学・生物学・地学に関して、全学共通の講義が開設されます。

自然科学科目群の履修方法

◎ 下記の授業科目から10単位以上（5科目以上）を1年次から2年次までに修得します。一般教養科目履修登録上限科目数に含まれます。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数 学	前期	解析学教程Ⅰ	
	後期	線形代数入門	
		解析学教程Ⅱ	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	「物理学入門Ⅰ」は必修科目となります。必ず修得してください。
	後期	物理学入門Ⅱ－基礎電磁気学－	
化 学	前期	化学Ⅰ	「化学Ⅰ」は必修科目となります。必ず修得してください。 なお、前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
	後期	化学Ⅱ	
		化学Ⅲ	
生物学	前期	生物学ⅠA	「生物学ⅠA」は必修科目となります。必ず修得してください。
		脳の世紀－脳・心・病気－	
		分類・生態から分子まで：昆虫学入門	
	後期	生物学ⅡA	
地 学	前期	地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）	卒業に必要な単位は2単位（1科目）までとします。
	後期	地球科学（新しい地球観の基礎）	

（４）複合領域科目群

複合領域科目群では、人間・社会・自然の事象に関する個別的・具体的な学問領域について、人文・社会科学科目群及び自然科学科目群よりもさらに先端的・発展的な知識・技能を修得するとともに、複眼的・学際的な発想方法・思考態度を身につけ、また人間社会や自然環境の多様なあり方に対する理解・知見を深めることによって、現代的・人類的な課題を主体的・批判的に発見・探求する能力を育成します。また、人文・社会科学科目群及び自然科学科目群では開設できない複合的な学問領域や先端的な研究成果、かつ鳥取大学の学生として学ぶことが望ましい社会的・現代的な事柄・問題について、学術的な知識・技能や様々な世界観・人生観を修得するとともに、自らの将来を設計するキャリア形成力や社会生活を営む上で必要な倫理観を養うことによって、自らの学び方・生き方を積極的・創造的に考える力を育成します。

また、履修できる単位数に上限があり（p.87を参照）、抽選制度が適用される科目もあります。（下記を参照）

「健康スポーツ科学実技」、「情報リテラシ」及び「キャリア入門」は指定クラスで履修しますので、一般教養科目履修登録上限単位数には含みません。

「健康スポーツ科目」の詳細については（pp.18-19）を参照してください。

一般教養科目の抽選制度について

一般教養科目の授業科目は定員として受入人数を設定しているため、受入人数を超過する履修希望があった場合、無作為の抽選によって受講者を決定します。ただし例外として、教養科目の一部の科目は、抽選制度が適用されません。

a. 手順

まず時間割表 (p.93) にしたがって、履修を希望する曜日・時限を選択してください。選択できる曜日・時限の数は登録上限単位数内です。

次に開設一覧表 (pp.94-100) にしたがって、選択した曜日・時限の開設科目一覧から、希望する授業科目を選択してください。最大で第3希望まで指定することができます。

b. 事前登録（抽選登録）方法

事前登録（抽選登録）は、各自が学務支援システムにログインして行います。（4月1日に実施の全学共通科目説明会で配布するマニュアルを参照してください。）

抽選結果は4月8日（月）12：00に発表します。各自が学務支援システムにログインして確認します。

c. 追加登録

希望した科目が抽選で外れた場合、受入人数に達していない科目は、学務支援システムから先着順で登録可能です。追加登録開始日時は次のとおりです。

前期：4月8日（月）17：00～

後期：別途掲示で案内します。

*追加登録は、各期の履修登録期間中、行うことができます。

令和6年度前期教養科目抽選制度日程（p.1参照）

4月1日（月）全学共通科目説明会で教養科目事前登録（抽選登録）方法を説明

4日（木）事前登録（抽選登録）締切

8日（月）12：00に教養科目事前登録（抽選登録）結果発表。各自、学務支援システムから確認します。

「履修登録・登録状況照会」画面に表示された科目は、抽選の結果、当選した科目です。

一般教養科目履修登録上限単位数

学部・学科	年次	区分	前期	後期	計
農学部 共同獣医学科	1	人文・社会科学科目群	8	10	18
		複合領域科目群	8	10	18
		自然科学科目群	8	10	18
	2	人文・社会科学科目群	8	12	20
		複合領域科目群	4	4	8
		自然科学科目群	4	4	8
	3	人文・社会科学科目群	2	4	6
		複合領域科目群	2	0	2
		自然科学科目群	2	0	2
	4	人文・社会科学科目群	2	4	6
		複合領域科目群	0	0	0
		自然科学科目群	0	0	0

(5) 外国語科目群

今日のグローバル化社会に対応するために、専門教育科目の学習や英語コミュニケーションに必要な英語力を習得するとともに、英語以外の新たな外国語を学ぶことによって多様な異文化に接して、国際感覚豊かな人材となることを目的としています。

外国語科目には、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」及び「スペイン語」が開設されています。

「外国語科目」の詳細については (pp.13-17) を参照してください。

(6) 日本語・日本事情に関する科目（外国人留学生のみ履修可能）

日本語及び日本事情に関する科目は、外国人留学生のために開設しています。外国人留学生が、この授業科目を履修して修得した単位は、定められた範囲内で、日本語は外国語科目に、日本事情は人文・社会科学科目群及び複合領域科目群の単位に代えることができます。（pp.72, 105 を参照）

詳細については（pp.19-20）を参照してください。

4. 履修上の注意事項

① 一般教養科目履修登録上限単位数

本学では、教養科目の抽選制度に含まれる科目について、学部、学科、学年、期別に履修登録できる単位数を設定しています。

なお、「集中講義」として開設される教養科目は履修登録上限単位数に含まれません。

② 授業クラスの指定

一部の一般教養科目では、履修上の混乱をさけるため、指定されている授業クラス以外での受講は原則として認めません。

なお、一般教養科目開設一覧表・授業時間割表（pp.94-100）によって各学部・学科別に指定された授業科目以外の科目を履修しようとするときには、その担当教員の許可を得ることになっています。手続については、農学部教務係に確認してください。

③ 二重履修の禁止

同一期、同一曜日の同一時間に開設されている授業科目を、2科目以上（専門教育科目も含む。）同時に履修することはできません。

④ 同一名称の授業科目

前期・後期とも同じ名称の授業科目には、履修条件が異なるものがありますので、注意してください。誤って履修すると、単位を修得できなくなる場合があります。詳細は p.22 のとおりです。

⑤ 固有の履修条件を定めている授業科目

授業科目には固有の履修条件を定めているものがあります。固有の履修条件があるかどうかは、一般教養科目の開設一覧表（pp.94-100）の「備考欄」、及び各授業科目の「シラバス」であらかじめ確認してください。

⑥ 掲示

一般教養科目の授業実施等に関する学生への連絡・伝達事項は共通教育棟の学生掲示板や学務支援システム内掲示板、e-ラーニングシステム(manaba)で通知します。一日に一度は必ず見るようにしてください。連絡事項を見落とすと修学上あるいは学生生活等で不利益を被ることがありますので、十分注意してください。

なお、学生掲示板の位置については、巻末の共通教育棟配置図（pp.115-119）を参照してください。

⑦ 授業中のマナー

詳細については p.22 を参照してください。

5. 授業の欠席

詳細については p.23 を参照してください。

6. 試験

試験は履修手続きをした授業科目について、前期・後期の第15週又は第16週（一部の授業科目は第8週）に行われます。（クォーター制で実施する授業科目については授業実施クォーターの最終週に行われます。）しかし、授業担当教員によっては、各期中途に実施する小テストやレポート等を試験の代わりとする場合もあ

るので注意してください。

各科目の成績評価方法と基準については、シラバスに記載（学務支援システムでシラバスを参照）していますので必ず確認してください。

① 定期試験

定期試験は、通常の前期・後期の授業終了後に実施されます。所定の時期に試験期間が設けられ、その1週間前に試験時間割が発表されます。

定期試験は履修手続をした授業科目についてのみ受験することができますが、遅刻した場合には受験は認められません。試験における注意事項は、p.110 に記載していますので確認ください。

② 追試験

追試験は、原則として行いませんが、本人の病気、交通事故、災害等によって受験できない場合及び忌引（忌引については、p.23「5. ①授業欠席届」参照）の場合に限り、追試験願を提出することで追試験を受けることが認められます。ただし、本人の不注意によって定期試験を受けなかった場合は、追試験を受ける資格はありません。

追試験願は、各学部の単位認定規程等で定める期間内に、所属学部長へ提出してください。この期間を過ぎると追試験願は受理しませんので、追試験を受けようとする者は、期限に遅れないよう注意してください。

なお、追試験を願い出の際には、病気の場合は病院、薬局の領収書等、その他の場合は証明できる書類等が必要です。

追試験願の用紙は、農学部教務係で受け取ってください。

③ 再試験

一般教養科目の再試験は、原則として行いません。

④ 不正行為

試験において不正行為を行った場合は、鳥取大学単位認定規則第7条（p.103）に規定しているとおり当該期の受講科目すべての単位（一般教養科目及び専門教育科目）は認められません。

試験での不正行為により当該期の単位はすべて認定されませんが、その履修歴は登録されたものとして取り扱います。（したがってGPAは下がります。p.25を参照）

7. 成績

① 成績の評価（成績評価基準）

詳細については p.24 を参照してください。

② 成績評価の疑義申立制度

一般教養科目の成績評価に疑義がある場合は、教育支援課に成績評価確認願を提出し、授業担当教員に申立てすることができます。

申立て可能な期間については、成績公開後の1週間に限定されます。（成績発表等の日程は掲示等でお知らせします。）詳細は教育支援課窓口で確認ください。

③ GPA制度

詳細については p.25 を参照してください。

④ 学期の途中で休学した学生の履修歴

学期の途中で休学した学生の履修歴については、当該学期の単位が認定されないため、履修歴もなかった事として取り扱います。

ただし、休学が許可される前に集中実施により単位が認められた科目については、修得単位も認め、履修歴も認めます。

8. 既修得単位の認定

本学に入学者のうち、大学・短期大学を卒業又は退学した者について、既に当該大学において修得した単位のうち、一般教養科目の単位について本学において修得したものと認定されることがあります。

単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の所定の期日までに、既修得単位認定願に成績証明書等を添えて農学部教務係に提出してください。

9. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

詳細については p.26を参照してください。

10. 教育職員免許状の取得

教育職員免許状は取得できません。

11. データサイエンス教育プログラム

鳥取大学では、多量かつ多様なデータを処理・分析し、データから価値を引き出すことのできる人材を育成するため、コンピュータ、統計学及び機械学習に関する基礎的な知識、考え方を身につける「データサイエンス教育プログラム」を実施しています。修了要件は「データサイエンス入門」及び「情報リテラシ」の両科目の単位を修得することと定められています。この教育プログラムは、令和4年度、文部科学省による数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）に認定されました。これは、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行うものを文部科学大臣が認定及び選定して奨励することにより、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的能力及び実践的能力の向上を図る機会を拡大、推進することを目的とするものです。

12. グローバル教育プログラム

鳥取大学は豊かなグローバルマインドを根底として、グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力を基礎能力とするグローバルマネージメント能力とタフで健全な心身を有し、深い専門知識（理論）と高い技術力（実践力）を体系的に修得することにより、進展しつつあるグローバル社会の中核として活躍できる人材の育成を目指します。

グローバル教育に関する授業科目を「グローバル教育科目群」として体系的に位置づけ、教養教育の中では学生が基本的な国際通用性を身につけるため「グローバル教育基礎科目群」を設置します。

また、本学の特色でもある短期、中期的な海外派遣による実践的教育プログラムを「海外実践教育に関する科目」として開設しています。

詳細については p.26 を参照してください。

13. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と選択科目「地方創生推進科目」について

近年、我が国は急激な少子高齢化及び中山間地の過疎化の進行、地域の活力やコミュニティの衰退、経済のグローバル化による産業の空洞化など様々な課題に直面しています。また、都市と地方の格差が拡大し、地域社会を持続的に発展させていくことが極めて難しい状況になっています。

そのような状況を打開するため、大学にはこれまでに積み重ねてきた教育研究の実績をふまえ、自らの人生と社会の未来を主体的に切り開く能力を備えた人材の育成、地域課題の解決に資する教育研究の推進等を一層充実させることが求められています。

そのため、本学では、社会の未来を切り開こうとする人材の育成を目指して、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む「地域志向科目」を平成27年度から開設しています。

地域志向科目（平成29年度以降入学生の選択必修科目、p.75参照）

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修してください。この科目群は

基礎科目 地域や社会の特性や課題、日本文化などを学ぶ科目

臨地科目 実際に地域に臨み、より具体的な地域課題を学ぶ科目

実践科目 課題解決や実践に取り組む科目

から構成されます。

地域志向科目は、各学部に開設される地域を志向した専門教育に接続します。

選択必修として必要な1科目も含め、地域志向科目の単位は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。履修する科目の科目区分を確認の上、履修案内の一般教養科目教育課程表（p.92）を参照してください。皆さんの興味・関心、今後の目標などを見据え、積極的に履修してください。

一般教養科目教育課程表（農学部 共同獣医学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考														
			1年		2年			3年		4年											
			前	後	前	後		前	後	前	後										
一般教養科目	大学教育導入科目群	大学入門ゼミ	必修	1																	
		データサイエンス入門	必修	1																	
		大学教育導入演習A	必修	1																	
		大学教育導入演習B	必修			1															
		教養基礎演習	必修	2(前期又は後期)																	
	計				5		1														6単位
	人文・社会科学科目群		選択		2		2														
	計				4		4														6単位以上
	自然科学科目群	物理学入門Ⅰ	必修	2																	
		化学Ⅰ	必修	2																	
		生物学Ⅰ	必修	2																	
		物理学入門Ⅰ、化学Ⅰ、生物学Ⅰを除く全ての自然科学科目群の中から	選択			2															
		計			6		6														
	複合領域科目群		選択		2		2														
	計				5		5														
外国語科目群	英語	コミュニケーション英語A	必修	1																	
		コミュニケーション英語B	必修	1																	
		実践英語A	必修			1															
		実践英語B	必修			1															
		総合英語Ⅰ	必修				1														
		総合英語Ⅱ	必修					1													
	第二外国語	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ																			
		フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ																			
		中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1																
		韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ																			
スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ																					
計				3		3		1		1											8単位以上
修得単位数合計																					37単位以上

一般教養科目の履修方法については、p.83からを参照すること。

一般教養科目の授業科目及び単位数については、「一般教養科目開設一覧表」(p.94～)を参照すること。

令和6年度 一般教養科目授業時間割表（抄）（農学部 共同獣医学科）

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 （化学Ⅰ） ●自然科学科目群	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○情報リテラシ	（○教養基礎科目）
	2					
	3					
火	1	○自然科学科目群 （物理学入門Ⅰ）	人文・社会科学科目群 ●自然科学科目群 ○複合領域科目群	○大学入門ゼミ ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	（○教養基礎科目）
	2					
	3					
水	1	○コミ英語B ●自然科学科目群	人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 （化学Ⅰ） ●自然科学科目群 ●複合領域科目群	教養基礎演習		○人文・社会科学科目群 ○複合領域科目群 （○教養基礎科目）
	2		●人文・社会科学科目群 ●複合領域科目群 ●自然科学科目群			
	3					
木	1	人文・社会科学科目群 ○複合領域科目群	○キャリア入門 ●自然科学科目群		○自然科学科目群	●複合領域科目群 （○教養基礎科目）
	2	○人文・社会科学科目群 ○複合領域科目群	総合英語Ⅰ・Ⅱ			
	3					
金	1	○コミ英語A ●実践英語A・B		○自然科学科目群 （生物学ⅠA）		（○教養基礎科目）
	2					
	3					

備考：○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

大学教育導入科目群、自然科学科目群、外国語科目群及び複合領域科目群の一部については、科目名を記載。

集中講義：大学教育導入科目群（1年次：データサイエンス入門、大学教育導入演習A、2年次：大学教育導入演習B）

（○教養基礎科目）については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

3. 令和6年度一般教養科目開設一覧表

前期

科目区分	時間割コード	授業科目	クラス	単位数	担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
------	--------	------	-----	-----	------	-----	----	----------------

月曜日2時限

人文・社会科学科目群	AR10570001	哲学・倫理学	01	2	田鍋 良臣	共 C 3 1	抽選科目(受入人数120人)	人文
	AR10590001	芸術入門	01	2	佐々木 友輔、 木野 彩子	共 A 2 0	抽選科目(受入人数260人)	人文
	AR10600001	文学	03	2	重松 恵梨	共 C 2 1	抽選科目(受入人数150人)	人文
	AA18030001	経済学	01	2	永松 利文	共 D 3 1	抽選科目(受入人数120人)	人文
	AR10630001	歴史学	01	2	岸本 覚	共 D 3 3	抽選科目(受入人数100人)	人文
自然科学科目群	AS12010001	化学 I	01	2	花島 慎弥	共 E 3 1	抽選科目(受入人数120人)	自然

月曜日3時限

人文・社会科学科目群	AR10030000	科学哲学		2	田鍋 良臣	共 C 3 2	抽選科目(受入人数60人) 隔年開講	人文
複合領域科目群	AF52010000	健康と疾病		2	深田 美香 他	共 C 3 1	抽選科目(受入人数100人)	健康
	AT00100000	健康科学と応急手当		2	西村 正広	武道館ほか	抽選科目(受入人数30人)	健康
	AA18040000	くらしの経済・法律講座		2	桐山 聡 鳥取県連携講座	共 A 2 0	抽選科目(受入人数70人) 公開授業講座(一般市民80人)	文化
外国語科目群	AP70030004	ドイツ語基礎 I	04	1	廣瀬 ゆう子(非)	共 B 3 1	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	外国語
	AP70030005	ドイツ語基礎 I	05	1	山城 裕子(非)	共 E 4 1		
	AP72030001	フランス語基礎 I	01	1	バルディ デイビッド(非)	共 D 3 2		
	AP74030011	中国語基礎 I	11	1	要木 佳美(非)	共 D 3 3		
	AP74030012	中国語基礎 I	12	1	廖 汝幸(非)	共 B 2 1		
	AP75050006	韓国語基礎 I	06	1	鄭 然旭(非)	共 A 3 2		
	AP76030001	スペイン語基礎 I	01	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	共 E 4 3		
AP76030002	スペイン語基礎 I	02	1	箕輪 茂	共 A 3 1			

月曜日4時限

複合領域科目群	AG20010018	情報リテラシ	18	2	本村 真一	共 D 4 2	授業に持参するもの ・ノートパソコン ・LANケーブル 忘れた場合の貸出は行いません	入門
---------	------------	--------	----	---	-------	---------	---	----

前期

科目区分	時間割コード	授業科目	クラス	単位数	担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
------	--------	------	-----	-----	------	-----	----	----------------

火曜日1時限

自然科学科目群	AS11010003	物理学入門 I	03	2	池野 なつ美	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数100人)	自然
---------	------------	---------	----	---	--------	---------	-----------------	----

火曜日2時限

人文・社会科学科目群	AR10570003	哲学・倫理学	03	2	田鍋 良臣	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数150人)	人文
	AA01040003	心理学	03	2	未定		抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10600001	文学	01	2	和田 綾子	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10600005	文学	05	2	清水 まさ志	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10500001	憲法学	01	2	佐藤 匡		抽選科目 (受入人数 無制限)	人文
	AR10680000	経営システム論		2	馬場 芳	共 C 3 2	抽選科目 (受入人数50人) 「経営戦略論」修得者は履修不可	人文
	AR10630003	歴史学	03	2	武田 元有	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数100人)	人文
複合領域科目群	AT20300000	発酵ワールド-ローカルからグローバルまで-		2	有馬 二朗 児玉 基一郎	共 C 5 1	抽選科目 (受入人数120人)	科学

火曜日3時限

大学教育導入科目群	AG10010011	大学入門ゼミ	11	1	木場 智史 他	農 4		入門
-----------	------------	--------	----	---	---------	-----	--	----

火曜日4時限

複合領域科目群	AP20010001	健康スポーツ科学実技	01	1	瀬戸 邦弘	野球場	ソフトボール	健スポ
	AP20010002	健康スポーツ科学実技	02	1	西村 正広	テニスコート	テニス	
	AP20010003	健康スポーツ科学実技	03	1	澤 晶子(非)	トレーニングルーム	エアロ&フィットネス	

水曜日1時限

外国語科目群	AP63120069	コミュニケーション英語B	69	1	重松 恵梨	共 C 2 2		外国語
--------	------------	--------------	----	---	-------	---------	--	-----

水曜日2時限

人文・社会科学科目群	AR10570005	哲学・倫理学	05	2	田鍋 良臣	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10590003	芸術入門	03	2	筒井 宏樹 石田 陽介	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数130人)	人文
	AR10590005	芸術入門	05	2	筒井 宏樹 石田 陽介	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数130人)	人文
	AA18030003	経済学	03	2	万 里	共 E 3 1	抽選科目 (受入人数100人)	人文
	AA18030005	経済学	05	2	多田 憲一郎	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10630005	歴史学	05	2	武田 元有	共 C 5 1	抽選科目 (受入人数100人)	人文
自然科学科目群	AS14010000	地球科学 (地質・地形・固体地球物理学の基礎)		2	塩崎 一郎 他	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数80人)	自然
	AS12010005	化学 I	05	2	南条 真佐人	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数120人)	自然
	AT40160000	分類・生態から分子まで：昆虫学入門		2	中 秀司	共 D 3 3	抽選科目 (受入人数100人)	環境
	AF51030000	脳の世紀-脳・心・病気-		2	岩田 正明	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数100人)	健康

前 期

科目区分	時間割 コード	授業科目	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	講義室	備 考	全学共通科 目における 科目区分
------	------------	------	-------------	-------------	------	-----	-----	------------------------

水曜日 3・4 時限

大学教育 導入科目群	AG40060000	教養基礎演習		2	樋口 雅司 他		通年	入門
---------------	------------	--------	--	---	---------	--	----	----

木曜日 1 時限

人文・社会 科学科目群	AT50440001	海外安全マネジメントⅠ	01	1	竹田 洋志	共 C 2 1	第1Q 「海外安全マネジメント」修得者は 履修不可。(抽選履修対象外科目。 受入人数60人)	世界
人文・社会 科学科目群	AT50450002	海外安全マネジメントⅡ	02	1	竹田 洋志	共 C 2 1	第2Q 「海外安全マネジメント」修得者は 履修不可。「海外安全マネジメント Ⅰ」履修者が望ましい。(抽選履修 対象外科目。受入人数20人)	世界
複合領域 科目群	AT20240000	未来を拓く先端化学		2	片田 直伸 他	共 E 3 1	抽選科目(受入人数100人)	科学
	AT00020000	医学と生命科学		2	堀 直裕 他	共 D 3 1	抽選科目(受入人数128人)	健康
	AF02020000	ウェルネスとシェイプアップ		2	西村 正広	共 D 2 1	抽選科目(受入人数50人)	健康

木曜日 2 時限

複合領域 科目群	AG30010010	キャリア入門	10	1	長尾 博暢 他	共 C 3 1		入門
外国語 科目群	AP63160006	総合英語Ⅰ	06	1	谷本 ジャスミン(非)	共 E 4 1	学務支援システムの「履修 登録・登録状況照会」画面 に履修するクラスを指定し ますので、各自がクラス等 を確認のうえ履修してくだ さい。	外国語
	AP63160007	総合英語Ⅰ	07	1	大谷 ショーン(非)	共 A 3 1		
	AP63160008	総合英語Ⅰ	08	1	ベラスコ イバン(非)	共 B 2 1		
	AP63160009	総合英語Ⅰ	09	1	和田 綾子	共 C 2 2		
	AP63160010	総合英語Ⅰ	10	1	中尾 雅之	共 C 5 1		
	AP63160011	総合英語Ⅰ	11	1	ハリス クリストファー	共 E 4 3		

前期

科目区分	時間割コード	授業科目	クラス	単位数	担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
------	--------	------	-----	-----	------	-----	----	----------------

木曜日4時限

自然科学科目群	AS10010000	解析学教程 I		2	橋本 隆司	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数120人)	自然
---------	------------	---------	--	---	-------	---------	-----------------	----

金曜日1時限

外国語科目群	AP63110013	コミュニケーション英語A	13	1	ハリス クリストファー	共 B 3 1	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	外国語
	AP63110014	コミュニケーション英語A	14	1	谷本 ジャスミン(非)	共 B 2 1		
	AP63110015	コミュニケーション英語A	15	1	滝波 稚子	共 A 3 2		
	AP63110016	コミュニケーション英語A	16	1	ベラスコ イバン(非)	共 C 3 2		
	AP63110017	コミュニケーション英語A	17	1	レヴィ レイモンド(非)	共 A 3 1		

金曜日3時限

自然科学科目群	AS13010001	生物学 I A	01	2	竹内 崇師	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数100人)	自然
---------	------------	---------	----	---	-------	---------	-----------------	----

集中講義 (前期)

大学教育導入科目群	AG26010000	データサイエンス入門		1	橋本 隆司、井上 順子		オンデマンド授業	入門
	AG40040000	大学教育導入演習A		1	割田 克彦 他			入門
	AG40050000	大学教育導入演習B		1	樋口 雅司 他			入門
人文・社会科学科目群	AA01040001	心理学	01	2	田中 章浩 (非)		抽選科目 (受入人数150人)	人文
	AA01040005	心理学	05	2	河村 壮一郎 (非)		抽選科目 (受入人数150人)	人文
	AR10370001	政治学	01	2	田代 和也(非)		抽選科目 (受入人数120人)	人文
	AR10370003	政治学	03	2	岡本 雪乃(非)		抽選科目 (受入人数120人)	人文
複合領域科目群	AT50460000	地域デザイン		1	石田 陽介		抽選科目 (受入人数15人)	世界

後 期

科目区分	時間割 コード	授業科目	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	講義室	備 考	全学共通科目における 科目区分
------	------------	------	-------------	-------------	------	-----	-----	--------------------

月曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR10570002	哲学・倫理学	02	2	田鍋 良臣	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 120人)	人文
	AA01040004	心理学	04	2	河村 壮一郎 (非)	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 150人)	人文
	AR10370002	政治学	02	2	塩沢 健一	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 120人)	人文
	AA18030002	経済学	02	2	永松 利文	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数 120人)	人文
自然科学科目群	AS10150000	線形代数入門		2	井上 順子	共 A 3 3	抽選科目 (受入人数 40人)	自然
	AS11040000	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－		2	藤原 伸一	共 A 3 4	抽選科目 (受入人数 70人)	自然
	AS12020002	化学Ⅱ	02	2	南条 真佐人, 花島 慎弥	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数 120人)	自然

月曜日 3 時限

外国語科目群	AP70040004	ドイツ語基礎Ⅱ	04	1	廣瀬 ゆう子(非)	共 B 3 1	学務支援システムの「履修登録・登録状況照会」画面に履修するクラスを指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	外国語
	AP70040005	ドイツ語基礎Ⅱ	05	1	山城 裕子(非)	共 E 4 1		
	AP72040001	フランス語基礎Ⅱ	01	1	バルディ デイビット (非)	共 D 3 2		
	AP74040011	中国語基礎Ⅱ	11	1	要木 佳美(非)	共 D 3 3		
	AP74040012	中国語基礎Ⅱ	12	1	廖 汝幸(非)	共 B 2 1		
	AP75060006	韓国語基礎Ⅱ	06	1	鄭 然旭(非)	共 A 3 2		
	AP76040001	スペイン語基礎Ⅱ	01	1	アベ デヤマダ マリア ルイサ(非)	共 E 4 3		
AP76040002	スペイン語基礎Ⅱ	02	1	箕輪 茂	共 A 3 1			

火曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR10570004	哲学・倫理学	04	2	田鍋 良臣	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 120人)	人文
	AR10280000	教育社会学		2	呉 永鎬	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数 130人)	人文
	AA01040002	心理学	02	2	田中 大介	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 160人)	人文
	AR10590002	芸術入門	02	2	石谷 孝二(非)、 羽根田 真弓(非)	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 260人)	人文
	AR10600004	文学	04	2	岡村 知子	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数 120人)	人文
	AA18030004	経済学	04	2	万 里	共 E 3 1	抽選科目 (受入人数 100人)	人文
	AR10630002	歴史学	02	2	武田 元有	共 C 5 1	抽選科目 (受入人数 100人)	人文
複合領域科目群	AT10460000	アクセシビリティ研究		2	井上 菜穂	共 B 3 1	抽選科目 (受入人数 20人)	文化
自然科学科目群	AS14040000	地球科学 (新しい地球観の基礎)		2	塩崎 一郎 他	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数 80人)	自然

後 期

科目区分	時間割 コード	授業科目	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	講義室	備 考	全学共通科 目における 科目区分
------	------------	------	-------------	-------------	------	-----	-----	------------------------

火曜日3時限と金曜日1時限（第3Q）

外国語 科目群	AP63140007	実践英語A	07	1	谷本 ジャスミン(非)	共 E 3 2	学務支援システムの「履修 登録・登録状況照会」画面 に履修するクラスを指定し ますので、各自がクラス等 を確認のうえ履修してくだ さい。 ※農学部1年次後期の実践 英語はクォーター制で実施 します。	外国語
	AP63140008	実践英語A	08	1	小林 昌博	共 D 3 3		
	AP63140009	実践英語A	09	1	滝波 稚子	共 B 2 1		
	AP63150040	実践英語B	40	1	ハリス クリストファー	共 D 4 3		
	AP63150041	実践英語B	41	1	重松 恵梨	共 C 2 2		
	AP63150042	実践英語B	42	1	福安 勝則(非)	共 B 3 1		

火曜日3時限と金曜日1時限（第4Q）

外国語 科目群	AP63140010	実践英語A	10	1	ハリス クリストファー	共 D 4 3	学務支援システムの「履修 登録・登録状況照会」画面 に履修するクラスを指定し ますので、各自がクラス等 を確認のうえ履修してくだ さい。 ※農学部1年次後期の実践 英語はクォーター制で実施 します。	外国語
	AP63140011	実践英語A	11	1	小林 昌博	共 D 3 3		
	AP63140012	実践英語A	12	1	滝波 稚子	共 B 2 1		
	AP63150037	実践英語B	37	1	谷本 ジャスミン(非)	共 E 3 2		
	AP63150038	実践英語B	38	1	重松 恵梨	共 C 2 2		
	AP63150039	実践英語B	39	1	福安 勝則(非)	共 B 3 1		

火曜日4時限

複合領域 科目群	AP20020021	健康スポーツ科学実技	21	1	斎藤 辰哉	第2体育館	バスケットボール	健スポ
	AP20020022	健康スポーツ科学実技	22	1	西村 正広	第1体育館	バドミントン	

水曜日1時限

自然科学 科目群	AS13020002	生物学ⅡA	02	2	竹内 崇、 菱沼 真	共 C 2 1	抽選科目（受入人数100人）	自然
-------------	------------	-------	----	---	---------------	---------	----------------	----

水曜日2時限

人文・社会 科学科目群	AR10570006	哲学・倫理学	06	2	田鍋 良臣	共 A 2 0	抽選科目（受入人数150人）	人文
	AR10600002	文学	02	2	米田 真理子	共 C 3 1	抽選科目（受入人数120人）	人文
	AR10500004	憲法学	04	2	佐藤 匡		抽選科目（受入人数 無制限）	人文
	AR10370004	政治学	04	2	芳賀 大地	共 E 3 1	抽選科目（受入人数120人）	人文
	AR10630004	歴史学	04	2	武田 元有	共 C 2 1	抽選科目（受入人数100人）	人文
自然科学 科目群	AS12030000	化学C		2	高村 歩美	共 D 3 3	抽選科目（受入人数80人）	自然
複合領域 科目群	AR10410000	生命倫理と法		2	丸 祐一	共 D 4 3	抽選科目（受入人数100人）	人文

後 期

科目区分	時間割 コード	授業科目	ク ラ ス	単 位 数	担当教員	講義室	備 考	全学共通科目における 科目区分
------	------------	------	-------------	-------------	------	-----	-----	--------------------

水曜日 3・4 時限

大学教育 導入科目群	AG40060000	教養基礎演習		2	樋口 雅司 他		通年	入門
---------------	------------	--------	--	---	---------	--	----	----

水曜日 5 時限

複合領域 科目群	AT50320001	地域創生入門	01	2	石田 陽介 他	共 C 3 1	抽選科目（受入人数100人） 「地域社会づくりの最前線Ⅰ」、 「地域社会づくりの最前線Ⅱ」修得 者は履修不可。	世界
-------------	------------	--------	----	---	---------	---------	--	----

木曜日 1 時限

人文・社会 科学科目群	AT50440003	海外安全マネジメントⅠ	03	1	竹田 洋志	共 C 2 1	第3Q 「海外安全マネジメント」修得者は 履修不可。（抽選履修対象外科目。 受入人数60人）	世界
人文・社会 科学科目群	AT50450004	海外安全マネジメントⅡ	04	1	竹田 洋志	共 C 2 1	第4Q 「海外安全マネジメント」修得者は 履修不可。「海外安全マネジメント Ⅰ」履修者が望ましい。（抽選履修 対象外科目。受入人数20人）	世界

木曜日 2 時限

自然科学 科目群	AS10020000	解析学教程Ⅱ		2	橋本 隆司	共 D 4 3	抽選科目（受入人数120人）	自然
外国語 科目群	AP63170006	総合英語Ⅱ	06	1	谷本 ジャスミン(非)	共 A 3 1	学務支援システムの「履修 登録・登録状況照会」画面 に履修するクラスを指定し ますので、各自がクラス等 を確認のうえ履修してくだ さい。	外国語
	AP63170007	総合英語Ⅱ	07	1	大谷 ショーン(非)	共 B 2 1		
	AP63170008	総合英語Ⅱ	08	1	フェルナンデス ク リスティアン(非)	共 E 4 3		
	AP63170009	総合英語Ⅱ	09	1	杉村 藍	共 A 3 2		
	AP63170010	総合英語Ⅱ	10	1	中尾 雅之	共 D 4 2		
	AP63170011	総合英語Ⅱ	11	1	ゼノス トレメイン(非)	共 C 2 2		

木曜日 5 時限

複合領域 科目群	AU20040000	地域就業論		2	長尾 博暢 他	共 A 2 0	抽選科目（受入人数100人）	キャリア
-------------	------------	-------	--	---	---------	---------	----------------	------

集中講義（後期）

人文・社会 科学科目群	AR10370006	政治学	06	2	田代 和也(非)		抽選科目（受入人数120人）	人文
----------------	------------	-----	----	---	----------	--	----------------	----

Ⅲ. 履修規則等

1. 鳥取大学全学共通科目履修規則	101
2. 鳥取大学全学共通科目に関する細則	102
3. 鳥取大学単位認定規則	103
4. 鳥取大学における成績等の評価及びGPA制度に関する要項	104
5. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程	105
6. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程	106
7. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項	107
8. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱いについて	109
9. 試験における注意事項	110
10. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ	111
11. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり授業に出席できない場合の取扱いについて	112

1. 鳥取大学全学共通科目履修規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学学則（平成16年鳥取大学規則第55号。以下「学則」という。）第24条第3項の規定に基づき、全学共通科目の授業科目、履修方法及び試験等に関し必要な事項を定めるものとする。

(全学共通科目及び一般教養科目の科目区分)

第2条 全学共通科目は、農学部共同獣医学科を除く学部及び学科を対象とし、その科目区分は、次のとおりとする。

入門科目

大学入門ゼミ

情報リテラシ

キャリア入門

データサイエンス入門

教養科目

基幹科目

人文・社会分野

自然分野

実験演習分野

主題科目

人間と文化

人間と科学

人間と環境

健康と生命

世界と地域

教養ゼミナール

キャリア科目

外国語科目

健康スポーツ科目

2 一般教養科目は、農学部共同獣医学科を対象とし、その科目区分は、次のとおりとする。

大学教育導入科目群

人文・社会科学科目群

自然科学科目群

複合領域科目群

外国語科目群

(開設授業科目、単位数及び履修年次)

第3条 全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに修得すべき単位数及び履修年次等については、別に定める。

2 全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに開設する授業科目及び単位数は、鳥取大学教育支援委員会（以下「教育支援委員会」という。）において開設年度の前年度末までに決定する。なお、特に必要と認められる授業科目については、その決定後においても補充することができる。

(外国人留学生の履修及び海外実践教育科目履修の特例)

第4条 第2条に規定するもののほか、外国人留学生のために、日本語・日本事情に関する授業科目を置き、当該授業科目の履修については、鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程（平成5年鳥取大学規則第4号）で定める。

2 第2条に規定するもののほか、海外の教育研究機関と連携し、海外において教育を実施するために、海外実践教育科目を置き、当該授業科目の履修については、鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程（平成18年鳥取大学規則第4号）で定める。

(履修手続)

第5条 学生は、毎学期所定の期日までに履修しようとする授業科目を、所定の方法により登録しなければならない。

(単位の認定)

第6条 単位の認定は、鳥取大学単位認定規則（平成5年鳥取大学規則第2号。以下「単位認定規則」という。）に基づき行う。

(試験)

第7条 定期試験は、原則として学期末に行う。ただし、レポート試験、実技試験等を行う場合には、定期試験を行わないことがある。

2 追試験は、単位認定規則第6条に該当する者について行う。

3 再試験は、当該学部の定める年次に、所定の要件を満たした者に対し、当該年度に受験した授業科目に限り行うことができる。

(既修得単位等の認定)

第8条 学則第32条の規定による本学に入学前の既修得単位(全学共通科目及び一般教養科目に相当する授業科目に限る。)の認定は、必要に応じ教養教育センター(以下「センター」という。)の意見を聴して、当該学部教授会の議を経て、学部長が行う。

(他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定)

第9条 学則第29条の規定により他の大学又は外国の大学において履修した授業科目についての単位の認定及び学則第30条の規定により文部科学大臣が別に定める学修を行ったときの単位の認定は、センターからの審査結果の通知に基づき、当該学部教授会の議を経て、学部長が行う。

2 前項の審査方法等については、センター長が別に定める。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修方法等に関し必要な事項は、教育支援委員会の議を経て、センター長が別に定める。

【参考】

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2. 鳥取大学全学共通科目に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第3条第1項の規定に基づき、鳥取大学における全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに修得すべき単位数及び履修年次等を定めるものとする。

(全学共通科目教育課程表)

第2条 全学共通科目教育課程表及び一般教養科目教育課程表は、別表第1から別表第5までのとおりとする。

(別表については各学部・学科等の教育課程表を参照)

【参考】

この細則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年度以前に入学した者及び当該者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者は、この細則による改正後の鳥取大学全学共通科目に関する細則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3. 鳥取大学単位認定規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学学則（平成16年鳥取大学規則第55号。以下「学則」という。）第25条に規定する単位の認定等について、必要な事項を定めるものとする。

(授業時間数)

第2条 学則第22条に定める開設授業科目の単位認定にあたっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、1単位の授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|----------------------------|------|
| 一 講義 | 15時間 |
| 二 演習及び全学共通科目の実技 | 30時間 |
| 三 実験、実習及び実技（全学共通科目の実技を除く。） | 45時間 |
- 2 前項の規定にかかわらず、1単位の授業時間について、各学部において必要と認める場合には、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第21条第2項に定めるところにより、当該学部において別に定めることができる。
- 3 各学部が、一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2項に定める授業の時間を考慮するものとする。

(出席時間数)

第3条 出席時間数が前条第1項及び第2項の規定の5分の4に満たない者については、単位の認定を行わない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められた者については、例外的に同項の規定の5分の3以上出席した者についても、単位の認定を行うことができる。

(単位の認定)

第4条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験（論文及びレポート等を含む。）の上、次条に規定する成績の評価に基づき、単位を認定するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文及び卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して、各学部規則の定めるところにより単位を認定するものとする。
- 3 前項までの規定によるもののほか、他大学等における授業科目の履修及び大学以外の教育施設等における学修については、学則の規定に基づき、その他の定めにより、これらを鳥取大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定し、又は与えることができる

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、100点満点で採点して60点以上を合格とする。

- 2 成績は、S、A、B、C及びFをもって表し、Sは90点以上、Aは80点～89点、Bは70点～79点、Cは60点～69点、Fは59点以下とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、学部で指定する科目については、合否で判定し、合はP、否はFをもって表すものとする。
- 4 前条第3項の規定により単位を認定した場合の当該授業科目の評価は、Nをもって表すものとする。
- 5 第3条前段の規定等により単位の認定を行わなかった場合は、当該授業科目の評価は不履修とし、Eをもって表すものとする。

(追試験)

第6条 追試験は、第3条の条件を満たした者で病気その他特別の事情により試験を受けなかった者について行う。

(受験不正行為による単位不認定)

第7条 試験（論文及びレポート等を含む。）において不正行為を行った場合は、当該期の単位はすべて認めない。

(授業料未納により除籍された者の単位不認定)

第8条 学則第80条第3項の規定により除籍された者については、授業料未納期間にかかる単位は認定しない。

【参考】

この規則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以前に入学した者及び当該者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者は、この規則による改正後の鳥取大学単位認定規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

第3条の『ただし、特にやむを得ない事情があると認められた者』については、p.23を参照してください。

4. 鳥取大学における成績等の評価及び GPA 制度に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、鳥取大学単位認定規則（平成5年鳥取大学規則第2号）その他鳥取大学（以下「本学」という。）における関係規則等に定める成績等の評価又はこれに関連する事項について、本学における成績等の評価及びグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績等の平均値をいう。以下「GPA」という。）制度の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 この要項は、成績等の評価及び GPA 制度の取扱いについて必要な事項を定めることにより、教育課程を通じて、学生の学修意欲の向上及び適切な修学指導に資することを目的とする。

(評語、評価基準及び GP)

第3条 学生が履修した授業科目の成績等に関する評語及び基準並びにグレード・ポイント（各評語に与えられる数値。以下「GP」という。）は、次表のとおりとする。（表1～4についてはp.24参照）

(GPAの種類と算出方法)

第4条 GPAは、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標（以下「学期 GPA」という。）、当該学年における学修の状況及び成果を示す指標（以下「学年 GPA」という。）、及び在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標（以下「累積 GPA」という。）の3種類とする。

2 学期 GPA、学年 GPA 及び累積 GPA 算出の計算式は、次の各号に掲げるとおりとし、算出された数値の少数点第3位以下は四捨五入するものとする。

- 一 学期 GPA 算出の計算式
$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{当該学期の各履修登録科目の単位数} \times \text{当該科目の GP の総和}}{\text{当該学期における履修登録科目の総単位数}}$$
- 二 学年 GPA 算出の計算式
$$\text{学年 GPA} = \frac{\text{当該学年の各履修登録科目の単位数} \times \text{当該科目の GP の総和}}{\text{当該学年における履修登録科目の総単位数}}$$
- 三 累積 GPA 算出の計算式
$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{在学全期間の各履修登録科目の単位数} \times \text{当該科目の GP の総和}}{\text{在学全期間における履修登録科目の総単位数}}$$

(GPA 算出の対象授業科目)

第5条 GPA の算出の対象は、各学部・各研究科（以下「学部等」という。）の履修規則等に規定する卒業要件に係る授業科目とする。

2 不正行為により単位が認定されなかった授業科目については、履修歴があったものと取り扱い、GPA 算出の対象とする。

3 不合格と評価された授業科目又は不履修とされた授業科目については、後に再履修によって合格となった場合であっても、不合格又は不履修の際の GP を含めた全ての GP を GPA 算出の対象とする。

4 前3項の規定にかかわらず、次に掲げる授業科目については、GPA 算出の対象としない。

- 一 合否で成績を判定する授業科目
- 二 鳥取大学学則第32条及び鳥取大学大学院学則第27条の規定により既修得単位として認定をした授業科目
- 三 学部等において GPA 算出の対象から除外する指定をした授業科目

(休学した学生の履修科目の取扱い)

第6条 休学に伴い単位が認定されなかった授業科目は、履修歴がなかったこととして取り扱う。ただし、休学が許可される前に単位が認められた授業科目については、修得単位を認め、GPA 算出の対象とする。

(GPA の表示)

第7条 学務支援システムの成績修得状況において、学期 GPA、学年 GPA 及び累積 GPA を表示する。

(GPA の活用)

第8条 本学は、GPA を教育内容等の改善、履修指導、学修支援、学生生活支援等に活用するものとする。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、成績評価及び GPA 制度の実施について必要な事項は、教育支援委員会の議を経て、理事（教育担当）が定める。

【参考】

この要項は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以前に入学した者及び当該者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者については、第3条の表に示す評語のSをAに、AをBに、BをCに、CをDに、PをSにそれぞれ読み替えて適用する。

5. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第4条第1項の規定に基づき、外国人留学生（以下「留学生」という。）の授業科目の取扱いについて特例を定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第2条 留学生に開設する日本語・日本事情に関する授業科目及び単位数は、次のとおりとする。

授 業 科 目	単 位 数	
	前 期	後 期
日本語実践Ⅰ	1	
日本語実践Ⅱ		1
日本語の表現技法Ⅰ	1	
日本語の表現技法Ⅱ		1
学部留学生のための日本語Ⅰ	1	
学部留学生のための日本語Ⅱ		1
日本文化事情Ⅰ	2	
日本文化事情Ⅱ		2
日本社会事情Ⅰ	2	
日本社会事情Ⅱ		2

(単位の認定)

第3条 留学生が前条に掲げる授業科目を履修し修得した単位は、各学部において定める修得すべき単位数のうち12単位を超えない範囲内において、次に掲げる単位として認定することができる。

- 一 教養科目（農学部共同獣医学科にあっては人文・社会科学科目群及び複合領域科目群）については、8単位までを「日本文化事情」及び「日本社会事情」の単位
- 二 外国語科目（農学部共同獣医学科にあっては外国語科目群）については、6単位までを「日本語実践」、
「日本語の表現技法」及び「学部留学生のための日本語」の単位

(単位認定の申請)

第4条 前条に掲げる単位の認定を受けようとする留学生は、所定の様式を所属学部長へ提出するものとする。

2 前項の申請期間は、各学期の末日までとする。

【参考】

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

6. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第4条第2項の規定に基づき、海外実践教育の授業科目の履修について、特例を定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第2条 海外実践教育に関する授業科目及び単位数は次のとおりとし、授業科目の名称には、教育プログラムの内容（国名、連携大学名等）を付記する。

	授 業 科 目	単 位 数
語学	海外語学学修A	1
	海外語学学修B	2
語学以外の学修	海外実践学修A	1
	海外実践学修B	2
	海外実践学修C	3
	海外実践学修D	4
	海外実践学修E	5

2 前項に掲げる授業科目及び単位数は、教養教育センター又は国際交流センター等において連携大学等との協議のうえ、教育支援委員会で決定する。

(履修手続き及び単位認定の申請)

第3条 前条に掲げる授業科目の履修及び次条に掲げる単位認定を希望する学生は、留学前に所定の様式を所属学部長へ提出するものとする。

(単位の認定)

第4条 学生が第2条に掲げる授業科目を履修し修得した単位は、各学部において全学共通科目又は専門科目（農学部共同獣医学科にあっては一般教養科目及び専門教育科目）の単位として認定することができる。

【参考】

この規則は、令和3年4月1日から施行する。
海外実践教育に関する授業科目はp.72を参照

7. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項

(趣旨)

第1 この要項は、鳥取大学全学共通科目履修規則(平成5年鳥取大学規則第3号)第9条第2項の規定に基づき、他大学等において履修した授業科目及び文部科学大臣が別に定める学修を鳥取大学(以下「本学」という。)における授業科目の履修とみなして単位を与えることについて、必要な事項を定めるものとする。

(認定科目)

第2 他大学等において履修した授業科目及び文部科学大臣が別に定める学修のうち、本学における授業科目の履修とみなして認定できる試験資格、授業科目及び単位数等は、別表のとおりとする。

(申請手続)

第3 単位認定を申請する者(以下「申請者」という。)は、次の各号に定める書類を学生部教育支援課に提出するものとする。

- 一 単位認定申請書(別紙様式第1号)
 - 二 単位認定申請に係る履修大学及び単位認定を申請する試験資格の成績等を証明する書類
- 2 前項の申請の受付期間は、各学期の履修手続期間内とする。

(単位の認定)

第4 第3の申請があったときは、教養教育センター及び各学部は、次の各号に定めるところにより審査及び単位認定を行うものとする。

- 一 教育支援委員会において、当該申請に係る審査を行うものとし、教養教育センター長は、その審査結果を申請者の所属学部長(以下「学部長」という。)に通知するものとする。ただし、別表により認定する授業科目、認定単位数及び認定評価(評点)が規定されているものについては、審査を省略することができる。
- 二 学部長は、教養教育センター長からの通知に基づき、教授会の議を経て単位の認定を行うものとする。
- 三 学部長は、申請者に対し単位認定書(別紙様式第2号)を交付するとともに、認定した授業科目に替えて他の授業科目の履修に努めさせる等、学習内容の充実を図るように指導するものとする。

(雑則)

第5 この要項に定めるもののほか、本学における授業科目の履修とみなして単位を与えることについて必要な事項は、教育支援委員会の議を経て、教養教育センター長が別に定める。

【参考】

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

令和4年度以前に入学した者及び当該者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者については、別表に示す認定評価(評点)のSをAに、AをBにそれぞれ読み替えて適用する。

【別表】

・他の大学

履修大学	履修科目	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)
放送大学	申請の都度、教育支援委員会において定める。			
鳥取県4大学間の単位互換に関する包括協定締結大学	教育支援委員会において定める。			
広島大学	教育支援委員会において定める。			

備考：(1) 放送大学の授業料は、原則として個人負担とする。

(2) 放送大学の授業科目を本学の単位として認定するための申請は、受講前に必ず行う。

(3) 休学中に受講した科目については、認定しない。

(4) 放送大学の履修については、本学では開設されていない科目等を活用して幅広い履修を可能とすることを趣旨とすることから、本学で開講されている授業科目は本学で履修することを原則とする。ただし、やむを得ない事情があると認められる場合には、当該学部からの申請により、教育支援委員会の審議に基づき、履修を認めることがある。

・外国の大学

履修大学		履修科目	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)
学術交流協定に基づく学生の交流に関する覚書等を交わした大学	ウォータールー大学	英語研修	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	1単位	履修大学の成績に基づき教養教育センターが決定する。
	アーカンソー大学 (島根大学連携)				
	カリフォルニア大学 デービス校				
	マラヤ大学				
	アデレード大学				
	上記以外				

備考：奨学金が支給されるものを除き、留学にかかる費用は個人負担とする。

・資格試験

区分	認定する試験資格		成績等	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)
英語	TOEFL	PBT	540点以上	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	2単位	S(90)
			500~539点		1単位	A(80)
		iBT	76点以上		2単位	S(90)
			61~75点		1単位	A(80)
	TOEIC	730点以上			2単位	S(90)
		600~729点			1単位	A(80)
	実用英語技能検定試験	準1級以上			2単位	S(90)
		2級			1単位	A(80)
初修外国語	ドイツ語技能検定試験		3級以上	ドイツ語応用Ⅰ ドイツ語応用Ⅱ	2単位	S(90)
	実用フランス語技能検定試験		3級以上	フランス語応用Ⅰ フランス語応用Ⅱ	2単位	S(90)
	中国語検定試験		3級以上	中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ	2単位	S(90)
	HSK(漢語水平考試)		4級以上			
	ハングル能力検定試験		3級以上	韓国語応用Ⅰ 韓国語応用Ⅱ	2単位	S(90)
	スペイン語技能検定試験		3級以上	スペイン語応用Ⅰ スペイン語応用Ⅱ	2単位	S(90)

備考：(1) 本制度による英語の認定単位数は2単位までとする。

(2) 同一の試験資格で複数の成績を持つ場合は、上位の成績等をもって認定の対象とする。

(3) 英語について、既にこの制度で1単位を認定されている者が改めて上位の成績等で申請する場合は、上位の成績等の認定単位数からこの制度で認定されている1単位を引いた単位を認定の対象とする。

(4) 異なる試験資格で同じ認定評価となる単位の認定は行わない。

(例) 実用英語技能検定2級で1単位(A(80))認定済の場合

- | | |
|---|--|
| { | ・新たにTOEIC 730点以上を取得・・・上記(3)に基づき、1単位S(90)のみ申請可
*認定済の成績評価A(80)は変更できません。 |
| | ・新たにTOEIC 600~729点を取得・・・上記(4)に基づき申請不可 |

8. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱いについて

気象警報発令に伴う授業及び定期試験（以下「授業等」という。）の取扱いは下記のとおりとする。

1. 授業等の取扱い

- (1) 特別警報（波浪特別警報を除く。）が、鳥取市北部（米子キャンパスにあつては米子市）に午前7時時点で発令されている場合は午前（1時限及び2時限）の授業等を休講とし、午前11時時点で発令されている場合は午後（3時限、4時限及び5時限）の授業等を休講とする。
- (2) 警報（暴風、大雨、洪水、大雪、暴風雪）が、鳥取市北部（米子キャンパスにあつては米子市）に発令されており、かつ、公共交通機関（鳥取駅、米子キャンパスにあつては米子駅発着のJR）が運休している場合には、教育担当理事（米子キャンパスにあつては医学部長）が実際の天候等を考慮の上、午前（1時限及び2時限）の授業等は午前7時、午後（3時限、4時限及び5時限）の授業等は午前11時を目途に、授業等の実施の可否を判断する。
- (3) 上記以外で特に安全確保が必要と認められる場合は、授業等を休講とする。
- (4) 休講に伴う補講は、原則として各学期に設定する予備日に実施するものとする。ただし、オンライン方式により補講を実施する場合はこの限りではない。

2. 周知の方法

- (1) 特別警報の場合、原則、周知は行わない。
- (2) 警報の場合、次のとおりとする。
 - 1) 学務支援システムの掲示板又は鳥取大学ホームページのお知らせ欄に次のとおり掲載する。

午前の授業	午前 7時30分までに掲載
午後の授業	午前11時30分までに掲載
 - 2) 学生部から各学部へ連絡し、各学部は掲示等により周知する。
 - 3) 非常勤講師については、必要に応じて各学部及び学生部からメール及び電話等により速やかに周知する。

3. 悪天候により通学困難な場合の取扱い

授業等を休講しない場合において、公共交通機関が運休する等のやむをえない事情により学生が授業等を欠席又は遅刻した場合は、授業担当教員は当該学生に対し、不利益を与えないよう配慮するものとする。

【参考】

この取扱いは、令和3年3月5日から適用する。

9. 試験における注意事項

受験心得について

1. 履修登録した科目以外は受験できない。
2. **試験室においては、静粛にし、試験監督者の指示に従うこと。**
3. 特に指定された場合を除き、3人用机には両端に、2人用机には1人着席のこと。
4人用以上の机には1人分の間をおくこと。
4. 受験時には学生証を持参し、必ず机の上に置くこと。
忘れた場合は、所属学部教務係（医学部生命科学科及び保健学科1年次は教育支援課）に申し出て、仮身分証明書の交付を受け、必ず机の上に置くこと又は試験監督者に申し出て指示を受けること。
5. 机の上には、筆記用具、消しゴム、時計（計時機能だけのものに限る。）以外の携行品を置くことはできない。筆箱等は、かばん等に入れて、足下に置くこと。
ただし、持ち込みが許可されているものについては、この限りではない。
6. **携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、電源を切り、かばん等に入れて足下に置くこと。**
7. 試験時間中の物品の貸借は認めない。
8. 試験開始時刻に遅れた者は、監督者に申し出て指示を受けること。
9. 監督者から特別の指示がある場合を除き、原則として、試験開始後30分を経過しなければ退室を認めない。
10. 質問がある場合及び体調不良等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。

答案記入上の注意事項について

1. 答案は、万年筆、ボールペン、鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
2. 学生番号、氏名等の必要事項は必ず記入すること。
3. 配布された答案用紙に解答を書ききれない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。

不正行為について

「不正行為」とは、次に掲げる行為をいう。

(1) 筆記試験

- ① 受験者本人に代わって他人に試験を受験させる行為、及び受験者本人に代わって受験する行為
- ② 事前に許可されていない資料等および電子機器類等を見る行為
- ③ 他の学生の答案を盗み見る行為
- ④ 故意に他の学生に自己の答案を見せる行為及び何らかの方法で解答を教示する行為
- ⑤ 試験監督者の指示に従わない行為

(2) 論文・レポート試験

- ① 他人に代筆させた論文・レポートを提出する行為
- ② 他人のレポートを代筆する行為
- ③ 実験や調査結果のデータを捏造又は改ざんする行為
- ④ 他人の論文・レポートを盗用する行為

- (3) 上記のほか、全学共通科目及び一般教養科目においては教養教育センター長（米子地区においては医学部教務担当副学部長）、専門科目においては当該学部の教務担当副学部長が不正行為として認めた行為

不正行為を行った者に対しては、当該期のすべての単位は認めない。

また、履修登録したものであるため、GPA算出の履修登録単位数に算入する。

10. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ

(趣旨)

第1 この申合せは、鳥取大学における全学共通科目（鳥取地区で開講される科目に限る）及び一般教養科目（以下「全学共通科目」という。）の成績評価に関し、必要な事項を定めるものとする。

(成績の評価基準)

第2 全学共通科目の成績は、鳥取大学における成績等の評価及びGPA制度に関する要項（令和5年1月24日理事（教育担当）裁定）第3条に定める評語及び評価基準等に基づき評価するものとする。

(成績評価基準と方法の周知)

第3 全学共通科目の授業担当教員は、各授業科目の成績評価の基準と方法をシラバスに明記するとともに、各授業において、到達目標と関連づけながら授業内容に基づき具体的に説明するものとする。

(成績の報告)

第4 全学共通科目の授業担当教員は、各学期の指定された期日までに、所定の方法により成績を報告するものとする。

(成績評価に対する疑義申立て)

第5 学生が、自らの成績評価に関して、次の各号のいずれかに該当すると判断した場合は、当該授業科目の成績公開後1週間以内に「成績評価確認願」（別紙様式）により申立てを行うことができる。

- 一 成績の誤記入等、明らかに授業担当教員の誤りであると思われるもの
- 二 シラバス等に記載されている到達目標、成績の評価方法と基準等から、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの

(疑義申立てへの対応)

第6 学生から成績評価に関する疑義申立てがあった場合の対応は、教育支援・国際交流推進機構教養教育センター長を責任者とし、疑義申立ての窓口は、学生部教育支援課とする。なお、学生は、授業担当教員に直接申立てを行うことはできない。

2 責任者は、申立ての内容を確認し、必要に応じて当該学生に面談等を実施した上で、速やかに授業担当教員に対し成績評価に関する回答を求めるものとする。ただし、申立て内容が、明らかに第5に定める申立てが可能な場合に該当しないと責任者が判断したときは、当該学生にその旨を通知する。

3 授業担当教員は、責任者から回答を求められた場合、1週間以内に回答を行うものとする。

4 責任者は、授業担当教員からの回答内容を確認し、必要な場合は、当該教員に面談等を実施して調整を行った上で、その結果を、申立てのあった日から原則として2週間以内に、当該学生に通知するものとする。

なお、授業担当教員との調整が困難である場合、教育支援・国際交流推進機構長が判断するものとする。

(医学部1年次の進級に係る取り扱い)

第7 第5及び第6に関わらず、医学部1年次の進級判定に支障がある場合は、申立て期間等を別に定めることができるものとする。

(成績評価の修正等)

第8 疑義申立ての結果及びその他特別な事情により成績評価の修正等が生じた場合、授業担当教員は学生部教育支援課において成績修正の手続きを行うものとする。

(その他)

第9 この申合せに定めるもののほか、全学共通科目の成績評価に関し必要な事項は、教育支援委員会において審議し決定するものとする。

【参考】

この申合せは、令和5年4月1日から施行する。

11. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり 授業に出席できない場合の取扱いについて

本学学生が、学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症にかかった場合、又はかかった疑いがある場合、学校保健安全法第19条に基づき、学内感染及び感染拡大防止のため、出席停止の取り扱いとします。

該当する学生は、まず所属学部教務係へ連絡をした上で、医師の指示に従い、治療に専念してください。

なお、回復して授業に出席する場合には、「学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症届出書」に医師の診断書（出席停止期間が明記されたもの）若しくは本学所定の治癒証明書を添えて、所属学部教務係へ提出してください。

出席停止となった期間に出席できなかった授業については、履修上不利とならないよう配慮しますので、担当教員に直接確認してください。

○学校保健安全法施行規則に定める感染症等の種類と出席停止期間

分類	病名	出席停止の基準	
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、急性灰白髄炎（ポリオ）、特定鳥インフルエンザ（H5N1）	治癒するまで	
第2種	インフルエンザ	発症後5日、かつ、解熱後2日（幼児3日）が経過するまで	
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで	
	麻疹（はしか）	解熱した後3日が経過するまで	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで	
	風しん	発疹が消失するまで	
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	
	咽頭結膜熱	主要症状が消失した後2日が経過するまで	
	新型コロナウイルス感染症（※）	発症した後5日が経過し、かつ、症状が軽快した後1日が経過するまで	
第3種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	その他の感染症	溶連菌感染症	適正な抗菌剤治療開始後24時間を経て全身状態が良ければ登校可能
		ウイルス性肝炎	A型・E型：肝機能正常化後登校可能 B型・C型：出席停止不要
		手足口病	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		伝染性紅斑	発疹（リンゴ病）のみで全身状態が良ければ登校可能
		ヘルパンギーナ	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		マイコプラズマ感染症	急性期は出席停止、全身状態が良ければ登校可能
		感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）	下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能
		アタマジラミ	出席可能（タオル、櫛、ブラシの共用は避ける）
		伝染性軟属腫（水いぼ）	出席可能（多発発疹者はプールでのビート板の共用は避ける）
		伝染性膿痂疹（とびひ）	出席可能（プール、入浴は避ける）

※病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

- *出席停止期間の基準は上記のとおりですが、症状により個人差がありますので医師の指示に従ってください。
- *感染を防止するため、出席停止期間中は、友人等との接触は避けてください。

IV. 付 録

1. キャンパス配置図	
鳥取地区	113
鳥取地区共通教育棟配置図	114
米子地区	120
2. 令和6年度学年暦七曜表	
鳥取地区	121
米子地区	122

令和6年度 学年暦七曜表

(鳥取地区)

		前 期							
		日	月	火	水	木	金	土	
4月			1	2	3	4	5	6	4/6 入学式
		7	8	9	10	11	12	13	4/8 学部別オリエンテーション
		14	15	16	17	18	19	20	
		21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30						
5月				1	2	3	4	5	5/1 月曜日の振替授業
		5	6	7	8	9	10	11	5/9 月曜日の振替授業
		12	13	14	15	16	17	18	
		19	20	21	22	23	24	25	5/25 予備日
	26	27	28	29	30	31			
6月							1	2	6/1 鳥取大学記念日
		2	3	4	5	6	7	8	
		9	10	11	12	13	14	15	6/10 予備日
		16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29		
	30								
7月			1	2	3	4	5	6	
		7	8	9	10	11	12	13	
		14	15	16	17	18	19	20	7/16 月曜日の振替授業
		21	22	23	24	25	26	27	7/27 予備日
	28	29	30	31					
8月					1	2	3	4	
		4	5	6	7	8	9	10	8/7 予備日
		11	12	13	14	15	16	17	
		18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31		
9月		1	2	3	4	5	6	7	
		8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
		22	23	24	25	26	27	28	
	29	30							

		後 期							
		日	月	火	水	木	金	土	
10月				1	2	3	4	5	
		6	7	8	9	10	11	12	
		13	14	15	16	17	18	19	10/15 月曜日の振替授業
		20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31				
11月							1	2	
		3	4	5	6	7	8	9	11/6 月曜日の振替授業
		10	11	12	13	14	15	16	11/16 予備日
		17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	11/28 予備日	
12月		1	2	3	4	5	6	7	
		8	9	10	11	12	13	14	
		15	16	17	18	19	20	21	
		22	23	24	25	26	27	28	12/24 木曜日の振替授業
	29	30	31						
1月					1	2	3	4	
		5	6	7	8	9	10	11	1/15 金曜日の振替授業
		12	13	14	15	16	17	18	1/17 大学入学共通テスト試験準備のため休講
		19	20	21	22	23	24	25	1/25 予備日
	26	27	28	29	30	31			
2月								1	
		2	3	4	5	6	7	8	2/6 予備日
		9	10	11	12	13	14	15	
		16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28			
3月								1	
		2	3	4	5	6	7	8	
		9	10	11	12	13	14	15	
		16	17	18	19	20	21	22	3/18 卒業式
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							

- 前期セマスタ授業期間(4/10~8/7)
- 後期セマスタ授業期間(10/1~2/6)
- 第1Q (4/10~6/10)
- 第2Q (6/11~8/7)
- 第3Q (10/1~11/28)
- 第4Q (11/29~2/6)
- 振替授業日
- 予備日 (予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業等の実施にあてて。)

【令和6年度試験期間:参考】

学期	試験期間	対象科目
前期	6月3日(月)~6月7日(金)	第1Q科目
	7月31日(水)~8月6日(火)	前期セマスタ科目・第2Q科目
後期	11月21日(木)~11月27日(水)	第3Q科目
	1月30日(木)~2月5日(水)	後期セマスタ科目・第4Q科目

令和6年度 学年暦七曜表

(医学科 1年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	1
	14	15	16	17	18	19	20	2
	21	22	23	24	25	26	27	3
	28	29	30	1	2	3	4	補
5	5	6	7	8	9	10	11	4
	12	13	14	15	16	17	18	5
	19	20	21	22	23	24	25	6
	26	27	28	29	30	31	1	7
6	2	3	4	5	6	7	8	8
	9	10	11	12	13	14	15	9
	16	17	18	19	20	21	22	10
	23	24	25	26	27	28	29	11
	30	1	2	3	4	5	6	12
7	7	8	9	10	11	12	13	13
	14	15	16	17	18	19	20	14
	21	22	23	24	25	26	27	15
	28	29	30	31	1	2	3	16・試
8	4	5	6	7	8	9	10	補
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	再試
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
	27	28	29	30	31	1	2	5
11	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
12	1	2	3	4	5	6*	7	10
	8	9	10	11	12	13	14	11
	15	16	17	18	19	20	21	12
	22	23	24	25	26	27	28	補
	29	30	31	1	2	3	4	
1	5	6	7	8	9	10	11	13
	12	13	14	15	16	17*	18	14
	19	20	21	22	23	24	25	15
	26	27	28	29	30	31	1	16・試
2	2	3	4	5	6	7	8	試
	9	10	11	12	13	14	15	再試
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	1	
3	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						

- ◇ 4月5日(金) オリエンテーション
- ◇ 4月6日(土) 入学式
- ◇ 4月30日(火) 月曜日授業
- ◇ 5月2日(木) 第9木曜日授業
- ◇ 5月8日(水) 月曜日授業
- ◇ 8月1日(木) 金曜日授業
- ◇ 8月2日(金) 予備日(金曜日授業)
- ◇ 8月5日(月) 予備日(試験用)
- ◇ 8月6日(火) 予備日(試験用)
- ◇ 7月26日(金) 定期試験期間開始
- ◇ 8月1日(木) 定期試験期間終了
- ◇ 9月13日(金) 再試験期間開始
- ◇ 9月30日(月) 再試験期間終了

- ◇ 10月15日(火) 月曜日授業
- ◇ 11月6日(水) 月曜日授業
- ◇ * 12月6日(金) 午前のみ金曜日(午前の科目)授業
- ◇ 1月16日(木) 月曜日授業
- ◇ * 1月17日(金) 午前のみ金曜日(午後の科目)授業
- ◇ 1月27日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 2月7日(金) 定期試験期間終了
- ◇ 2月10日(月) 再試験期間開始
- ◇ 2月21日(金) 再試験期間終了

全学共通科目
履修案内
(令和6年度)

編集・発行 鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構 教養教育センター
〒680-8550
鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL:0857-31-6773
FAX:0857-31-6762

学生番号	氏 名